

令和3年度
(2021)

事業報告書



社会福祉法人
神港園

令和3年度 事業報告書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

目 次

令和3年度 事業報告

I 総括事業報告		1 ～ 6
II 事業報告		
[1] 法人本部		7 ～ 18
[2] 養護老人ホーム神港園		19 ～ 26
[3] 神港園シルビアホーム		27 ～ 34
[4] 神港園しあわせの家		35 ～ 40
[5] 神港園サニーライフ白川		41 ～ 48
[6] さん舞子神港園		49 ～ 60
[7] さん舞子神港園いこいの家 (サン舞子マンション 含む)		61 ～ 64
[8] 神港園レインボー西宮		65 ～ 70
[9] 神港園レインボー酒蔵通		71 ～ 74
[10] 神港園診療所		75 ～ 76
[11] しあわせの村保育園		77 ～ 80

令和3年度 事業報告 資料集

資料① 施設入居関係		81 ～ 85
資料② ショートステイ関係		86
資料③ デイサービス関係		87
資料④ ホームヘルプ関係		88
資料⑤ 居宅介護支援事業所関係		89
資料⑥ あんしんすこやかセンター関係		90
資料⑦ 事故関係		91 ～ 93
資料⑧ 医療・保健関係		94 ～ 95
資料⑨ 栄養関係		96
資料⑩ 法人職員増減状況		97 ～ 98
資料⑪ 職員採用・離職状況		99 ～ 100
理事会・評議員会開催状況		101 ～ 106

令和3年度
(2021)

事業報告書

(事業報告)

令和3年度 社会福祉法人神港園 事業報告

理事長 高谷 雅子

I. 法人基本方針

1. 法人理念

《黄金律》

自分がしてほしいと思うことをひとにしてさしあげましょう

実現指標は、常に関係者の気持ちや立場に配慮し、
・相手を笑顔にすること ・より多くの心のこもった笑顔を

● ご利用者、ご家族へ

総括事業報告・重点報告 1

初めて不安を感じた際の相談受付から、施設における看取りまで、
良質で、いまその方に必要な支援を提供し、常に安心のある生活を支える

● 職員へ

総括事業報告・重点報告 2

無資格未経験人材を福祉の担い手として育成
体系的な人事・教育諸制度と、多彩多様な拠点・部署を擁する規模の強みを
活かし、福祉人・職業人としての成長支援と仕事の喜びを提供する

2. 高齢者福祉総合拠点の地域展開

総括事業報告・重点報告 1

4

欠かすことのできない福祉基盤として、地域社会からの支持を確かなものとする

・福祉相談窓口	・訪問介護	・養護老人ホーム	・医療系事業
・介護予防支援	・通所介護	・特別養護老人ホーム	・障害、その他の関連事業
・居宅介護支援	・短期入所生活介護	・介護型ケアハウス	
		・グループホーム	
		・サービス付き高齢者向け住宅	

社会資源としての
機能の発揮

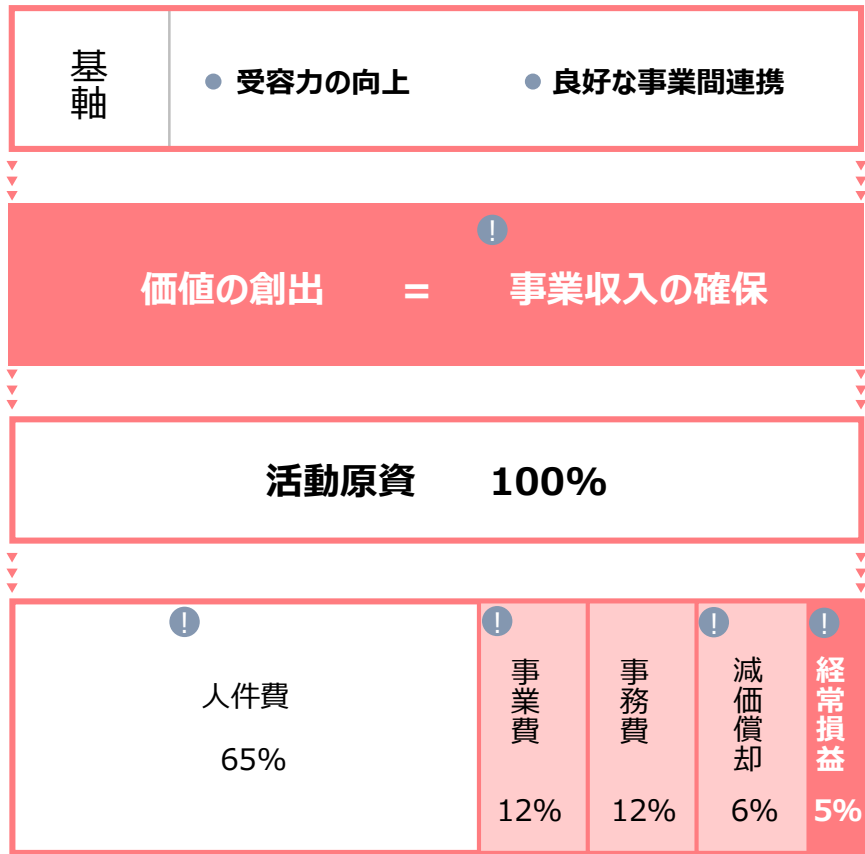
=

経営資源を
最大活用して
福祉サービスを提供

3. 安定経営

持続経営という社会的責任を果たすため、安定した経営構造を築く

● 経営構造



※図は希求すべき安定経営のモデル構成比率（年度固有の例外的事項は除く）

ポイント

- ❗ **収入確保**…事業ごとの高い目標稼働を達成し、事業活動の原資とする。
- ❗ **人件費**…良好な収入確保の下、独自基準の手厚い人員配置と十分な生活賃金水準を両立する。
 ※ 地域全般の担い手不足を背景に、良質な支援の基盤である人財確保は最優先課題
 原資：1人当たり人件費×職員数 は、概ね収入の65% （外部への業務委託費を除く）
 - 手厚い人員配置 → サービス水準の担保と、長期勤続に資するやりがい醸成、負荷軽減
 - 十分な生活賃金水準 → 生活の安定は、職場として選ばれ続けるための基本条件
 限りある原資の中で、相反する二者の、市場原理と職員意識に基づくバランスを調整する
 （総額は、生産性と連動する次期賞与原資の増減調整により管理）
- ❗ **事業費・事務費**…人件費以外の各種費用は、無駄を根絶し、活かした費用への支出を徹底する。
- ❗ **減価償却費**…事業を行う建物や各種設備の維持更新のため、長期的・計画的に活用する。
 （図では国庫補助金等特別積立金取崩額分を控除）
- ❗ **経常損益の確保**…安定経営の根源であり、事業の維持発展を支える原資
 ※いずれは発生する想定外の事態にも備え、常に経営体力の強化が必要

4. 創立以来70年余の歴史と未来への成長



養護老人ホーム神港園



神港園シルビアホーム



神港園しあわせの家



神港園サニーライフ白川



さん舞子神港園



さん舞子神港園いこいの家



神港園レインボー西宮



神港園レインボー酒蔵通



しあわせの村保育園

1951年の創立以来、時に応じて変化する経営課題の克服に尽力しつつ、発展を目指してきた法人の歴史。その歩みに、慎重にリスクを見極めながら、新たな事業拡張がもたらす成長を着実に積み重ね、地域で培ってきた信頼を、更なるステージへと高めていく。



事業拡張 = 地域貢献の新たな基盤を築く

総括事業報告・重点報告 1 4

外発的 動機	● 高齢化で確実に不足する福祉資源の整備 ● 他法人の事業伸張と比較した相対劣位の回避
内発的 動機	● 経営基盤の強化がもたらす持続的成長 ● 静止することで沈滞する組織の活性化

Ⅱ．総括事業報告

2020 年から世界中の日常を激変させた新型コロナウイルス感染症の脅威は、変異株の出現で勢いを増し、今期は、所謂アルファ株による第 4 波で幕を開け、デルタ株による第 5 波を経て、オミクロン株による別次元の第 6 波の影響下に年度末を迎えました。

特別養護老人ホーム（以下、特養と記載）入居者や職員のワクチン 2 回目 3 回目接種を、神港園診療所医師や看護職員等の奮起によって実施できましたが、緊急事態宣言等や行政要請で直接面会は難しく、ご家族と触れ合う貴重な時間を失ったご入居者・関係各位の喪失は極めて大きなものでした。

職員も、徹底的な感染防護行動と、身体機能と生活の質低下の板挟みとなり、眼に見えない努力を積み重ねる厳しい日常を強いられました。合計 2 名の特養感染ご入居者は医療病床のひっ迫と症状から入院が叶わず、他のご入居者への水平感染は防ぎきったものの、感染した職員が出勤停止になる中、隔離区画に専従者等を置く勤務体制が拠点全体の事業活動を圧迫しました。また、しあわせの家ショートステイでご利用者・職員計 5 名が感染するクラスターが発生するなど、複数事業が一時休止や新規受入停止等を余儀なくされました。誰もが軽症に止まったことが、せめてもの救いと言えます。

大型新規事業に関して、須磨区妙法寺地区に約 750 坪の土地を取得しました。サニーライフ白川拠点のサテライトとして「神港園サニープラザ妙法寺」を創設し、地域密着型特養、サービス付き高齢者向け住宅、デイサービス等を開設する計画を、担当行政と協議しつつ練り上げています。

ロシアによる突然のウクライナ侵攻がもたらした世界的なインフレ影響が未知数ではありますが、加速する高齢化を前に、受け皿となる福祉拠点整備を進めたいと考えています。

年度末の 3 月、さん舞子神港園ショートステイのご利用者が夜間帯に負傷し、後の調査で夜勤職員による傷害であったことが判明しました。刑事事件に発展する重大事案です。

被害ご利用者には誠に申し訳なく、広く法人関係者にとっても衝撃で、社会的な影響も大きい中、介護職員の心の安定の重要性を痛感させられる出来事でした。既存の対策で抑止できなかった事実を真摯に反省し、再発防止に向け、感情のマネジメントをはじめとする各種研修教育の拡充、並びにご利用向け・職員向けの内外相談窓口の周知と活用の啓発、懸案事項の早期発見等の対策強化を進め、組織を挙げた信頼回復に取り組みます。

経営面では、令和 3 年度介護報酬がコロナ禍を背景に 0.7%の増額改定となりましたが、在宅事業を中心に逆風を受けました。営業開拓が困難な時勢は継続し、特に前年度のクラスター感染後の利用回復が遅滞した西宮拠点や、収入減と費用増の二重苦に陥ったしあわせの村保育園の不調、白川拠点の大規模修繕費等が影響し、前年度に続く厳しい決算年度となりました。

実務を所管する業務執行理事の新任体制下において、盤石の安定経営に向けた体質改善施策を進めましたが、人件費増等の費用抑制が急務です。そんな中で、国策により 2 月から導入された第 3 の処

遇改善制度の補助金受給は誠に救済そのものでした。

次回令和 6 年度の介護医療制度同時改定は、極めて厳しいと予測が出ています。ウィズコロナの施設生活の改善も含め、いま時流に適應する変革が真に望まれるところです。

Ⅲ. 重点報告

1. ご利用者の自立支援と地域包括ケアに資する一層の福祉的貢献

新型コロナの感染リスクを恐れたご利用控え、相談控えが増加し、明白に機能低下が進むご利用者が目立ちました。

自立支援を志向する科学的介護が本格的に制度化され、実効的活用が始まりつつある気運を逃さず、ノーリフティングケアの導入強化によるご入居者の拘縮予防と職員の腰痛予防の促進等を進め、ケアマネジメントとサービスの品質の進化に取り組みました。

また地域包括ケアに資する取組みとして、白川拠点における福祉用具貸与・販売事業「介護しよぶが神港園」の令和 4 年 5 月開設、舞子拠点におけるリハビリ特化型デイサービス「リハデイ Gs さん舞子神港園」の同 6 月開設の準備を進めました。

2. 体制の維持向上と魅力ある組織作り

組織の新陳代謝に伴う体制移行を進める上で、4 地区 6 施設の施設長交代を行ないました。また前年度末昇任直後の副施設長級職員も、初めての幹部職責の壁に抗いつつ担当拠点を支えました。

職員は組織の宝であり、その多くが長期勤続を望む職場である努力を怠らず、全員が当事者として目指す職場の向上が自ずと法人の発展を促す組織風土を醸成して、人財の育成を進めます。人事制度のプロジェクトからは、職場活性化に繋がるポイント制度や E ラーニング研修、福利厚生充実等に資する提案が出され、採択を検討しています。

外国人介護人財の育成について

入国が遅延していた外国人人財の着任が進み、フィリピン・ベトナム・ミャンマー・モンゴルに続いて、インドネシアから新たに EPA 人財を迎え入れました。日本語能力や適性に個人差が大きく、初の途中帰国者が出るなど活用の難しさに直面しましたが、優秀で真摯な姿勢には学ばされることが多々あります。将来いっそう貴重となる人財獲得経路であることは疑いがなく、資格取得支援も含め、活躍の場である責任を十分に果たせるように引き続き努めます。

3. 経営基盤の強化、法人総合力の向上と「神港園スタンダード」の推進

予算の考え方と連動する形で、経営管理手法の改善に着手し、確定数値を用いた月次分析への回帰と、本部配賦費用の処理変更、決算費用の見える化を行いました。システムも活用した事務省力化と計数表の向上による課題抽出を前提に、各拠点が財務部と定例協議した対策を早期に実行できる環境の構築を試みましたが、感染予防による往来の抑制もあり、道のりは半ばです。

内部統制強化と法人横断的活動について

外部コンサルタントに内部統制強化を依頼し、客観的専門的知見を活かしたガバナンスとコンプライアンスの強化に着手しました。また標準化機能を担う法人横断的部会組織に、新たに行政要望取りまとめ担当幹部を置き、業界団体を通じた公的制度への積極的提案の素地としました。またシステム・設備のプロジェクトによる介護記録・請求管理システムの継承計画を採択し、次年度の実行と活動継続に繋げました。

4. 既存事業の重点強化ならびに新規事業

- ①施設入居者のための診療所を開設して手厚い医療提供に努めてきた法人として、医療系事業を所管する「医療事業部」を組織しました。ただし、変化期特有の突発的な体制の変更も生じ、医療提供を改めて護持するため、診療所所長を軸に常勤医師 2 名・非常勤医師 8 名体制を整えました。

次年度には医療事業部事務部門を強化して医療介護の連携を促進し、機能強化と将来的な事業拡張の検討を進めます。

- ②休止していた介護資格者養成研修事業「けあスクール神港園」を再開し、法人内講師陣による「介護職員初任者研修」を 9 月に開講しました。一般 2 名、職員 3 名の初回受講者を得て講師陣の達成感は大きく、次年度には「介護職員実務者研修」の開講も計画しており、各種研修センター機能のいっそうの充実と、人財確保の新ルートへの発展が期待されます。

- ③平成 11 年竣工の白川拠点、外壁をはじめとする大規模修繕工事を実施しました。

- ④平成 17 年竣工の舞子拠点ケアハウス北館で、大型空調設備を更新しました。

- ⑤平成 31 年度からの編入、令和 2 年度からの制度統合を経た西宮拠点は、新施設長の直下に 2 名のチーフリーダーを置く新体制でマネジメント強化に取り組み、次年度の経営改善と神港園スタンダードの浸透に向けた改革を進めました。

【1】法人本部

本部長 高谷 明

1. 事業報告

令和3年1月の法人70周年を記念して「倫理綱領・職員行動規範」を制定し、ホームページ及び各拠点掲示、研修等による浸透を図りました。期首の組織改編に応じて、会議体の各種調整を行いました。令和元年度決算時に指摘を受けた決算プロセスを、ICT推進室主導のシステム活用等で改善しました。

新規取得した妙法寺土地の活用に関しては、本部と白川拠点の役職員でプロジェクトを立ち上げ、事業計画の詳細を詰めました。ボリュームを想定する居住系事業の経験が乏しいため、知見を有する外部コンサルタントに経営シミュレーションを依頼し、精度を高めました。建物の設計監理に関しては、業務特性に適したプロポーザル選考への参加を4社に依頼し、総合評価にて選定しました。令和6年創設を目指し、行政機関を含む各方面との調整を進めています。既存建物も設備更新や修繕の必要が高まっており、複数拠点が工事や予定化を進めています。法人全体での長期設備更新計画の策定が望まれるため、専門業者選定のためのヒアリングを開始しました。

人財面では、新任リーダー5名、新任チーフリーダー3名の昇任を実現できました。また令和4年4月に11名の新卒採用者の入職が叶い、経年の努力が実を結んだ成果です。採用全般は概ね良好ですが、看護職や登録ヘルパー確保の困難傾向は続いており、対策強化が待たれます。離職率は2年連続で低下し、組織基盤の安定を期待できます。現場の介護力を保つために、法定基準を超えた法人加配の重要性を改めて認識しました。次年度には人員配置法人基準の運用向上を図り、人員数と待遇のバランスを取る経営の肝となる人件費管理の精度を高めます。また集合研修が困難なコロナ禍ですが、Web環境の活用や、簡略化等の工夫を取り入れ、更なる研修教育強化を進めます。全組織的な人財活用・人財育成により、地域で選ばれる事業者としての地位確立に全力を挙げます。

2. 経営報告

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	3,898,813	3,852,227	46,586
前年度決算	3,919,931	3,829,428	90,503
前年差	△21,118	22,799	△43,917

情勢と取り組み

サービス活動増減差額は対前年差43,917千円の減となりましたが、費用全体でサニーライフ白川等の修繕費（前年差約40,000千円増）の影響が大きいと思われます。また、在宅

部門を中心に新型コロナウイルス感染症の収益への影響は大きく、コロナ前の令和元年度と比較した場合に法人全体の減収はで約 70,000 千円程度と推定されます。

令和 4 年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くものと考えられ、新規入居者や利用者に対する予防対策は最重要課題として取り組む必要がありますが、ご利用になる方にもっと喜んでいただけるよう、様々なアイデアや工夫を重ね、新たなご利用者、リピーターの増加に努めてまいります。

【サービス活動収益】

今年度からの特記事項として、監査法人の指導により、医師及び PT・OT の各施設への派遣料（医療事業部収益）を内部取引消去（△41,111 千円）する処理に変更しました。また、前年度には西宮拠点で交流館土地建物（約 20,000 千円）の貴重なご寄付を受けたこと等を併せて勘案した比較においては、前年度より約 40,000 千円の実質増収に相当すると評価できます。

【サービス活動費用】

サニーライフ白川の外壁大規模修繕や保育園の運営委託業者変更による業務委託費増の影響などにより、事務費は前年差 36,388 千円の増となっております。人件費については、医師及び PT・OT の各施設への派遣料の内部取引消去分（△41,111 千円）を勘案すると、前年より 28,322 千円の実質増と判断されます。費用における最重要課題の高止まりした人件費ではありますが、今後は人事評価に加え、拠点別実績を加味した個別評価等により、生産性の向上を積極的に評価して連動する賞与制度運用の導入を検討していく必要があります。

【本部管理費用の状況（各拠点会計への配賦額含む）】

◇サービス活動収益：70 千円

（予算執行率 14.0%）

◇サービス活動費用：128,971 千円

（予算執行率 82.9%、予算差△26,565 千円、前年差△19,063 千円）

◇サービス活動増減差額：△128,901 千円

（予算差 26,135 千円、前年差 18,899 千円）

前年度における消費税の過払いが判明し、還付の請求を行いました。よって、租税公課は、本来の水準約 9,000 千円に対し、今年度は約 2,000 千円の計上に止まっております。また、業務委託費においても、外国人の誘致がコロナの影響で遅れており、約 5,000 千円減少しています。人件費につきましては、前年度より約 1,000 千円増で、ほぼ横ばいです。費用全体で結果的には当初予定よりも大幅に削減出来ました。

3. 部署報告

3-1.財務部

《部門行動指針》

- ① より実態把握、分析に適した資料への見直し
- ② 月次資料（法人全体・保育園）予算・決算業務の連携
- ③ 週次 MT で進捗、納期管理することにより、計画的な業務遂行の実現を目指す

《部門報告》

- ① 本部支部一体となった業務運営
各拠点の運営状況を計数だけでなく、現場実態を共有することにより的確でタイムリーな対応を目指します。
- ② 事業予算執行力強化のためのフォロー体制を修正
従来の資金収支予算と事業活動予算の二本立てから、考え方として令和4年度予算自体は資金収支計算書をベースとし、事業活動計算書は拠点の事業運営の管理資料として活用しました。
- ③ 保育園の収支改善対策
保育園の運営を管理している人事部と連携の上、保育園の収支改善対策を担当し経営政策会議に報告を行いました。

3-2.総務部・ICT 推進室

《部門行動指針》

- ① 法人ガバナンスの強化に向けた内部統制プロセスの確立
- ② 法人における事業継続計画（BCP）の策定推進
- ③ ICTを活用した業務省力化の取り組みの推進及び運用における統括的な管理体制の構築によるコンプライアンスの強化

《部門報告》

- ① 日本経営のコンサルティングを受け、業務の有効性・効率性、財務報告の信頼性、法令等の遵守、資産保全の推進に向けた基盤整理を開始しました。まずは各拠点及び部署のヒアリングを行い、現状把握とともに、基盤整理の一環として規程等の内容の確認、一部改定へ向けた整理を行いました。
- ② BCP の策定推進においては、拠点及び委員会等との連携ができておらず停滞しており、次年度に向け、再度取り組んでまいります。
- ③ ICT 活用による業務省力化については、RPA（Robotic Process Automation）ソフトウェアを導入し、定型業務の自動化を図るべく開始しました。まずは、利用者向け請求業務におけるデータ入力の自動化を行いましたが、全拠点展開は医療事業部レセプトコンピュータの変更に伴い調整が入り、次年度へと持ち越しとなりました。また、その他定型事務業務の自動化を検討し、舞子拠点をモデルケースとしてシステム構成の基本設計を行いました。

3-3.人事部・労務

《部門行動指針》

- ① 次世代を担う人材開発の推進
- ② 多様な人材採用に向けた取組強化
- ③ 新常態（ニューノーマル）に向けた働き方改革の推進による満足度向上

《部門報告》

- ① 創立 70 周年を迎えました当法人が今後、大きく飛躍するには、新たなリーダー、チーフ層の育成が喫緊の課題です。本課題解決に向け、研修コンサルタント会社と連携し、より高い視座から自身の役割、課題を認識し自らがその解決に向けたアクションを実践する職員の育成を目指し、「リーダーシップ力向上研修」を 3 回シリーズで開催しました。参加者は 30 歳代を中心とした中堅層とし、所属部署で率先してリーダーシップ力を発揮する事で所属部署、法人が筋肉質な組織に変革していく事を期待しました。研修では回を重ねることにより積極的な姿勢が顕著に表れ『個』が強化されていくプロセスを目の当たりにしました。より一層の成長に導くには研修終了後もモチベーションを維持し主体的な行動の継続が不可欠ですのでフォローアップ研修を開催し、さらなる育成に向けた一助とします。

- ② 新卒採用強化に向け従前からの基本活動に加え紹介会社との連携及び母集団が形成しにくい業種において接触できた学生への多頻度的なアプローチ活動を徹底しました。ミスマッチによる離職を防止するため当法人の人材育成の考え方、従前より育んできました法人資産、高齢者福祉に就労する事の社会的意義等に関して丁寧な説明を繰り返し、共感していただきました 11 名の新入社員をこの春、迎える事ができました。（大学卒 5 名、専門学校卒 3 名、高校卒 3 名）

新型コロナウイルス感染症の収束が不透明な状態が継続しており、実習生の受け入れについては制約がありますが 2023 年新卒採用においても引き続き、活動に注力して参ります。

ここ数年、採用活動以上に強化して取り組んでいる離職防止については、離職率 11.7%(前年 12.9%)でした。離職率一桁が射程圏内に入ってきましたので入職後 1 ヶ月を目処としたフォロー面談の実施、施設幹部との連携強化、意識調査の声等、職員の変調を見落とす事無くタイムリーに対応して参ります。

- ③ 新型コロナウイルス感染症が拡大した以降、職種は限定的ですがテレワーク、WEB を活用した会議、研修が定着しつつあります。しかしながら、職員の満足度向上を高める職場環境の整備はまだ途上であると考えています。より一層の DX 推進は不可欠であり、現状に満足する事無く改革への歩みを進める必要性を感じています。令和 4 年度の職員意識調査では eNPS（Employee Net Promoter Score・職場の推奨度）を導入し、職員が知人に当法人を推奨するスコアを測定し、職員の声を反映した職場環境の整備を推進していきたいと考えています。

3-4.事業部

《部門行動指針》

- ① 法人内における資格取得支援体制の構築
- ② ノーリフティングケアの推進とエビデンスに基づく介護の推進
- ③ 西宮拠点における制度理解推進と運営支援
- ④ 訪問介護事業における拠点間連携強化と効率化の検討

《部門報告》

- ① 資格取得支援として、けあスクール神港園の再開による介護職員初任者研修を開講しました。法人内講師陣による研修実施に向けて外部講師による講師陣への研修や受講者の外部募集を行い、令和3年9月14日、さん舞子神港園北館会議室において、けあスクール神港園介護職員初任者研修の第一回目の講座の開設に至り、以後週1回、全19日間の研修を修了して、令和4年2月10日に5名の受講生に修了証を発行することが出来ました。

介護福祉士実務者研修の令和4年度開講のための指定手続きを進めるとともに、従来から実施している介護福祉士及び介護支援専門員の受験対策講座を開催し、資格取得を推進しました。また、外国人介護人材への日本語講義を委託しているNPO法人アジアの輪との間で外国人介護人材の介護福祉士資格取得に向けた研修の在り方について情報を共有しました。

- ② ノーリフト協会のベーシック研修参加者の調整やリハビリテーション部会での拠点ごとの進捗確認等を行いましたが、コロナ禍のため施設介護部会との合同開催が実現せず、ノーリフティングケアやリハビリ専門職の協力によるエビデンスに基づく介護等の十分な取り組みができませんでした。
- ③ 西宮拠点幹部およびチーフを交えた会議を行い情報の共有を図るとともに、レインボー酒蔵通の本館・西館の一体的運営の方針を確認し、令和4年度から取り組みを開始することになりました。
- ④ 元々の人材不足に加えてコロナ禍による職員の業務離脱等が重なり、拠点ごとの対応では業務に支障をきたす事態が発生したため、緊急的に部会で情報を共有して全拠点の協力による相互の事務的連携及び人材派遣等を実施し、全体的な協力体制の構築が進みましたが、会議開催が制限される中で、検討を深めるには至りませんでした。

4. 部会・部門報告

4-1. 施設部会 介護部門

部会長：久保副施設長

- ① 感染症対策により、参集しての部会開催が出来ない状況が続く中で、各施設間の感染対策状況について情報共有を行いました。特に、感染症発症者に対応した施設からの対応事例を元に、各施設への感染対策物品やマニュアルの見直しについて検討を行いました。
- ② 各拠点で使用される様々な介護機器の利点や欠点を共有し、より有効な福祉用具の選定を進めることとしていましたが、感染対策の為、各施設の福祉機器に直接触れながらの検討が出来ませんでした。次年度以降は、施設訪問やWEB会議を利用した直接や映像での検討を進め、福祉用具を用いた

効果的な介護へと繋げていきます。

- ③ 介護職員の服装ルールについて、改定を実施しました。時代と共に変化するファッションに対応しつつ、流行を個性として理解しながらも、介護職員として清潔感のある身だしなみができるようなルール変更を行っています。

4-2. 施設部会 生活相談員・施設ケアマネジャー部門

部会長：船江施設長

新型コロナウイルス感染症での予防対策を含め、参集での開催が難しい状況にありました。

- ① 令和3年度介護報酬改定に伴う強化加算取得強化を念頭に、現状の加算と算定要件を踏まえた新しい加算の取得に向けてサイボウズを利用した情報共有を行ないました。特に新設された加算に関して最終的に科学的介護情報システム（LIFE）に繋げるように情報共有を行いました。
- ② 新型コロナウイルス感染症の協力体制に関しては、それぞれの施設のBCP対応方針を共有するのみになりました。自然災害発生時の協力対応の検討を行うまでには至りませんでした。基幹型避難所の白川拠点、福祉避難所のシルビア拠点が訓練を行政指導の下終えて、次はしあわせの家が訓練実施対象施設となるため、終了後情報交換を行っています。災害時支援マニュアルに関しては、現在神戸市老人福祉連盟が原案を行政とすり合わせしているため、雛形が完成次第、施設ごとの作成に入ります。
- ③ 施設ケアマネジメントのあり方の検討については、参集出来ないこと、職員向け研修もコロナ禍で開催できないことから次年度に持ち越しとなりました。

4-3. 在宅部会 ショートステイ部門

部会長：前田副施設長

新型コロナウイルス感染症対策の為、集合形式で部会を開催することが厳しい情勢が継続した為、主にWEBやメール形式で開催することになり以前のような活発な議論を交わすことが困難でした。

こういった状況下での活動内容としては、以下が挙げられます。

- ① サービス利用に関する満足度や意向確認のアンケート調査を例年通り実施しました。実施に際しては、部会で設問内容の更新等を協議し法人統一のアンケート様式を作成しました。アンケート結果で得たニーズへの対応事案等を基に、サービスの質の向上の為の有効な情報として活用することができました。
- ② 新型コロナウイルス感染症への備えとして、各拠点の感染症対策内容の共有を部会内で行い、有効な対策内容については各拠点でも活用できるよう努めました。
- ③ ショートステイでの安全対策・事故予防対策について、感染症対策の共有と同様の取組みを行いました。次年度においても上記の活動を行うとともに、介護職・相談援助職合同の部会を開催し、職種間連携の更なる促進を図り、更なるサービスの質向上に部会が貢献できるよう努めていきます。

4-4. 在宅部会 デイサービス部門

部会長：太田副施設長

※年4回オンラインで開催（6月、9月、11月、2月）

① 新型コロナウイルス感染症対策について

各拠点近隣の発生状況の情報を共有するとともに、対策に関するアイデアを持ち寄り予防の強化につなげました。

② 介護報酬改定に伴う加算取得について

事業所別の計画及び進捗状況の確認と情報共有を実施しました。特に、科学的介護推進体制については貴重な情報共有の場となりました。

③ 各種マニュアルの整備、更新について

担当者を振り分けて案を持ち寄り検討した結果、年度内に更新するものと新年度にまたがり再作成するものとを整理しました。

④ 顧客分析について

情報交換のなかで、品質の裏付けと評価される加算取得が多いために利用料が高額になる事業所が避けられる場合の傾向や、利用継続のキャンセルや地域の評判の良い競合事業所についてなど、自サービスの改善につなげる分析を行う必要があることを共有しました。

⑤ 顧客アンケートについて

前年度はそれまでの拠点独自のものと感染症関連のものと二つを実施しましたが、今回は拠点独自のものだけにすることで統一しました。回答を集計、分析して拠点の職員間及び部会で共有し、より良いサービス提供のために活用しました。

4-5. 在宅部会 ホームヘルプ部門

部会長：鷲尾副施設長

① サービス提供責任者の育成

研修や事例共有を通じた調整力・相談援助力の向上

上期は困難事例に関する事例検討を2回実施し、様々な意見交換の中で対応方法や課題発見など違った角度からの気づきに繋がり、中々顔を合わす機会が少ない他拠点のサービス提供責任者同士の交流の機会にも繋がりました。法人ホームヘルプ事業の一体運用に向け、顔の見える関係性は非常に有効で今後も継続した交流を図っていきます。

② スタandard化の強化と横断的協力体制強化の検討

マニュアル見直し、書類管理方法のStandard化

一年を通し、ホームヘルパーマニュアルの見直しが完了し、新たに誤薬防止のための服薬手順の追加や事業所内連絡体制一覧表の見直しなど、実用性のあるマニュアルが完成しました。

神戸市の認知症高齢者施策である「みまもりヘルパー事業」の契約書の統一化・整備、事業所体制加算要件の運用の統一化、ZOOM 研修における通勤・付帯移動手当の新設、カスタマーハラスメント対

応に資する契約内容の追加、登録型ヘルパーの昇給基準・着眼点の統一化、自主点検シートの共有と対策等、横断的課題につきスタンダード化を図りました。

令和3年度介護報酬改定への対応についても、早々に協議し「契約書関連」「虐待防止・身体拘束廃止の指針」に関する準備を進めることができました。

コロナ禍における協力体制の検討

コロナ禍の有事等の協力体制に備え、介護システム「ちようじゅ」における全拠点の事業登録を行い、サポート体制整備と実務協力を実施しました。この試みにより、今後の法人内一体運用に向けた足掛かりになったと考えています。

③感染症予防対策とコロナ禍での安全なサービス提供体制の強化

情報共有と有事に対応可能なマニュアル整備

ホームヘルプ部会としてのマニュアル（案）の作成まで至ったものの、協議を深めることが出来ず、来年度に持ち越し協議検討を行っていきます。令和3年度報酬改定対応の1つである「感染症まん延防止に関する指針」については、年度内に案の作成までは完了しました。

シミュレーションに向けた情報共有

ホームヘルプ部会内で、各拠点の対応方法、感染防護品のための配布物品の情報共有を行いました。拠点単位での考え方の違いがあり、収集した情報を拠点に持ち帰り検討を行いました。

4-6. 居宅介護支援事業所・地域包括支援センター部会

部会長：明田施設長代行

- ① 新型コロナウイルス感染症ならびに災害発生におけるBCP作成を行いました。また、シミュレーションを行うことで行動に移せるように取り組みました。
- ② 新型コロナウイルス感染症対策としてテレワークの導入を行っていますが、情報共有の効率化を図る為、ファインリンクやマイクロソフトチームズ等のシステムを活用しました。

4-7. 栄養部会

部会長：明田施設長代行

- ① 拠点によって進捗に差異はあるものの新たな加算取得に取り組みました。また、加算取得における課題についての共有を実施しました。
- ② 物価上昇等の課題から光熱費や資材等費用も含めて費用基準額（食費）の見直しを検討する事としましたが、厨房委託業者との調整も難しい状況である為引き続きの課題となります。

4-8. 診療・看護部会

部会長：船江医療事業部事務部長

コロナ禍において、医療従事者が集まる機会をなかなか持つことが出来ませんでした。医療事業部として診療部門と一緒に開催となっていたが、発足の際の部会開催以降参集開催は困難でした。

- ① 計画においては、医療関係における支援の事例検討を計画していましたが、参集出来ず実施出来ませんでした。
- ② 新型コロナ感染症発生時における、ゾーニングの実施内容に関する情報共有を行いました。
- ③ 新型コロナワクチンの接種における、準備方法、接種手順、実施報告等診療所窓口として行なう内容の共有も行いました。

4-9. 在宅部会 リハビリテーション部門

部会長：明田施設長代行

- ① ノーリフティングケアならびに腰痛予防対策を推進するに当たって、各拠点の進捗を共有するとともに課題検討を行いました。拠点毎に差異はあるものの、職員の意識の高まりや技術の向上が見られます。
- ② セラピスト中心にエビデンスに基づいた介護の必要性周知に取り組みました。
- ③ SOAP 研修(※)を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症影響により見合わず事となりました。次年度は開催方法も含めて再検討する事となります。

※SOAP：「S(Subjective):主観的情報」「O(Objective):客観的情報」「A(assessment):評価」「P(plan):計画」の略で、医療看護の分野において、対象者の経過をカルテなどに記録するにあたり、上記4つの項目に沿って記入していく手法。

4-10. 事務・IT 部会

部会長：村上総務部長

- ① 情報共有や研修企画によるスキルアップについて、検討は進めましたが新型コロナ感染症の影響が大きく、進みませんでした。
- ② ICT との連携による RPA については、導入後、利用者向け請求業務について自動化プログラムを実行しました。全拠点への展開については、医療事業部のレセプトコンピュータの入替によりプログラムの微調整が必要となり、次年度へ繰り越しとなりました。
- ③ 財務処理の精度向上・効率化を目指した業務の省力化や信頼性のアップについて、本年度は殆ど取り組みませんでした。次年度に向けて本部とも連動し進めてまいります。

4-11. 広報部会

部会長：村上総務部長

- ① ブログによる地域社会への情報発信等について、発信頻度の安定を図り、情報発信を行いました。
- ② その他の SNS を利用した情報発信についても検討を行い、次年度以降具体化していきます。
- ③ ホームページのリニューアルについて検討し、次年度以降取り組んでいきます。

5. 委員会

5-1.組織強化委員会

委員長：黒田施設長

- ①「公用車管理規程」の改定に向けての意見取り纏めと経営戦略会議への上程を行いました。
- ②「自家用車（バイク）通勤管理規程」の改定に向けての意見取り纏めと経営戦略会議への上程を行いました。
- ③「感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための指針」の制定のための議論を行いました。

6. 各種プロジェクト

6-1.トライやるウィーク 交換研修

プロジェクトリーダー：亀岡副施設長

交換研修の実施については、参加職員の知識・視野拡大だけでなく受入施設側の自事業サービス内容の見直しや再認識等の相互刺激を得る事が出来る貴重な機会である為、2021 年度は以下 3 点を重点計画としてスタートしました。

- 1. 法人内事業への理解と視野拡大
- 2. 相互刺激による活性化
- 3. 実習経験の業務反映

コロナ禍において人の往来が制限される中で、当初予定していた各拠点間交換研修式の計画的実施は叶いませんでしたが、研修参加に対するニーズ収集と、今後の事業の進め方として「より柔軟な形」での実施が望まれる事を再認識する事が出来ました。

6-2.システムプロジェクト

プロジェクトリーダー：亀岡副施設長

プロジェクト目標：職員が働き易いインフラ作り

解決課題：現介護系基幹システム「ちようじゅ」から「新システム」への円滑な移行

2022 年秋に現介護系基幹システムの「ちようじゅ」から「けあカルテ」への移行が計画されている中、「使用側」と「管理側」双方の立ち位置からの情報収集・周知活動を実施。円滑な移行に向けての筋道を作る事が出来ました。また、移行に伴い導入が可能となる見守りシステムやインカム等の ICT 連携機器の情報収集や周知活動により移行による業務効率化提案を実施しました。

6-3.人事政策プロジェクト

プロジェクトリーダー：久保副施設長

職員の法人貢献意欲と就業満足度向上に繋がる制度の構築に向けて取り組みました。

① 社内活性化企画

職員間のコミュニケーション活性化を目的に、上司が部下を評価するだけでなく職員が職員を、日々の

業務上で発生している協力や頑張りに対して、承認や感謝の気持ちを贈り合う制度や仕組みの導入。

② 教育、能力開発企画

業務上の隙間時間を活かした研修体系の構築と、職員個々の目的に合わせた研修受講による自己研鑽の促進を図ることを目的にした、W E B 研修システムの導入（E-ラーニング）。

【2】 養護老人ホーム神港園

施設長 船江 孝志

1. 事業報告

令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症との共存を重点課題とし、運営理念である「心温まる支援」を念頭に置き、職員意識の向上と質の高い生活支援に取り組みました。事業活動面においては、養護老人ホームは月初め定員の確保に加え在園者を確保することで訪問介護の内部サービス提供の充実、訪問介護は地域サービス実績の向上を目指し取り組みました。

取り組みの結果として、サービス活動収益は当初予算 224 百万円に対して実績が 214.5 百万円、サービス活動費用は当初予算 223.3 百万円に対して実績が 219.8 百万円と、収益は未達成でしたが支出節減により、サービス活動増減差額は当初予算を達成することができました。収入未達成の大きな要因として、昨年まで措置事務費が A ランクから結果 C ランク（職員の平均経験年数によるランク設定）となり、2.7 百万円減額となったことがあげられます。一方、サービス活動費用は経費節減に取り組んだことと減価償却費の減があり、対前年で 16.7 百万円(本部配賦除く)の節減ができました。

養護老人ホームは、全国平均で 89%の在園率とされる中で平均 95.2%の在園率を維持し、月初め定員の満床確保も継続できています。但し、行政からの入所措置依頼は少なく、入所待機者のいない状況（措置依頼件数 11 件、内当施設入居 9 件、他施設入居 1 件、取下げ 1 件）が続いています。

入居者の重介護化が続き、高齢者の社会復帰を目標とする養護老人ホームは特別養護老人ホームへの入所待機の状態に変化してきています。入所者の通院や入退院対応、日々の介護支援の必要性和介護・医療ニーズは増加の一方にある中、設備・体制に関しては従来の体制のままであるため、入居者の健康管理や入居者の状態に合わせたケアの確保が極めて困難となっています。訪問介護のマンパワーと通所介護の環境をフル活用しながら何とか生活を継続している厳しい状態にあります。

訪問介護は、サービス提供責任者の業務環境の改善と、訪問介護・予防訪問介護サービス提供量の増加に取り組みました。法人内外を問わず多くの居宅介護支援事業所から新規サービス依頼を受け、上期は職員確保も進んだことで、訪問介護サービス提供量も順調に増加していましたが、傷病・産休等による休職者が続いたことと、状況変化に応じた職員の体制確保が出来なかったことにより、下期は新規依頼に対応できない状況が続きました。折角の依頼に応えられないことで事業所内でのモチベーションが上がらない状況が続いています。

年度中に神戸市からの実地指導を受け、大きな指摘事項無く終えることが出来ましたが、記録等の大切さを再認識しました。訪問介護サービス提供回数は上期順調だったこともあり、対前年で 141%の伸びが見られましたが、施設内でのサービス提供は入院者が多く出たことで提供数が大きく減少し、見込んだサービス提供量には届きませんでした。今後も同様状況が繰り返されることが考えられることから施設内提供

サービスに関して、自立支援を目指した「共に行なう介護」をサービス内容に組み込み、利用者と共に実施していけるように取り組みを始めました。

西区拠点として、シルビアホームとの一体運用を開始する中で、職員の効果的・効率的な配置の検討と運用、組織的な協力体制を作ることによって拠点内の連携強化に取り組みました。取り組みの一步として共通業務が多い事務職員、相談員、介護リーダーの3職種については毎月の合同会議を実施し、それぞれの課題を共有し拠点スタンダードを計画・実践することで、結果として業務の効率化を実現することが出来ました。高齢者虐待防止研修を始め、施設内研修の合同開催、協働が必要な委員会等、職員一人ひとりの情報・意識・知識の共有により、業務も含めた交流が出来るようになり、次年度に向けた人事交流を含めた西区拠点一体運用の実現に向けたスタートを切ることができました。

2. 新型コロナウイルス感染症対策

- ◆感染症対策委員会の決議内容は、委員会終了後直ちに職員全員に配信し周知を徹底
- ◆体調不良の職員は、業務に当たる前に受診を促し、感染症の持ち込みを未然に防ぐ取り組みの実施
- ◆クラスター発生時のシミュレーションと研修の実施とマニュアルの実行と検証
- ◆発生時想定 of 初動対応と隔離対応の理解（ゾーニングの作成、厚労省推奨の動画視聴）と実践
- ◆飛沫感染防止の徹底対策（職員のマスク着用の徹底と可能な利用者のマスク着用）
- ◆換気 of 全館放送を1日3回実施するとともに、職員通用口に消毒液を設置、退社後も手洗いを遵守
- ◆個々が携帯消毒スプレーを常時携帯し除菌に努める（自宅使用も可）
- ◆職員食堂のテーブル使用人数の制限と黙食の徹底
- ◆会議室使用後の換気と消毒徹底
- ◆1ケア1手袋の徹底
- ◆感染症予防対応マニュアルの改正
- ◆感染症発生時の物品の見直し・管理
- ◆疑わしい事例に関して、必要に応じた職員への抗原検査の実施

新型コロナウイルス感染状況（令和3年度）

ご入居者・ご利用者の 陽性数（人）	営業中止および、新規受け入れ中止日数			陽性職員数 （人）	自宅待機日数 （日）※1
	デイサービス 営業閉鎖日数 （日）	ショートステイ 営業閉鎖日数 （日）	保育園 休園日数 （日）		
0	0	0	0	1	52

※1 濃厚接触や幹部からの指示等、職員が新型コロナウイルス関連の理由で職務を休んだ延べ日数

3. 経営報告

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	214,518	219,817	△5,299
前年度決算	229,355	236,473	△7,118
前年差	△14,837	△16,656	1,819

情勢と取り組み

神戸市民間社会福祉施設等整備審査会の審査により補助金認可を受け大規模改修工事（外壁改修工事）計画の実施が決定しました。補助金は45,122千円を上限に1/2の補助率となります。

大規模改修工事実施については、計画上令和4年度実施となりますが、竣工から18年が過ぎ、今後、電気設備やエレベーター等、大型設備の更新時期が近く、計画的な更新実施に向けた検討が必要となっています。

養護老人ホームにおいては、年間を通して多くの入院者が発生し、在籍者は何とか満床確保ができていても在園率が低迷し、訪問介護の収益に影響をきたしました。数年続く待機者不足のなか、依頼ケースに関しては即時対応し在籍者確保を行いました。

訪問介護においては、人員不足が年間を通して見られ、異動採用等で活動職員の確保を進めましたが、退職や傷病に伴う長期休職等により、実質的に必要人員の確保には至りませんでした。結果として、外部サービスの新規依頼を多く頂いても対応することが出来ず収益にも影響しました。夜間対応の活動依頼が無く、現状の活動継続に夜間職員の配置も含め適応することも厳しい状況になっています。養護老人ホームも年間を通して入院者が多く内部の訪問介護活動の活動減が目立ち、新規入居者も軽介護度の方が多いため、内部活動「共に行う介護」の実践に着手し、活動回数増を進めます。

運営報告

◆苦情・要望

訪問介護事業所において、業務改善に向けた要望を1件受け付けました。サービス提供責任者と登録ヘルパー間において、情報伝達の不備から適切なサービス実施が出来なかった事例によるものであったことから、登録ヘルパーへのサービス内容の説明を行う事に加え、サービス提供開始前に登録ヘルパーへのサービス内容確認を行い、再確認を実施する事としました。

◆事故・虐待防止

◆骨折に伴う事故が2件発生しました。基本的には身の回りのことはご自身でできる方が対象となる養護老人ホームにおいて、要介護状態の方が増えてきていることから、見守り体制等の強化が必要な状況となっています。

◆感染症対応期間が長くなり、施設の現状が外部との接触が少ないことで見えづらくなっています。利用者

のストレス、感染症予防対策の強化の影響で、対応する職員のストレスも高くなってきています。

【対策】

- ◆施設利用者の平均介護度の上昇に伴い、業務内容とフロアレイアウトの見直しを行い、利用者が安全に移動できるような導線の確保と、見守り体制の強化を行いました。
- ◆感染症予防対策をしっかりと踏まえての施設行事を再開することで、利用者のストレス緩和と施設のあるべき姿を取り戻すよう努めました。

4. 部門報告

4-1. 養護老人ホーム神港園

4-1-1. 介護部門

- ◆感染症の拡大により行事やクラブ活動の中止が相次ぎ、ご入居者にとって生活空間が縮小され、どのようにすればストレス緩和に繋がるかを職員全体で検討し、種まきや文化祭展示の作品作り、初詣等少人数でも楽しむことが出来る行事を行いました。中でも特に好評だったのが、テイクアウト弁当の企画でした。全入居者対象に豪華なお弁当と高級茶を提供し、美味しく召し上がっておられ、とても喜んで頂けました。
- ◆施設全体で感染症会議や医務室含め、他部署との連携や共有を図り、換気・消毒の徹底を行い施設内での感染者を出さずに済みました。また、入居者の体調管理や状態観察を職員間で情報共有することで、早期発見や医務室への伝達がスムーズにできました。
- ◆職員間にも以前の様な固い雰囲気緩和され、新人職員が加入したこともあり明るい雰囲気になりつつありますが、職員の勤務日や配置により雰囲気に差が出ています。接遇においては意識して対応していますが、まだまだ課題であり、今後、研修や勉強会を通して改善が必要です。

4-1-2. 看護部門

- ◆感染対策物品の確認や準備など、定期的な確認ができていたことにより、利用者の入退院・入退所に応じてスムーズな感染対策を実施することができました。物品の使用量は増えることとなりましたが、欠品なく適切な物品管理が出来ました。
- ◆新しい情報の報連相を心がけ、ちようじゅシステムの活用に加え、口頭やサイボウズメールで積極的に伝達を行いました。デイサービスでは連絡ノートの活用が不十分であったと思われ、今後の課題として検討していく必要があります。

4-1-3. 栄養部門

- ◆入居者と職員に実施した嗜好調査や直接の声から、出来る限り要望に沿った献立作成に努めました。
また、誕生者リクエストメニューやデザートを選択食を取り入れ、厨房の調理師・栄養士と協力し、いつもと違った雰囲気の行事食の提供を意識し、満足度の向上に努めました。
- ◆新型コロナウイルスを含めた各感染症に対し、多職種含む感染対策委員会の中で、他施設の対策及

び保健所指示等を参考としたマニュアルの見直し・変更を行いました。

◆災害訓練をすることで、備蓄食の保管場所の確認、倉庫からの搬出と試食を実施。感染症・災害等の発生時の食事提供について、関係部署と情報を共有しました。

4-1-4.相談援助部門

◆感染流行状況に応じて、外出企画の実施には至りませんでした。テイクアウト弁当や敷地内での花火などの代替企画を他職種を交え調整を図り実施することができました。

◆地方公共団体の感染防止に伴う通知及び他施設の対策を考慮したマニュアルを施設内感染症予防対策委員会で随時見直し、変更・実施することができました。

◆介護サービス利用者を対象に担当介護支援専門員との情報を密にし、自立支援を踏まえた生活の質の向上に向けた調整を図りました。

4-1-5.事務部門

◆毎月の請求・精算業務については、うまく連携しながら差異に至ることなく滞りなく業務に当たりましたが、個人利用料の集金対象者が多く、集金に時間を要するため、集金代行への切り替えを進めました。

◆今年度は消耗品の経費を削減すべく、新たな出庫表を作成し、出入庫の管理を徹底して行いました。物品に対して、職員の意識が高まり、無駄を省くことが出来た事により必要以外の発注数が減少。物品を保管している倉庫内の整頓にもつながり倉庫内の整理も出来たので、消耗品の残数の把握がしやすくなり、成果が上がる結果となりました。

4-2.神港園ホームヘルプセンター

◆積極的な新規サービス受入れを行い、職員体制の中で最大限の訪問活動実施に取り組みました。また、サービス実施にはつながりませんでしたが、介護相談を受け付け、各関係機関との連携を図る等、訪問介護事業所の役割発揮にも取り組みました。

◆新型コロナウイルス感染症の影響により書面での研修開催が主体となったため、介護に不安を感じている登録ヘルパーには同行訪問を適時実施し、不安解消とサービスの標準化を図りました。同行訪問を行うサービス提供責任者に関しても、自身のサービスの再確認へと繋げることが出来ました。

◆サービス提供責任者の業務負担軽減に向け取り組みましたが、人員体制の不安定さから業務分担を進めることが出来ませんでした。

5. 施設委員会・プロジェクト

名称	開催頻度	主な参加者
事業運営会議 (安全衛生推進委員会)	1回／月	幹部、介護リーダー、看護チーフ、生活相談員、管理栄養士、経理担当職員
事故防止対策委員会 (リスクマネジメント)	1回／月	幹部、介護リーダー、看護チーフ、ホームヘルプセンター長、生活相談員、管理栄養士
感染症対策委員会	5回／年	幹部、介護リーダー、看護チーフ、ホームヘルプセンター長、生活相談員、管理栄養士
身体拘束廃止委員会 (西区合同委員会)	4回／年	幹部、介護職員、看護職員、生活相談員
在宅向上委員会 (西区合同委員会)	1回／月	デイサービス管理者、ホームヘルプ管理者、あんしんすこやかセンター管理者、居宅支援事業所管理者、ホームヘルプセンター長、生活相談員
介護部門会議	1回／月	介護リーダー、介護職員、生活相談員
入所検討委員会	1回／月	幹部、介護リーダー、看護チーフ、生活相談員
介護リーダー会議 (西区合同会議)	1回／月	介護チーフ、介護リーダー、施設ケアマネジャー
生活相談員会議 (西区合同会議)	10回／年	生活相談員リーダー、生活相談員
地蔵盆祭り実行委員会 (西区合同開催)	4回／年	実行委員会メンバー
接遇委員会 (西区合同開催)	1回／月	幹部、委員会担当者(介護、看護、生活相談員)

6. 施設行事

月	行 事
4 月	イベント食（花見御膳）、おやつデイ（桜餅）
5 月	イベント食（こどもの日献立）、おやつデイ（よもぎ饅頭）
6 月	ジャガイモ掘り
7 月	兵庫県知事選挙不在者投票、おやつデイ（七夕の和菓子）
8 月	地藏盆祭り
9 月	敬老祝賀会
10 月	花火、神戸市長選挙不在者投票、消防避難訓練、さつま芋掘り、おやつデイ
11 月	神出町文化祭、イベント食（寿司御膳）
12 月	門松制作、イベント食（クリスマス献立）、おやつデイ（クリスマスケーキ）
1 月	初詣、新年祝賀会、とんど焼き、シェイクアウト訓練
2 月	節分豆まき
3 月	テイクアウト弁当、消防避難訓練、イベント食（寿司バイキング）
随時	誕生会

【3】 神港園シルビアホーム

施設長 船江 孝志

1. 事業報告

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症との共存を重点課題とし、運営理念である「くつろぎと安心のある施設」に立ち返り、職員意識の向上と質の高い福祉サービスの提供を念頭に取り組みました。特別養護老人ホーム(以下特養)・ショートステイの安定した実績確保、デイサービスは高い水準での実績向上を目指し実践に向けて取り組みました。課題の取り組み成果としてサービス活動収益は、見込んでいた加算取得の実現が出来ないこともあり、当初予算 730.4(百万円)を下回る 720.2(百万円)となりました。サービス活動費用(本部配賦除く)は、職員の意識向上と努力、事務職員の工夫で、当初予算 666.6(百万円)を下回る 646.8(百万円)となりました。サービス活動増減差額(本部配賦除く)は、当初予算 63.8(百万円)を上回る 73.4(百万円)となり、安定した施設運営であったと考えています。

特養においては、毎日の暮らしと看取りケアの充実に努めました。新入居者 39 名(前年度 28 名)、退居者 39 名(前年度 29 名)、そのうち 25 名(前年度 20 名)の看取りケアを提供しました。前年と比べて出入りの激しい入退居数であり、看取りケアによる退居も増え、数字以上に慌しい一年となり定員に対する充足率は 98.2%でした。

ショートステイにおいては、感染症の流行時期に、1 名の感染症の持込みが判明しましたが、迅速且つ適切な感染症対策を実施し、影響を最小限(受入 1 週間停止)に抑え、新規ケース・緊急ケースにも迅速に対応しました。ショートステイでの入居待機者から特養へ入居する対応方針としたため、特養の新入居者 39 名のうち 21 名(53.8%)がショートステイ利用者であり、年間延べ利用者数は 7,928 人(1 日平均 21.7 人・対前年 144 人減)となり、定員に対する充足率は 108.6%と、稼働目標は未達成でした。感染症予防対策として、特養の空床利用が難しい状況となったため、専用床の定員を 20 名から 22 名に変更し、受入人数への影響を最小限にする取り組みを実施いたしました。

デイサービスにおいては、フレイル(加齢により心身が古い衰えた状態)対策と認知症予防の啓発に力を入れ、高い水準での稼働目標を掲げて取り組みました。新型コロナウイルス感染症予防対策を行いました。上期はサービスの利用控えが目立ち、稼働目標の実現に厳しい状況が続きました。しかし、下期は順調に新規と回数増が進み、年間の延べ利用者数は 9,645 人(1 日平均 30.9 人)、対前年 227 人増(102.4%)となり、稼働目標は未達成のもの、対前年は上回りました。感染症の影響を大きく受ける事業であるにも関わらず、罹患者を出すことも無く、営業を継続できたことが大きな成果となりました。

ケアプランセンターは、医療機関との連携強化等の成果から重度者の受入件数が多く、入院や施設入居など出入りの激しい年となり、給付管理数は 2,114 件(月平均 176 件・前年比 248 件増 113.2%)で前年の 1,866 件を上回りました。加算取得が難しいとされる特定事業所加算 I (要介護 3 以上の利用者が 40%以上)も取得を継続する事ができました。

あんしんすこやかセンターは、給付管理数 1,622 件(月平均 133.5 件・前年比 92.4%)で、前年の 1,755 件を 133 件下回りました。運営評価では、高い評価を受けあんしんすこやかセンター業務は充実していますが、介護予防支援の件数の大幅減に関しては大きな課題が残りました。

施設全体として、働くことへの意識向上を課題として位置付け、人事考課制度の充実と人事考課面接に重要性を持たせ、職員は個別の目標達成に重点を置いて、それを実現する事で仕事にやりがいを持ちえるように、職責者はそれをサポートする力と職員との関係構築を目指して取り組みました。本館建物の老朽化に関しては、期中に大規模改修実施の方向性が決まり、介護ロボットの導入や I C T を活用した、近代的介護環境の実現に向けた取り組みが法人本部から示され、利用者・職員にとって前向きな環境整備に向けた準備に入れるようになりました。

2. 新型コロナウイルス感染症対策

- ◆感染症対策委員会の決議内容は、委員会終了後直ちに職員全員に配信し周知徹底
- ◆職員の体調不良者は、業務に当たる前に受診を促し、感染症の持ち込みを未然に防止
- ◆クラスター発生時のシミュレーションと研修の実施と BCP マニュアルの実行と検証
- ◆発生時想定 of 初動対応と隔離対応の理解と実践（ゾーニングの作成、厚労省推奨の動画視聴）
- ◆飛沫感染防止の徹底対策（職員のマスクの徹底と可能な利用者のマスク着用）
- ◆換気 of 全館放送を、1 日 3 回実施／1 ケア 1 手袋の徹底
- ◆勤務中は施設支給した不織布マスクを使用し、勤務外と区別することを徹底
- ◆職員通用口に消毒液を設置、退社後も手洗いを遵守
- ◆個々が携帯消毒スプレーを常時携帯し除菌を徹底（自宅使用も可）
- ◆職員食堂のテーブル使用人数の制限と黙食の徹底
- ◆会議室使用後は、各自で携帯の消毒液で消毒を徹底
- ◆感染症委員会のチームによる定期的な感染症対策の巡視(チェック)
- ◆感染症予防対応マニュアルの改正および、感染症発生時の物品の見直し・管理
- ◆疑わしい事例に関して、必要に応じた職員への抗原検査の実施

新型コロナウイルス感染状況（令和 3 年度）

ご入居者・ご利用者の 陽性数（人）	営業中止および、新規受け入れ中止日数			陽性職員数 （人）	自宅待機日数 （日）※1
	デイサービス 営業閉鎖日数 （日）	ショートステイ 営業閉鎖日数 （日）	保育園 休園日数 （日）		
1	0	0	0	2	49

※1 濃厚接触や幹部からの指示等、職員が新型コロナウイルス関連の理由で職務を休んだ延べ日数

3. 経営報告

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	720,155	671,792	48,363
前年度決算	719,843	679,602	40,241
前年差	312	△7,810	8,122

情勢と取り組み

【事業別経営報告(千円)】

- ◆施設：収益 462,289 費用 432,029 増減差額 30,258
- ◆ショートステイ：収益 100,751 費用 92,531 増減差額 8,218
- ◆デイサービス：収益 84,601 費用 82,191 増減差額 △2,409
- ◆居宅：収益 40,831 費用 35,146 増減差額 5,684
- ◆地域包括：収益 31,683 費用 31,431 増減差額 252
- ◆外国人介護人材 4 名も順調に技能取得され、3 名は夜勤業務までこなす事ができています
- ◆人員配置に関しては、現状が厳しく精一杯で、将来を見据えた能動的人事に着手できていません
- ◆ノーリフティングケアの導入がなかなか進まず苦慮しており、環境も含め整備が必要です
- ◆修繕、設備投資に関して、大規模修繕を控え、急を要する箇所の応急的修繕に努めました
- ◆備品関係の消耗が進んでおり、年度を跨いでの改善を計画的に進めています

運営報告

◆苦情・要望

面会をはじめ、ボランティアの活用等も大きく制限がある中、入居者の生活に対するストレスが表面化してくるようになり、出来ることに対応するように努力いたしました。

◆事故・虐待防止

高齢者虐待について知識をしっかりと身につけ、虐待の定義と実際の介護の状況を照らし合わせ業務を進められる取り組みとして「適切なケアの実施は不適切なケアの存在を消す」「グレーゾーンと言われるものは黒」をテーマに、制度の再確認とケアの振り返りを中心とした研修を実施しました。

【情勢】

- ◆感染症対応期間が長くなり、施設の現状が外部との接触が少ないことで、施設の現状が見えづらくなっています。利用者のストレスへの対応や感染予防対策の強化で、職員のストレスも高くなってきています。

【対策】

◆令和 3 年度につきましては、新しい職員が増えていく中で、全職員が基本に立ち返り、高齢者虐待防止法に関する制度説明から、高齢者施設に勤務する職員としての義務と責任の行使に関してといった研修を実施しました。また、研修の中で自身が提供してきたサービスや同僚との関りを振り返るといった事を行い、適切なケアの実施に向けて取り組みました。

◆利用者のストレスへの対応、感染予防対策の強化に対応している職員のストレスを軽減する為に、業務時間内の午前・午後に 10 分程度、その場面から離れて気持ちを切り替える「リフレッシュタイム」を施設独自に作り実践しています。

4. 部門報告

4-1.神港園シルビアホーム

4-1-1.全体

適切なケアを丁寧に実践することを重点課題として取り組み、ご利用者・ご家族・職員が安心できる環境と実践できるための学びの場として、研修・委員会活動の充実に努めました。

4-1-2.介護部門

個別のニーズに寄り添ったケアの充実とフロアケアの安定と充実を図ることを目標に取り組み、フロア一体化（2 階は一部一体化）が浸透し、コロナ禍による突発的な職員体制の変動においても大きな混乱がなく、入居者の生活水準を下げることなく比較的スムーズに対応することが出来ました。入居者の重度化が進む中で、その方にあった移乗方法や食事形態の変更、ポジショニング等、負担軽減と安心感の持てるケアに取り組みました。

4-1-3.看護部門

毎日の健康管理や他職種との連携を深め、医療的機能の役割の実践を通して、部署内及び他職種との情報共有を図り、入居者の健康管理・受診判断・看取りケアの充実に務めました。利用者・職員の健康管理と感染症予防対策にも力を入れ、感染症発生時の施設 B C P と感染症対策委員会が機能するように努めました。

4-1-4.栄養部門

美味しい食事・適切な栄養の提供に努め、入居者の心身の健康増進を図るため、行事食では例年と異なる献立を提供し、見た目・味ともに楽しんでいただけるように工夫しました。厨房と連携し、集団給食の中でも可能な限り個々に適した栄養提供ができるように努めました。

4-1-5.施設ケアマネジャー

その人にとって望ましい暮らしや利用者の意向に寄り沿い「できる事」を発見し、持てる力が発揮できるよう取り組みました。また、できなくなったことが増えている入居者、意思表示が難しくなっている入居者の自立支援を探り実践できるように個別計画の支援の重視に努めました。

4-1-6.生活相談員

待機者確保の厳しい状況が続きましたが、協力医療機関・近隣老人保健施設など関係機関へのアプローチを図り、待機者の確保に努めました。例年にない看取りケアの多さとそれに伴う退居、体調不良の入院が重なりました。コロナ禍において思うように面接等の準備が進められませんでした。また全室が多床室であるため、静養室隔離を前提の入居を進めるための調整・対応に苦慮しました。

4-1-7.事務部門

養護老人ホーム・ホームヘルプ・診療所全ての事務職員が集まる拠点事務部門会議を毎月開催し、事務作業における拠点のスタンダード化を目指して取り組み、業務効率をあげることが出来ました。施設内の経費見直しでは、消耗備品を一か月分纏めて月末に部署配布し、管理と節減に取り組み、事業支出部分において大きな成果を出せました。

◆達成稼働率 99%→98.3%

4-2.神港園シルビアショートステイ

4-2-1.介護部門

家庭的で個人の能力に応じた役割を発揮できる生活実現を目指し、居宅サービス計画書に即した個別計画書を作成し、継続して在宅生活を送れるような個別ケアの実施を行いました。またコロナ禍の中でも楽しみのある生活の実現に向けて、感染症対策を行いながら行事・レクリエーションの企画を行い実行しました。

4-2-2.看護部門

他職種との連携強化のもと、体調変化時の早期医療的介入を進めました。利用中に体調変化が見られるケースが多く、医療的な状態観察を強化する中で、受診や救急搬送など状態に応じた判断により状態の悪化を未然に防ぐことができ、体調改善後の再利用に繋げることができました。

4-2-3.生活相談員

新規利用者の獲得で利用者の実人数を増やし安定した事業運営を継続することを念頭に取り組み、前年度に比べ新規利用者の獲得を増やすことができましたが、入院者や利用終了者も多かった為、実人数の増加までは至りませんでした。また安定した事業運営については、感染症の状況に左右された結果、月々の稼働と収益に差異が出ました。

◆稼働達成率 109.0%→108.6%

4-3.神港園シルビアデイサービス

4-3-1.全体

書類の提出期日や部門内ルール等のコンプライアンス徹底について、改めて各職員に意識付けを行いました。勤務時間内での時間の確保が難しく、職員それぞれに書類提出の遅れが見られたため、業務スケジュールの見直しによる書類作成時間の調整等、具体的な対策について更なる検討が必要となりました。部署内研修の実施については、毎月の担当制により確実に実施できるようになりました。

職員の資質向上と連携強化に向けて、個々の経験や知識に応じた課題設定を行い、課題が達成できるように全職員が協力するといった取り組みを行いました。それらにより、職員間の良好な関係性と、明るい雰囲気職場作りへと繋がり、新規利用者のリピート率にも向上が見られました。

4-3-2.介護部門

デイサービス専任看護師を1名配置出来たことにより、医療体制の安定化を図ることができました。

しかし、専任看護師の業務内容が確立されていないこと、専任看護師の不在時の医務室看護師との連携等において、課題が残っています。

4-3-3.看護部門

家族・主治医、担当ケアマネジャーとの連携がしっかりとれたことにより、ご利用者の認知症の症状に合わせた日常生活の支援を検討する機会が増え、日々の生活状況の聞き取りの幅も広がり、在宅生活が継続できる支援へと繋げることが出来ました。

◆稼働達成率 81.2%→77.3%

4-4.神港園シルビアケアプランセンター

◆事業所内研修の充実を図りました。施設長を講師として招き、個別のスキルを上げることで利用者満足度の向上を目標に、基本を学び直しました。事業所に何が必要な情報なのかを考え、個別には何が苦手なのかを認識することで、個々のケアマネジメントのスキル向上に繋がりました。

◆特定事業所Ⅰの基本を再確認し、個々の認識、理解を深め、ご利用者の在宅生活の維持に寄り添った支援を行いました。

◆地域包括ケアシステムでのケアマネジャーの職務を高次元で、かつ継続的に発揮・強化するために、地域性を理解した利用者支援・他事業所との連携強化・法人外研修などにも参加をしました。

◆法人内在宅サービス部門のサービスに繋げることで、多職種との連携をより深め、ケアマネジメントのスキル向上に努めることができました。

◆利用者月平均数 155人→164人

4-5.神出あんしんすこやかセンター

◆地域課題の検証を行うため地域ケア会議や事例検証、虐待・困難事例検証を概ね月1回程度実施し課題を抽出することはできていますが、積み上げるところにまでには至っておりません。来年度も継続して行います。

◆地域包括ケアシステムの核となり、地域ネットワークの充実を目指すために、地域ケア会議は実施できているものの新型コロナウイルス感染症拡大のため、協議体機能を持つ地域ケア会議を中止せざるを得ない状況となりました。地域との連携は従前に比べ確実に進歩しており、自治会長会や新たな地域団体が集まる会議や地域住民が主体となった地域マップ作成の一翼を担う事ができました。

◆地域診断を活かし、介護予防の集いができていない地域に積極的にアプローチし、つどいの場を設けることが出来ました。

◆コロナ禍でなかなか復活することができなかった事業の支援や新たなつどいの場を立ち上げるための後方支援も行ない連携強化を進めました。

4-6.その他

◆介護記録に関して iPad を使用してのタイムリーな記録の入力が浸透し、ペーパーレス化に繋がりましたが、その他多くの記録物に関しては、ペーパー保存のものが多く、継続してペーパーレスに取り組みます。

◆外国人技能実習生受入に関しては、4 名中 3 名が夜勤業務をこなせるようになっていきます。来期は 2 名の受け入れが決まっています。受入をスムーズに行なえるように、対応する職員が学びを深めています。

◆「ノーリフティングケアの理解と運用に向けたプロジェクト」を立ち上げ、「抱え上げない介護」を念頭に置き、ノーリフティングケアの理解を深めつつあります。次年度は、用品を活用しながら、入居者の状態に合わせ、負担のかからない移乗介助を少しずつ実践するように致します。

◆感染症予防対策委員会を立ち上げ、タイムリーに情報管理と発信を行ない、意識の向上に努めました。防災に関しても、福祉避難所としての訓練や防災マニュアル策定を検討し、次年度はマニュアルを完成させることを課題とし継続していきます。

◆施設内のマニュアル・研修資料の改訂と一元管理に関しては、それぞれの取り組みを次年度以降も継続して実施していきます。

◆法定研修ならびに資質向上に向けた研修に関しては、従来、施設開催としていましたが、今年度は各委員会が主導で計画し、研修の開催を委員会ごとに実施することができました。

5. 施設委員会・プロジェクト

名称	開催頻度	主な参加者
入所検討委員会	月 1 回	幹部、生活相談員、介護チーフ・施設ケアマネ、看護リーダー
事業運営会議	月 1 回	幹部、生活相談員、介護チーフ・看護リーダー、居宅センター長、経理担当職員
リーダー会議	月 1 回	幹部、生活相談員、介護チーフ/リーダー・看護リーダー、包括センター長、施設ケアマネ、管理栄養士
介護リーダー会議	月 1 回	介護チーフ、施設ケアマネ、介護リーダー
シルビア通信会議	月 1 回	通信会議メンバー
安全衛生推進委員会	月 1 回	幹部、産業医、衛生管理者、看護リーダー、巡視フロアリーダー
事故防止委員会	月 1 回	幹部、委員会担当者（介護・看護）
感染症防止対策委員会	3ヵ月毎	幹部、委員会担当者（介護・看護）

身体拘束廃止委員会	3ヵ月毎	幹部、委員会担当者（介護・看護）
排泄委員会	2ヵ月毎	幹部、委員会担当者（介護・看護）
褥瘡予防委員会	毎月	幹部、委員会担当者（介護・看護）
接遇委員会	毎月	幹部、委員会担当者（介護・看護・管理栄養士）
在宅向上委員会	毎月	幹部、サービス部門（生活相談員・職責者）
喀痰吸引等関係者会議	2ヵ月毎	幹部、生活相談員、介護チーフ・看護リーダー
IT 委員会	毎月	幹部、委員会担当者
部門別職場会議	毎月	各フロア職員
ノーリフトケアプロジェクト	2ヵ月毎	幹部、プロジェクトメンバー
防災委員会	3ヵ月毎	幹部、生活相談員、介護チーフ・看護リーダー、包括センター長
拠点版新型コロナウイルス感染症対策会議	毎月	幹部、生活相談員、介護チーフ・看護リーダー
マニュアル検討委員会	3ヵ月毎	検討中
地蔵盆開催実行委員会	8月迄毎月	実行委員会メンバー

6. 施設行事

月	行 事
4月	お花見（中止）→お花見週間を設け園内にある桜を鑑賞・散策に出かける
5月	菖蒲湯週間
6月	
7月	神出学園夏祭り→中止
8月	地蔵盆祭り→西区拠点内で実施する。
9月	敬老祝賀会開催・夕涼み会への外出は中止となる
10月	運動会→各ユニットごとで開催する・選択スイーツ
11月	神出町文化祭（作品の出展のみ行う）・神出学園文化祭→中止
12月	クリスマス会・もちつき大会開催
1月	新年祝賀会各ユニットにて開催 食事会→中止
2月	節分豆まき・選択スイーツ
3月	握り寿司バイキング
随時	

【4】 神港園しあわせの家

施設長 高谷 明
施設長代行 明田 圭介

1. 事業報告

新型コロナウイルス感染症等に対する予防対策の徹底に努めてきましたが、今年に入ってから第6波に飲み込まれ、特養・ショートステイ・デイサービスというしあわせの家のサービス事業全てで陽性者が出る事になりました。

在宅サービスについては、全てのサービス提供事業で約1週間の休業となりました。災害も含めた非常時における事業継続を実現するべく、BCP計画を作成していますが、計画通りに実行できた事ばかりではなく、修正すべき課題が浮き彫りになりました。振り返りによる計画への反映が必要です。ご入居者、ご利用者ならびにご家族への安心の提供については、季節行事等は制限されましたが、情勢変化にあわせた適切且つ柔軟な面会機会の確保や生活状況等の情報発信は、工夫をしながら実行することができました。職員への安心の提供もテーマであり、「各種情報のタイムリーな発信」「各状況にあわせたシミュレーションの実施」「感染防護用品の充実」等に取り組みましたが、実際の場面に直面すると多くの課題があると感じる事となりました。

今後も業務効率化（会議方式の多様化、IT化）や精神的、身体的負担の軽減（ワーク・ライフ・バランスの確保、ノーリフト推進による腰痛予防）、職員支援内容（休業補償、安全確保等）の明確化等を含め取り組みを強化していく必要があります。

2. 新型コロナウイルス感染症対策

2-1.施設内の各種制限

◆会議、研修等

複数職員が集まる施設内会議・各種委員会については、情勢に応じてオンライン、メールを活用した開催としました。但し、幹部判断にて開催を認めるものについては人数ならびに時間に制限を設け、それを厳守しながら開催しました。

◆ご家族面会ならびにボランティア来訪

面会については、長期化による不安軽減施策（お便り・ビデオ面会）の継続と情勢に応じて玄関部分、ベランダ等を使用した非接触の面会といたしました。看取り期の面会については、別途ルールに基づきこれを可能としました。ボランティアの来園については中止を継続することとしました。

◆介護サービス提供

新規利用・体験利用・見学については、情勢に応じて当拠点基準に照らしながら受入れを行いました。

◆訪問理美容、訪問診療

予防対策（業者マニュアル&拠点チェック）の徹底ならびに場所、動線の限定を前提に実施しました。

2-2.職員対応

- ◆出勤時検温、常時のマスク着用、1 ケア 1 消毒の徹底（消毒ボトルの携行）
- ◆定期消毒ならびに定期的換気
- ◆分散勤務体制の整備、テレワーク・時差出勤の実施
- ◆昼食ならびに休憩時の分散、黙食の徹底

2-3.対応訓練

- ◆感染者発生時の対応シミュレーションならびに物品使用訓練の実施

2-4.介護環境・物品確保

- ◆ノーリフティング推進（介護時の密着機会の軽減）
- ◆各種マスク、消毒関連、感染対応備品（防護服・フェイスシールド等）の用意、パーテーションの設置
- ◆通信関連機器の整備（テレワーク対応および、オンライン会議等のための環境整備）

※上記の各種対策に努めましたが、ショートステイでの感染事例がクラスター感染に発展した一因には、やはり職員の気の緩みがどこかで対策の徹底を妨げた、との反省があります。今年度は初の感染ご利用者対応を通じて、水平感染の怖さと、水平感染を防ぐ術の両方を経験しました。次年度の再徹底に繋げていきます。

新型コロナウイルス感染状況（令和 3 年度）

ご入居者・ご利用者の 陽性数（人）	営業中止および、新規受け入れ中止日数			陽性職員数 （人）	自宅待機日数 （日）※1
	デイサービス 営業閉鎖日数 （日）	ショートステイ 営業閉鎖日数 （日）	保育園 休園日数 （日）		
20	5	34	0	9	244

※1 濃厚接触や幹部からの指示等、職員が新型コロナウイルス関連の理由で職務を休んだ延べ日数

3. 経営報告

（千円）

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	892,084	822,195	69,889
前年度決算	908,969	825,709	83,260
前年差	△16,885	△3,514	△13,371

情勢と取り組み

【収入に関して】

特別養護老人ホームに関しては、ショートステイとの連携を密に空床期間の軽減に努めましたが、年間23名の退所者（内看取り15名）という状況もあり、コロナ禍の中、慎重さを期すため、入居調整に時間を要し、稼働目標は未達となりました。

在宅部門については、外部関係機関（ケアマネジャー・医療機関・老健等々）との連携を強化し、安心・安全を前提に稼働安定に努めましたが、最終四半期に居宅サービス事業において新型コロナウイルス感染症により、休止を余儀なくされる状況となった結果、収入予算未達成となりました。

【費用に関して】

予期せぬ設備修繕（排水管不良・漏水等）へのコストが増大しました。計画修繕に関しては、優先順位を判断しながら実行していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響にて実施ができない内容も多々あり、次年度への繰り越しが発生しています。

水道光熱費の削減に向けた設備（節水ツール）を試行していますが、今年の気候影響もあり、今しばらくのデータ収集が必要です。

人件費に関しては、非常時を見据えた人員確保も念頭に置きながら、効率的な配置を目指しますが、適正な配置には至っておりません。

【その他】

今年度は更なるノーリフティング推進を目指し、機器の導入（充実）、物品の充実ならびに入浴設備の改修を行いました。また、職員のスキルアップを目標にセラピスト中心に知識・技術の伝達を行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響にて自宅待機を強いられる職員が多発する中、職員の負担軽減につながる重要な取り組みとして更なる推進に努めます。

運営報告

◆苦情・要望

特養ご入居者家族より、職員の忙しさを理由に夜の更衣が実施されていないと苦情の申し出がありました。事実としては、ご入居者の心身状況の変化により、夜間の更衣が負担になっていたことが更衣介助の中止の理由でした。ご入居者の現状と更衣の中止の理由をご家族に来園して頂き、直接お伝えしたことで理解を得られました。コロナ禍の面会休止などでご入居者の状態をお伝えする機会が制限され、ご入居者の心身状況や施設内での生活状況が不透明となり、家族の不安感に繋がったことがあると考えられます。引き続き、窓越しの面会やWEBによる面会等の機会を活用し、職員から近況の報告を伝達できるように努めます。

◆事故・虐待防止

【情勢】

令和3年度も特養・ショートステイにおいて、骨折等の重大事故が発生しました。幸いにも入院・手術後に退院され施設に戻っていますが、ご高齢でもありリハビリが困難な為、日常生活動作レベルの低下は否めない状態です。

主な事故要因は、居室ベッドやフロア内椅子からの立ち上り時、居室内トイレ・フロアでの起居・歩行動作時の転倒などが時間常問わず多数を占めている為、職員による見守りも限界があり安全対策の課題解決に苦慮している状況ですが、人員の加配による見守り体制の強化を主軸に対策を検討していきます。

【対策】

虐待防止対策の取組みとして、令和3年度の高齢者虐待防止・身体拘束廃止の研修において全員が高齢者虐待防止法や身体拘束禁止の法令等の基礎を学ぶと共に、虐待等が発生する要因などについて理解する機会としました。

虐待に繋がる不適切ケアの蓄積や進行・拡大など、虐待の芽を早期に摘み取る為に行政が推奨する不適切ケアの事例動画を視聴し、該当事例をとおして具体的事案を確認する機会としました。

また、前年から引続き、職員が高齢者の心身状況を体験し、介護を受ける側の立場を体感できる被介護者体験方式で研修を実施しました。実際に介護を体験して受ける側の気持ちが理解できたことで、改めて相手の立場に立ったケアの重要性を認識することが出来ました。

最後に接遇・マナー向上を目的に相手に与える印象の重要性に着目し、印象を悪くする仕草や話し方等、接遇の事例を紹介し自分が同じ対応をされてどう感じるか問いかけ、意見交換を行いました。

これらを日常的に意識することに加え、ホスピタリティー（誠意と好意）の概念を取り入れることで相手の立場を理解する思いやりの心を育み、持続させることが期待できます。次年度も介護・相談援助技術やマナー・コミュニケーション能力の向上と、ホスピタリティーなどの概念を身に付け、高齢者福祉に携わる専門職としての資質向上を目指した職員育成に取り組んでいきます。

事故対策としては、食事時の誤嚥や骨折などの重大事故が発生した際に事故防止対策会議で介護職と関係職種が協働・連携して再発防止に取り組んでいます。次年度は介護職員のスキル向上と業務改善に加え、人員加配による見守り体制の強化・移乗介助支援機器（床走行リフト等）の導入・見守りシステムのハード面改善の検討などを主軸に、事故防止に取り組んで参ります。

4. 部門報告

4-1.神港園しあわせの家

◆稼働に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響で新規入居の受入れに時間を要する状況が有りました。又、今年度は施設内での陽性者への対応も経験する事となり、シミュレーションでは見えなかった課題に直面する事となりました。

◆ノーマットの推進に関しては、各種リフトや物品（リフト・グローブ・シート等）の充実を含めて、方針ならびに方法理解を深めることが出来ました。

◆外国人介護人材（技能実習生）に関しては、本部（人事）と協働にて職場のみならず生活環境の充実に努めましたが、体調管理に関して課題が見られました。（腰痛予防対策等）

4-2.神港園しあわせの家ショートステイ

◆第四半期に新型コロナウイルス感染症の発生にて、一時的にサービス提供を休止することとなりましたが、併設の特別養護老人ホームならびに在宅間連携（情報共有）の強化を図ることで、安定的な稼働を確保することができました。

4-3.神港園しあわせの家デイサービスセンター

◆認知症ケアのスキルアップに関して、今年度も外部研修の受講は難しい状況でした。在宅向上委員会等拠点内の機会を利用して事例検討に努めましたが、次年度への継続目標となりました。また、個別性に合わせた機能訓練と体調変化の早期発見を実現する為、看護職員・セラピストを中心に職種間の連携強化に努めました。

4-4.神港園西鈴蘭台デイサービスほっと

◆最終四半期に新型コロナウイルス感染症の発生にて、一時的にサービス提供を休止することになりましたが、営業開始後も利用再開に慎重なご利用者が多く、稼働目標が達成できませんでした。また、新型コロナウイルス感染症の影響で外出機会を失うことになった多くのご利用者に対して、安全安心のレクリエーション（楽しみ）の提供を継続しました。

4-5.神港園しあわせの家ホームヘルプセンター

◆感染防護に努めながらの事業継続であり、登録ヘルパーの高齢化も影響し、顕著にマンパワーが減少した年度でした。年度後半に採用に繋がる動きが見られましたが、稼働目標は達成できませんでした。

◆ちょうじゅ等の更なる活用により、登録ヘルパーのスケジュール管理や連絡の手段の効率化に努めました。

4-6.神港園西鈴蘭台ケアプランセンター

◆テレワークの活用等による情勢にあわせた柔軟な勤務体制の構築に努めました。行政のケアプランチェックに於いて、報酬返還を要する運営基準違反事案が発生しましたが、再発を防止するための具体策を検討し、給付管理の品質向上に努めました。

4-7.五葉あんしんすこやかセンター

◆今年度も地域ケア会議や地域行事等については、ほぼ中止とせざるを得ない状況でしたが、ICTを活用しながら地域関係機関との情報共有に努めました。

◆新型コロナウイルス感染症の影響が考えられる虐待案件の増加傾向に対して、行政とも連携しながら適切な対応に努めました。

4-8.その他

◆新型コロナウイルス感染症の予防対策として、生活環境・職場環境の徹底整備に努めました。地域事業とのコラボレーションについては、新型コロナウイルス感染症の影響にて検討がストップしている状況です。

拠点全体の腰痛予防対策を推進するべく「過ごしやすく、働きやすい施設に、自分たちで変えていく」という目標を立て、積極的に取り組みました。

5. 施設委員会・プロジェクト

名称	開催頻度	主な参加者
在宅支援向上委員会	月 1 回	幹部職員・在宅事業職員
生活安全委員会	月 1 回	幹部職員・看護職員・介護職員・生活相談員
安全衛生委員会	月 1 回	産業医・衛生管理者・担当者
腰痛予防対策推進委員会	月 1 回	幹部職員・介護職員・生活相談員・作業療法士
感染症対策委員会	年 4 回	幹部職員・看護職員・介護職員・生活相談員

6. 施設行事

月	行 事
4 月	花見 ⇒ 規模縮小にて実施（敷地内）
5 月	施設・お散歩会（家族会行事として）⇒ 中止
6 月	施設・勉強会・分科会（家族会行事として）⇒ 中止
7 月	しあわせの村夏まつり ⇒ 中止 施設・在宅：夏祭り ⇒ 規模縮小にて実施
8 月	西鈴蘭台夏祭り（在宅向上委員会として参加）⇒ 中止
9 月	敬老祝賀会 ⇒ 規模縮小にて実施
10 月	しあわせの村バザー（家族会行事として）⇒ 中止
11 月	施設・食事会（特養家族会）⇒ 中止
12 月	クリスマス会 ⇒ 規模縮小にて実施
1 月	施設・新年祝賀会 ⇒ 規模縮小にて実施
2 月	
3 月	施設・家族会総会 ⇒ 中止
随時	施設・家族会陽だまり会・家族会喫茶 ⇒ 中止

《運営理念》 みんなに感謝してみんなが笑顔で過ごしましょう

【5】 神港園サニーライフ白川

施設長 黒田 敦士

1. 事業報告

1-1.感染症予防、感染症拡大防止対策について

5月に特別養護老人ホームの新規ご入居者が新型コロナウイルス感染症の陽性者と判明しましたが、ご本人の治癒を目標に医務室中心で取り組み、最悪の状態は免れ通常の状態まで戻すことができました。さらに施設内での蔓延防止に努めた結果、それ以上の拡大も防ぐことができ、陽性者1名、濃厚接触者2名に留めることができました。他にホームヘルプのご利用者のうち2名の陽性者が確認されましたが、感染の拡大はなく通常の生活に戻られています。

1-2.働きやすい職場環境の充実について

各部署における職員間の問題に関する情報を随時収集し、特に職員のメンタル面でのサポートについては人事部の協力を得ながら対処してきました。職員の身体的負担の軽減を目的とする介護ロボットの追加導入については予定通り下期に実施し、理学療法士による指導を継続して進めてきました。次年度もさらなる職員の負担軽減を目指します。

1-3.改修工事について

建物外壁の大規模改修工事が6月から始まり11月末に計画通り終了しました。その他、6月に1～2階LED照明取替工事、7月に防災アンプ更新工事、10月に館内床面シート張替工事と高圧機器更新工事、2月に2階特殊浴槽更新工事と1～2階換気扇更新工事、3月に2階居室床面シート張替工事を実施し、住環境、職場環境の改善を実現しました。負担額は計41,636千円となりました。

1-4.要援護者支援センターについて

計画通り物資の補充と基幹福祉避難所開設訓練を実施しました。

1-5.稼働について

特別養護老人ホームは目標を達成しましたが、新規ご入居者の受入に伴う負担については、併設のショートステイとともに協力体制のもと実現しました。

ショートステイは、5月に特別養護老人ホームの新規ご入居者が新型コロナウイルス感染症の陽性と判明したために一時的に新規ご利用者の受入を中止しました。そのため、その後の稼働に影響を及ぼすこととなりました。また、事業所の窓口である生活相談員が7月と12月に交代して体制が不安定であったことも稼働に影響しました。

デイサービスに関しても、5月にショートステイと同じ理由で営業を一時中止しましたが、ご高齢者には自らの外出を自粛する考えの方が多くおられ利用の回復に時間がかかり、その後も稼働に影響を及ぼすこととなりました。10月に半日希望のご利用者の受入れを開始してからは、4ヶ月間ほど回復の兆しを見せましたが、2月のまん延防止等重点措置の再開で再度落ち込むこととなりました。

ホームヘルプは拠点内で最も安定していましたが、11月からはサービス提供責任者が不足している状況が続いています。登録ヘルパーでは入りにくい時間帯での活動をサービス提供責任者が担っていることもあり、人員の補充が必要な状況です。

ケアプランセンターは課題となっていた欠員補充が上期になされましたが、入退職等が続き人員が安定したのが下期に入ってからとなりました。年度初めに目指していた増員にいたっては1月に入ってからとなり、結果前年度の実績には届かずじまいとなりました。

あんしんすこやかセンターは、職責者を含む3名の異動により新体制の構築に時間を要したこと、また大きく体調を崩す職員がいたことも重なり、予防プラン担当者を増員したにもかかわらず予防プラン件数の前年度比が微減となりました。人件費、若草ルームの廃止に伴う収入減、人員補充のための紹介料などで大幅に収支が悪化しました。

2. 新型コロナウイルス感染症対策

基本的な感染症対策に加えて、5月にあった保健所からの指導により、ご利用者ご入居者用のテーブルに設置している飛沫防止用のアクリル板を、正面だけではなく側面にも設置することでより対策を強化しました。また、陽性者のケアを実施するにあたっての保健所の指導により得られた知識や経験は、それ以降の感染症対策への糧となりました。

第四四半期に職員の同居家族や職員自身が陽性者となるケースが散見されましたが、施設への影響はほとんどありませんでした。むしろ職員の子どもの学級閉鎖などで職員が自宅待機を余儀なくされ、各部署のシフトに影響が出るケースの方が多く見受けられました。この時期だけで感染症対策を理由としたデイサービスの新規利用や見学のキャンセルが4件、ショートステイの利用のキャンセルが延べ185ベッドとなりました。

新型コロナウイルス感染状況（令和3年度）

ご入居者・ご利用者の 陽性数（人）	営業中止および、新規受け入れ中止日数			陽性職員数 （人）	自宅待機日数 （日）※1
	デイサービス 営業閉鎖日数 （日）	ショートステイ 営業閉鎖日数 （日）	保育園 休園日数 （日）		
3	7	0	0	6	197

※1 濃厚接触や幹部からの指示等、職員が新型コロナウイルス関連の理由で職務を休んだ延べ日数

3. 経営報告

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	586,884	621,119	△34,235
前年度決算	591,334	582,861	8,473
前年差	△4,450	38,258	△42,708

情勢と取り組み

◆全体

建物外壁の大規模改修工事を含む工事に 40,000 千円以上を要したことが今年度の収支に大きく影響しました。改修工事の費用が按分された事業別のサービス活動増減差額は、特別養護老人ホーム △19,957 千円、ショートステイ △7,026 千円、デイサービス △7,726 千円、ホームヘルプ 3,866 千円、ケアプランセンター 3,948 千円、あんしんすこやかセンター △7,340 千円の結果となっています。

ショートステイについては、生活相談員がたびたび交代して不安定になる中で、介護現場に状況を説明したうえで、受容力向上を求めました。

デイサービスについては、下期に半日利用の受入れを開始して順調に利用者数を伸ばしていましたが、2 月に再度の感染症対策の影響を受けてからは利用者数が減少しました。

◆人員配置

前年度比が正職員 5 名増、嘱託職員及び契約職員が計 5 名減。正職員比率は 59.3%から 65.6%に増。人件費率が 72.3%となっているため、適正配置の必要性があることを職責に周知しており、実施していきます。

◆設備投資・修繕等

介護ベッドを 10 台更新。大規模改修としては、建物外壁改修工事が 6 月から始まり 11 月に終了しました。他に、LED 照明取替、防災アンプ更新、館内床面シート張替、高圧機器更新、特殊浴槽更新、換気扇更新の各工事を実施しました。

運営報告

◆苦情・要望

特別養護老人ホームご入居者に関係した低温火傷事故について

前年度 3 月の骨折事故後に続けて 8 月に低温火傷の事故を起こしたことによる苦情が発生しました。骨折事故に関するご家族のご理解とご納得が得られていない状況での度重なる事故であったため、ご家族の不信感を増幅させることとなり、ご理解を得るまでに時間が掛かりましたが、報告や話し合いを経て、10 月に解決に至りました。

ショートステイご利用者に関係した転倒骨折事故について

前年度 3 月の骨折事故後に入院先で逝去されましたが、骨折後の対応が不誠実であったためご家族からの苦情となり、何度も面談や話し合いを重ねて、示談成立に大変期間を要してしまいました。

【改善策】

まずは日頃から苦情につながらないケアや対応を行いご本人ご家族との信頼関係構築に努め、苦情が発生した場合には、できるだけ早く真摯に問題解決に取り組むよう、事業者として襟を正して努めて参ります。

◆事故・虐待防止

特別養護老人ホーム及び併設のショートステイで合わせて骨折事故が 3 件、低温火傷が 1 件、新型コロナウイルス感染症が 1 件ありました。骨折については前年度の 8 件から半数以下になったとはいえ、今後もゼロを目指して事故防止委員会等を活用しながら対策に努めて参ります。事故現場がカメラで捉えることのできる位置の場合は映像をもとに検証することで、事故の再発防止に役立てています。

4. 部門報告

4-1.神港園サニーライフ白川

◆技術・知識・接遇の向上の為の研修については、I C Tを活用した外部研修へ参加し、施設内においては、認知症や看取りケア、リスクマネジメントなど多種多様なテーマに基づき研修の機会をもちました。

◆腰痛予防対策委員会を毎月開催し、理学療法士や各フロアの腰痛予防対策委員を中心にノーリフトテイングケアを進めていき、床走行リフトやスタンディングリフトの使用が定着したことで、昨年度より各フロアでの職員の腰痛減少に繋げることができました。日常の介護士のケア、看護師の処置等の動作についても、腰痛予防に留意しました。

◆利用者の状態に則した福祉用具利用の適正管理を図るために、計画に基づいて低床ベッドやセンサーマット、各種車椅子等を導入しました。購入先の見直しを図り、例年よりも安価に物品購入し大幅なコストダウンを図りました。

◆近隣に特養施設が新設、増設したことや、コロナ禍で在宅希望の家族が増加していることなどの影響を受け、申込者数が 64 名まで減少しました（前年度 81 名）。安定的な待機者の確保や空床管理に苦慮しましたが、目標稼働率を達成することができました。

（年間延べ利用者数 17,955 人／前年度 17,911 人、稼働率 98.6％／前年度 98.1％）

◆感染状況に応じた面会方法の変更などを柔軟かつ迅速に行うよう努めました。また、機関紙や電話連絡以外に希望者には、LINE やメール等のツールで互いに気軽に連絡を取ることができるよう多様な選択肢により、情報発信の機会を増やしました。

4-2.神港園ショートステイ白川

◆親切的な接遇を心掛けるため、スマイリング委員会を中心に接遇に関する目標を職員の目につく所に掲示し、常におもてなしの心を持ってご利用者に接するよう取り組みました。

◆ご利用者個々のニーズを把握し、感染症対策を講じながら多種多様なレクリエーションを行い、日常生活の充実を図りました。

◆5月に併設の特別養護老人ホームで新型コロナウイルス感染症陽性者が確認され、感染症拡大防止対策のため稼働を最低限に抑えたことで稼働率は大きく低下しました。それ以外にも、発熱を理由に利用を控えていただいたキャンセルが多くあり、稼働に影響が出ました。そのような状況のなかでも、新規利用者を月平均4名受入れ、主介護者の入院等の緊急ケースも受け入れし、稼働の安定化に努めました。

4-3.神港園デイサービス白川

◆丁寧な介護と誠意ある対人援助を目指し、職員一人ひとりのサービスの質向上を図るために、理学療法士からより安全で安楽な移動介助や移乗介助のレクチャーを受け実践しました。

接遇面の強化としてスローガンを掲示して、職員同士でも声を掛け合うことで、一人ひとりが言葉遣いに気を付けながら、ご利用者に寄り添ったケアに取り組みました。

◆アクリル板の設置や手洗い・うがい・消毒の徹底等の感染症対策を実施しました。また、多職種に医療情報の共有と体調不良時などに迅速かつ適正な対応力の強化を図るために、看護師を中心に医療情報を共有し、異変を認めた時は早期の受診対応につなげました。

◆個別機能訓練の充実による筋力維持とご利用者の満足度の向上を図るために、理学療法士の勤務を週5日に調整し、新たにウォーターベッドを導入し、運動が苦手なご利用者にも喜んで頂けました。個別機能訓練加算、運動器機能向上加算の取得は95%達成しました。

◆ご利用者アンケートでは、例年通り全体的に高い評価を得ることができました。

◆新型コロナウイルス感染症の影響による稼働率の低下が下期に入って回復傾向に見えましたが、冬場に感染症の再拡大の傾向が強くなったため、予防に力を入れ新規利用や見学を中止したことで、再び稼働率の伸び悩みにつながりました。

4-4.神港園ホームヘルプ白川

◆新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、新規利用に対応できる体制を維持した事で令和2年度より30%増の新規利用者に対応できました。

◆「KOBЕ みまもりヘルパー」は神戸市の新事業であることから認知度が低く、依頼件数は少ない状態でした。今後は在宅生活継続の支援として提案ができるようになることを目指します。

◆LINEWORKSを活用する事で法人内だけでなく、他事業所や家族様とも情報共有や交換を行うことができ、適切な支援に結び付ける事ができました。

4-5.神港園白川ケアプランセンター

- ◆他法人や他事業所の新型コロナウイルス感染症に関する情報を拠点内に発信し情報共有することで、対応を検討し安全対策を重点的に実施することができました。
- ◆外部研修に可能な限り参加して、当事業所で復講研修を実施して質の向上に努めました。前年度は中止となっていた特定事業所との合同事例検討も行いました。
- ◆LINEWORKS を活用することで、複数の他事業所と同時に情報共有や意見交換ができ、業務効率をあげることができています。

4-6.白川あんしんすこやかセンター

- ◆前年度新型コロナウイルス感染症の影響でできなかった地域ケア会議を 2 回、個別地域ケア会議を 1 回の計 3 回開催することができました。地域ケア会議では地域課題を共有することができ、将来につながる話し合いの場となりました。今年度もまん延防止等重点措置の影響で地域行事が縮小しているなか、感染症対策を工夫したうえで実施された地域行事には可能な限り参加しました。
- ◆小地域連絡会では、3つの民生児童委員協議会の代表者とエリアの居宅事業所のケアマネジャーにも参加していただき、センターからコロナ禍による影響とフレイル予防について話をすることができました。その後の交流会では、集いの場も休止や縮小が余儀なくされるなか、地域ごとの取り組みや工夫を共有することができ、住民のリーダーとケアマネジャーが深く関係を築く機会にもなりました。
- ◆新たな取り組みとして、広く住民にフレイル予防の意識を持っていただくツールとして、お散歩マップを作成し、ふれあいのまちづくり協議会の委員長の方の了承のもと福祉センターに置かせていただくとともに、地域行事等で配布することができました。今後も配布方法など工夫し広報していきたいと考えています。
- ◆センター職員の毎週の 4 職種ミーティングに加え、介護予防専任ケアマネジャーによるミーティングを毎月定期開催して、事例検討や振り返り等、情報共有を行いスキルアップに努めることができました。オンラインでの研修会にも積極的に参加しました。

5. 施設委員会・プロジェクト

名称	開催頻度	主な参加者
事故防止検討委員会	月 1 回	幹部・相談員・施設ケアマネジャー・職責者・介護職員・看護職員
身体拘束等適正化検討委員会	月 1 回	幹部・相談員・施設ケアマネジャー・職責者・介護職員・看護職員
褥瘡予防対策委員会	月 1 回	幹部・相談員・施設ケアマネジャー・職責者・介護職員・看護職員・栄養士
安全衛生委員会	月 1 回	幹部・相談員・施設ケアマネジャー・職責者・介護職員・看護職員・衛生管理者

感染症対策委員会	年 4 回	幹部・相談員・施設ケアマネジャー・職責者・介護職員・看護職員・サービス提供責任者
喀痰吸引等にかかる安全委員会	年 4 回	幹部・相談員・施設ケアマネジャー・職責者・介護職員・看護職員
腰痛予防対策委員会	月 1 回	幹部・相談員・施設ケアマネジャー・職責者・介護職員・看護職員・理学療法士
経口維持及び口腔衛生担当者会議	月 1 回	幹部・相談員・施設ケアマネジャー・職責者・介護職員・看護職員・栄養士
スマイリング委員会	月 1 回	相談員・施設ケアマネジャー・職責者・介護職員
入浴委員会	月 1 回	施設ケアマネジャー・職責者・介護職員
在宅支援向上委員会	月 1 回	幹部・相談員・施設ケアマネジャー・職責者・居宅、包括、ヘルプ各センター長
事業運営会議	月 1 回	幹部・相談員・施設ケアマネジャー・職責者・居宅、包括、ヘルプ各センター長・栄養士・事務職員

6. 施設行事

月	行 事
4 月	テイクアウトランチ、スイーツデイ
5 月	テイクアウトランチ、スイーツデイ
6 月	テイクアウトランチ、スイーツデイ
7 月	テイクアウトランチ、スイーツデイ
8 月	テイクアウトランチ、スイーツデイ、夏のレクリエーション
9 月	テイクアウトランチ、スイーツデイ、敬老の日レク
10 月	テイクアウトランチ、スイーツデイ、秋のレクリエーション
11 月	テイクアウトランチ、スイーツデイ
12 月	テイクアウトランチ、スイーツデイ、年忘れのレクリエーション、餅つき
1 月	テイクアウトランチ、スイーツデイ、初詣
2 月	
3 月	
随時	

【6】さん舞子神港園

施設長 吉川 和弘

1. 事業報告

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、「安心安全な施設運営」を基本に、感染対策を講じながら、高齢者総合福祉拠点としての役割を果たすべく、多職種協働・連携をさらに強固に実施しながら受容力向上を実現して参りました。具体的には、新規利用者の受入に伴う多職種情報共有会議による課題共有と協議を行い、その結果、受容力・現場力の向上が図れました。コロナ禍において、ショートステイのロング利用から入所のルート確保ができ、より安全な受入れ体制も構築できました。

長期のステイホームによる心身機能の低下の影響に歯止めをかけるべく、ワクチン接種後の生活機能・意欲向上へのアプローチを「with コロナ」の第一歩として始動、結果として重度化防止までは至りませんでした。入居者の QOL 維持向上への足掛かりとなり、コロナ禍での入居者の望む暮らしを再考するきっかけとなりました。

令和3年度の制度改正への対応として、入居・ショートステイ部門はサービス提供体制強化加算最上位を取得・デイサービスの機能訓練加算においても上位加算を取得、LIFE への対応も上期で完了、2月の介護職員処遇改善支援補助金の取得と質の高いサービスを目指すと共に、稼働においては厳しい部門もありましたが、当初予算を上回る収入実績を実現することができました。

組織力向上のため、外国人介護人材、未経験者の育成など、個々の特性に応じた育成計画を立案し中長期を見通した人材育成に拠点全体が取り組み、人材確保と離職防止に努めてきました。離職率は11.97%（登録ヘルパー含）と、対前年で3.7%上回る結果となりましたが、退職理由の分析においては退職者の約80%が年限、体調、家庭事情等の致し方ない理由によるもので、結果、離職防止・定着は進められました。

腰痛予防対策の一環として「5S」に取り組み、『見える化』で作業効率、業務スリム化を全部署で実現しました。舞子拠点一体運営を推進する中、いこいの家とケアハウスの福祉用具・公用車の一体管理による柔軟な活用を行い運用効率と経費削減を図りました。

令和3年9月に再開した「けあスクール神港園」においては、研修会場提供と開校に向けた準備地域広報など、地域から2名の一般参加もあり社会貢献の一助を成すことができました。

神戸市のモデル事業「市営住宅コミュニティ活性化事業（市営住宅集会所の活用）」において、市営北舞子第二集会所の活用の認可を受け、舞子地域で特に需要が高い「短時間型のリハビリテーション特化型デイサービス」の令和4年度新規事業開設への準備を行いました。

設備面では、修繕積立取崩30,000（千）による、北館ガス空調更新工事を『強靱性向上に資する天然ガス利用設備導入支援事業費補助金』にて、災害時に自立運転可能な空調機器の導入を下期に実施し、事業継続計画の一環としての準備ができました。

令和 4 年 3 月 15 日の当ショートステイ介護職員による傷害事件発生においては、ご利用いただいている皆様方の信頼を失うこととなり、深くお詫びをすると共に、再発防止対策の励行により再び信頼回復に向け拠点を挙げ全力で取り組む所存です。また、長期化するコロナ禍において、「with コロナ」を進めるに当り、開かれた施設の在り方を再考した施設運営を推進していきたいと考えます。

2. 新型コロナウイルス感染症対策

事業毎のハード・ソフト面の違いはあるものの、出来る範囲での統一均一化を図り、「お互いに理解・協力」しながら物事を進める事が出来ました。また、第 6 波においては急激な感染者数の増加に、特に在宅部門のデイサービスは、職員の自宅待機者増加に苦戦しましたが、職員間においても「常にお互い様」である事を声かけし合い、感染が疑われた際の迅速な初動体制と情報共有、マニュアルに沿ったスムーズな対応を実施し、感染を最小限に抑え全部門において事業継続ができました。

『持ち込まない』『広げない』を共通言語に特に水際対策強化に尽力しました。新規受入れに伴う自主隔離対応、発生時を想定したゾーニングを含めた初動期対応シミュレーション、感染疑い時における発症を想定した訓練をマニュアルに沿って実施、全職員に徹底し有事に備えました。平時からのシミュレーションの継続により、職員の感染対策への意識向上に繋がりました。

新型コロナウイルス感染状況（令和 3 年度）

ご入居者・ご利用者の 陽性数（人）	営業中止および、新規受け入れ中止日数			陽性職員数 （人）	自宅待機日数 （日）※1
	デイサービス 営業閉鎖日数 （日）	ショートステイ 営業閉鎖日数 （日）	保育園 休園日数 （日）		
1	0	0	0	6	232.5

※1 濃厚接触や幹部からの指示等、職員が新型コロナウイルス関連の理由で職務を休んだ延べ日数

3. 経営報告

（千円）

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	744,003	728,471	15,532
前年度決算	721,239	719,220	2,019
前年差	22,764	9,251	13,513

情勢と取り組み

【活動収益に関して】

◆ケアハウス

年間稼働率は 93.9%で計画未達であったが、入居者の平均介護度が最終 2.47、対予算で 0.33 ポイントUP、事務費補助金の増額分のプラス影響により予算を大幅に上回りました。

◆ショートステイ

下期失速したが上期稼働増、いこいの家との連携、新規受入れ情報共有会議による課題協議と情報共有によりスムーズな受入れ体制ができ、結果収入増と受容力向上に繋がりました。

◆デイサービス

年間稼働率 80.5%とコロナ禍においても稼働維持し、令和 3 度制度改正による個別機能訓練上位加算の取得で収入確保もできました。第 6 波による職員休業の影響が最大の中、窮地をしのぐことができました。

◆ホームヘルプ

下期はサービス提供責任者 3 名体制で、最大限の利用者枠を維持し、最大枠内での新規受入れ、サービス回数の調整を図り増減差額を確保しました。サービス提供責任者本来業務の推進により、時間外労働のムダの削減を実現しました。

◆居宅介護支援センター

9 月ケアマネジャー 1 名兼務解除で増員、給付管理数増を計画、併設地域包括支援センターとの連携し積極的な新規受入れを行いました。終了件数も多く、給付管理数は微増、年間平均 218 件となりました。

◆地域包括支援センター

プラン数は横ばいで年間平均 547 件。増員した予防専任ケアマネジャーの育成は順調に進み許容枠は広がりました。センター職員の入替り、退職により看護師保健師の未配置が 3 ヶ月発生し、概算 1,000(千円)の委託費返金となりました。

◆全体

新型コロナサービス継続支援補助金 2,846 (千円) の収益プラスも影響し、対予算 101.2%を達成しました。

【人件費に関して】

上期中に一時的に加配となった人員配置は下期に調整を図り、また、年度末には次年度新規事業に向けた採用も同時に進めました。法人全体の人材確保・育成を視野に入れ、現場における個々の特性に応じた育成の強化を図りました。拠点課題でもある職員の高年齢化への対応も念頭に入れた人材育成を実施しながら、人件費割合も注視しました。

【活動費用に関して】

事業費と事務費は対予算△5,706（千円）と抑えることが出来ました。特に人材紹介料の削減が実現した大きな要因は、ハローワークの職業訓練「求職者支援制度」修了者ルートによる採用推進に尽力したことに依ります。費用全体では、対予算 97.2%の執行率でした。世界情勢の影響による燃料費・ガス等の光熱費の高騰が大きく影響しました。

【施設設備に関して】

修繕積立取崩 30,000（千円）による、北館ガス空調更新工事、ノーリフトテイングケアの一環と平均介護度アップに対応すべく、「ハローワーク人材確保等支援助成金」を活用した北館 3 階リフト浴「メトス」の導入、デイサービス出入口自動ドア修繕と機能向上、WEB 面会用のアクセスポイント増設、感染症まん延により延期していた南館空調解体洗浄などを実施しました。

運営報告

◆苦情・要望：苦情件数 15 件 要望件数 6 件

家族（キーパーソン）とのコミュニケーション不足が招いた行き違いや認識の違い、初動対応の遅れや優先順位の誤りなどが不満につながるケースが目立ちました。一人の利用者にチームで支援する上での情報共有の徹底、確実な情報伝達、一人ひとりがチームの役割と責任を意識し、家族目線を持つことが信頼関係構築に重要であることを再認識し、職員に周知しました。

◆事故・虐待防止：事故 18 件 うち虐待 1 件 うち虐待疑い 1 件(全 20 件行政報告済み)

【情勢：事故関連】

年間の行政への報告事故件数 18 件の内、9 件が骨折を伴う転倒等の事故でした。特に入居部門は平均介護度の重度化、新型コロナウイルス感染症蔓延防止に関連する外出や活動自粛による下肢筋力低下防止に努めましたが、転倒による骨折に至らないまでも、転倒件数においては前年並みでした。

【情勢：虐待関連】

去る令和 4 年 3 月 15 日、当ショートステイにおいて介護職員による傷害事件が発生しました。被害ご利用者の傷は完治し、幸いにも生命への影響はありませんでしたが、ご利用者、ご家族、地域の多くの皆様方の信頼を失う結果となりました。施設管理体制として、潜在的な可能性についての対策の甘さ、職場環境把握の不充分さ、予兆に気づくことが出来なかったことを改めて痛感いたしました。

【対策：事故防止に向けた対策】

24 時間モニターシステムを活用した的確な要因分析、個別性に応じた実効性のある再発防止策を継続し、今後はその精度を上げていきます。「With コロナ」対策として、面会の在り方や暮らし方、コロナ禍での開かれた施設、運営の在り方の再検討を実施し、また入居者への個別の動機付けによる生活リハビリテーションを継続します。

【対策：虐待防止に向けた対策】

- ①全職員対象の「虐待及び不適切ケア防止に関するアンケート」の実施と、アンケートに基づく課題への対応
- ②常に相互牽制作用が機能する組織作りを構築するための委員会の開催。具体的には、3ヵ月に1回の身体拘束廃止・虐待防止委員会に加え、その間の2ヵ月間はケアへの「気づきの検討会」の実施
- ③認知症高齢者への理解を深め、対応方法のひきだしを増やすための研修の計画的実施
- ④予兆に対する早期発見と対応ができるよう職場環境の整備と、気づきによるマネジメントラインに繋ぐことができる体制の再構築
- ⑤在宅サービス向上を目的とする委員会において、認知症や精神疾患を抱えておられるご利用者への適切な医療と介護について議論を深め、より良いサービス提供をチームで目指す
- ⑥事故発生時のご利用者ご家族への初動対応に関する全事業への周知と、再発防止に向けた発生現場における多職種による検証の実施

4. 部門報告

4-1. ケアハウスさん舞子神港園

4-1-1. 介護部門

①入居者の自立支援と尊厳の保持、受容力の向上

多職種連携による生活に密着した機能訓練・個別ケアの実施

一人一人が積極的な情報発信・伝達・共有に努め入居者と家族の望む支援に繋げる

生活に密着した機能訓練、個別ケアは、医務室・OT・相談員・栄養士と情報共有を行い実施しました。

また、日帰り旅行や外食等の楽しみを持ってもらう事を目標に、機能訓練を兼ねた ADL 低下予防ニーズを個々に設定し活動性を高め、生活のメリハリを持って頂けるよう支援しました。「コロナ禍」で、ストレスを抱えている入居者の話をしっかり受け止め、「黄金律」に添った運営を心がけました。

②外国人介護人材及び多様な人材の育成

個々の経験、能力に応じた視点を意識した人事考課や OJT 制度活用による効果的な育成の実現

外国人介護者の入職に伴い、文化の違いから、言葉の壁や、習慣の違いにより、思う様に伝わらない事に直面し、業務の習得、コミュニケーションを取る事等、時間を要しました。今までの OJT ではなく、部署で独自に進めました。お互いの立場を尊重し、その都度、話し合う事で今後の指導に生かしていきます。「専門性の高い知識」を習得し、介護方法を統一し、一つひとつ問題解決を行い、職員全体の介護力の底上げをしています。

4-1-2. 看護部門

①入居者の状態に合わせた看護の提供、職種間連携による ADL・QOL の維持・向上

新型コロナワクチン予防接種はアクシデントもなく、無事に終えることができました。医師の変更が相次ぎ

ましたが、診療がスムーズに行えるよう、チーム全体で入居者が把握できるように、診察日前日のカンファレンスや、朝礼で情報の共有を行いました。情報共有を毎日行うことで、内服の変更時など入居者の観察を適切に行うことができました。

入居者の中で、100 歳を超える入居者が 5 名、その内自立歩行の方が 4 名、コロナ禍で全体的に筋力低下が認められ、医療ニーズが高くなってきており、医師と連携し、多職種と情報共有しながらケアにあたっています。個別機能訓練加算は、作業療法士と毎日のカンファレンスで情報共有しながら計画を立案・見直しを協働で行ってきました。

②計画的な物品購入による適切な在庫管理

「5S」を実践し、北館・南館の医務室を作業し易いようにレイアウトを変更し、不必要な物品の廃棄を行い、衛生材料などラベルで置き場所を表記し「見える化」を行いました。月 2 回の在庫チェックで、無駄のない発注を行い、使用頻度の低いものは、併設のいこいの家と分配し合理化を図りました。

4-1-3.生活相談員

①コロナ禍での円滑な新入居の促進と安定した稼働率の確保 目標稼働率 95.5%

新入居者が入ると同時期に入院者が出ての繰返しでした。平均介護度は上昇していったものの、年間稼働率は目標未達成となりました。

②多職種連携による細かな情報共有及びリスク管理の徹底

状態変化や事故が起きた際の対策等を確認しながら対応する事ができました。

③コロナ禍での家族へのタイムリーな情報報告及び相談連絡

体調変化の報告や状態によっては受診の相談等を行いました。メールを活用しての状態・様子報告や行事やイベントの様子を写真で送ることでその場の雰囲気や楽しんでいる表情などを伝える事ができました。

4-1-4.栄養部門

①食の企画と温冷配膳車導入による入居者の食事の満足度向上

全館温冷配膳車を使用するようになりました。コロナ禍でありましたが、食イベントの 8 割以上を開催し、また食材料費が値上がりしている中、刺身や鰻なども提供できるようにし満足度向上を目指しました。法人 70 周年を記念し、ケアハウス全入居者を対象にプレミアムランチを開催しました。

②介護保険制度に即した栄養ケア・マネジメントの向上と多職種連携強化

栄養情報を一覧表で作成し、多職種との連携に活かしました。

③国の「CHASE・VISIT」評価システム活用の模索

科学的介護推進に関する評価システム活用に取り組みました。

4-1-5.事務部門

①内部統制を図るための予算執行度一覧の作成と基本的処理の全職員への啓発

内部統制を図るため予算執行度一覧を作成し予算管理に努めました。事務的基本処理については再度、職員へ啓発してまいります。

②施設窓口における感染水際対策の徹底

施設窓口における感染水際対策は、徹底することができました。

4-2.さん舞子神港園ショートステイ

4-2-1.介護部門

①コロナ禍での利用者への楽しみの提供による利用者満足度の向上

コロナ禍での「おやつ作り」と「レクリエーション」の充実化を目指し職員も工夫し実践いたしました。もっと喜ばれる物がないか、更なる工夫を重ね利用者の満足度向上を図ってまいります。レクリエーションでは、下肢筋力の低下を防ぐ体操をもっと取り入れる必要性があると考えます。

②稼働増での更なる事故防止強化と水平感染予防による安心・安楽なサービス提供

稼働率が高くなった時期は、事故も増え見守りが追い付かない状況でした。その為、業務改善を行い見守りの出来る体制を作り、事故を減らすことができました。また、感染水際対策の徹底を行った結果、水平感染を防ぐことができました。今後も感染予防に努め、利用者に安全・安心なサービスの提供ができるよう努めます。

③安定稼働率確保 目標稼働率 104.0%

新規利用者がピーターに繋がるよう、個々に合った対応に努めました。今後も利用者やご家族のニーズに沿いケアプランに沿った介護を行うようチームケアに取り組みます。更に、言葉遣いや丁寧な対応に努め稼働率の確保に努めています。

4-2-2.看護部門

①利用者の状態把握と適切な看護の提供、職種間連携強化

感染防止対策に努め、利用者の状態の観察を多職種協働で行いました。利用者の状態を把握し、起こりうる事を予測し、ご家族及びケアマネジャー等への報告・連絡・相談を行いました。

②長期利用者の適切な看護の提供、往診対応による体調管理

長期利用者の病状把握のため、往診医に相談の上採血を施行し、糖尿病の治療にも繋がりました。生活相談員との情報共有のための長期利用者のカンファレンスを定期的に行い、また、往診医との効率的な情報共有のための往診用紙を作成、詳細を記入することで医師との連携に努めました。

4-2-3.生活相談員

①情報共有の徹底による職種間連携と実地監査を想定した法令遵守

稼働確保安定 目標稼働率 104.0%

情報共有会議の定期的開催により情報の共有及び他職種包括的支援が出来た結果、インシデントの事例が前年に比べ増加する事は無く、結果として稼働確保の安定に繋がり、104.0%の目標稼働率を達成しました。

②心身状況・環境に応じた相談対応

担当ケアマネジャー、ご家族からの情報収集により介護・医務と連携して現状を把握し、その都度適切・丁寧に相談に応じた結果、苦情の事例は前年に比べ減少しましたが、虐待事例があり、結果としてご家族・ご利用者の信頼を失ってしまいました。次年度は、再発防止策を励行し安心安全な支援を提供できるようチームとして虐待根絶に取り組みます。

③コロナ禍でも高齢者福祉に携わる価値や誇りを持てるやりがいのある職場づくり

常にご利用者の皆様の人権と意思を尊重し笑顔と傾聴・挨拶を心掛け、誠意を持って自立支援が出来る職場づくりに努めた結果、チームとして安定稼働率の確保が出来ました。

4-3.さん舞子神港園デイサービスセンター

4-3-1.介護・看護部門

①職員の役割分担の明確化及び責任性の自覚による連携強化

役割分担について明確化はできており、各自が意識して取り組めていました。アドバイスできる職員も増えてきており、出来ていない所をフォローし、お互いに協力しながら連携強化に繋がっています。発信力が弱いところがあるので、今後は積極的に発信していくことが必要と考えます。

②利用者の立場にたったサービスの提供、利用者満足度の向上

2年目になるコロナ禍でのサービス提供は制限される部分も多く、利用者の方には不自由をかける事も多々ありました。制限がある中でも工夫できる事は実践し、出来る範囲で行事を企画し、個別対応もできました。その結果、稼働率も維持でき今に繋がっています。

③リスクマネジメントの強化、振り返り、予防の徹底

事故・ヒヤリハット報告については、毎月対策と振り返りを行っていましたが、同じことが繰り返されることが多くありました。対策の強化、職員の意識の改善が必要です。感染予防については数名の感染者は出ましたが、営業には支障なく無事一年間を過ごす事ができました。日頃から感染予防対策を徹底していた成果と考えます。

4-3-2.生活相談員

①介護報酬改定による各加算変更等への適切な対応とコロナ禍でも安定した稼働率の確保

目標稼働率 84.2%

厚生労働省が推進する科学的介護情報システム（LIFE）の導入により、利用者全員のADL評価を現場職員や介護支援専門員の協力のもと行い、新しい加算の取得ができました。

また、個別機能訓練加算の算定条件緩和により、介護記録の充実を図り、年間約300万円の増収となりました。稼働率は目標に及びませんでしたが、新型コロナウイルスの影響は受けつつも休業なく事業が

継続でき、昨年度に比べて稼働が微増しました。

②徹底した感染症対策、安全に過ごせる環境整備、無理なく働ける業務改善を継続する

様々な在宅サービスを利用している利用者を受け入れるリスクは高く、利用者の体調や地域の感染状況に常にアンテナを張りながら受け入れの調整を行い、職員を含め数名の感染者は発生しましたが、クラスターにならず無事に1年を過ごすことができました。行政報告事故は1件もありませんでしたが、転倒事故や車両事故は起きており、特に利用者の持ち物に関する事故が多かったです。利用者から送迎に関わる職員に対する問い合わせがあり、義務化される前に機器による運転者のアルコールチェックを実施することとなりました。

③拠点内各事業との連携強化、他事業所や地域との交流を通しての社会貢献に努める

昨年度に引き続き、在宅向上委員会では課題解決に向けて具体的な取り組み方法を決めて話し合いができました。在宅サービスから入所サービスまで拠点内でこまめに情報共有を行い、利用者を繋げることができました。担当者会議や日々の連絡を通じて他事業所と情報共有を行い、他事業所からの利用者数も昨年度に比べて増えました。一方、新型コロナウイルスの影響でボランティアの受け入れはできませんでした。

4-4.さん舞子神港園ホームヘルプセンター

①サービス提供責任者及びヘルパーのスキルアップによる多様なニーズへの対応

サービス提供責任者に関しては毎月の管理者による研修及び外部研修に積極的に参加して学んだことを部署内復講研修として伝えていきました。登録ヘルパーに関しては、経験の浅いヘルパーに対して、OJTリーダーをつけ指導を行い成長に繋げることができました。

②コスト意識を高め業務の効率化を図る

サービス提供責任者の活動調整により、サービス提供責任者が本来業務に専念できる環境を整備し、時間内に仕事を終えることにより残業を減らすことができました。

4-5.神港園舞子ケアプランセンター

①認知症、精神疾患を抱える利用者や家族支援のための対人援助職者としてのスキルアップ

令和3年度の制度改定内容について周知し実践できるよう事業所内で情報を共有しました。認知症や精神疾患を抱える利用者、家族の支援の為、事例検討や事業所内研修を行い、スキルアップを図りました。

②高齢者が住み慣れた地域で生活できるようインフォーマルな社会資源の発掘を行う

コロナ禍の中、オンラインにて多職種と連携を取り利用者支援に繋がりました。地域住民との連携にも支障がありましたが、地域の支え手である民生委員と電話などの手段で積極的に連携をとりました。

③災害や感染症発生時も継続した利用者支援が出来る体制作り

新型コロナウイルス感染症対策を継続するとともに、地域の感染情報を共有し感染予防に努めました。また、新型コロナウイルス感染症に罹患した利用者や家族に対して代替サービスの提案を行い支援しまし

た。各自で健康管理に留意し、安定した業務遂行を図りました。

4-6.舞子あんしんすこやかセンター

①自立支援・重度化防止のフレイル予防の普及啓発及び地域住民主体の活動に向けた後方支援

自立支援・重度化防止のフレイル予防の普及啓発及び住民主体の活動に向けた後方支援を行いました。

②認知症施策の推進、認知症高齢者の見守り訓練・認知症サポーター養成講座の継続

認知症施策の推進、認知症高齢者の見守り訓練・認知症サポーター養成講座の開催が継続できました。

③個別事例を含む地域ケア会議の開催の継続から地域課題の抽出及びネットワーク構築

個別事例を含む地域ケア会議を開催しました。

④地域全体の医療・介護・地域住民まで幅広いネットワーク作り

地域全体の介護・医療・地域住民まで幅広いネットワーク作りに努めました。

⑤介護予防等平均給付管理数 600 件(外部委託含む)

介護予防の平均給付管理数、600 件は未達成です。

5. 施設委員会・プロジェクト

名称	開催頻度	主な参加者
在宅サービス向上委員会	1 回/月	幹部、生活相談員、在宅サービス職責者
虐待防止・身体拘束廃止委員会	1 回/3 月	幹部、生活相談員、職責者、管理栄養士、各担当者
事故防止対策委員会 (各部署)	1 回/月	幹部、生活相談員、職責者、職員
災害対策委員会	2 回/年	幹部、生活相談員、職責者、担当職員
感染症対策委員会	1 回/月・臨時	幹部、生活相談員、職責者、看護師、栄養士
安全衛生委員会	1 回/月	幹部、生活相談員、職責者、担当者
入居検討委員会	月 1 回	幹部、生活相談員、職責者

6. 施設行事

月	行 事
4 月	お花見 たこ焼き実演（ケアハウス南館・北 3 階） 串カツデー（デイサービス）
5 月	ふれあいランチ（お好み焼き ケアハウス北 1 階・北 2 階） ふれあい喫茶（和菓子 デイサービ
6 月	
7 月	夏祭り：ケアハウス セタ会：デイサービス
8 月	消防避難訓練 夏祭り（デイサービス） ふれあいランチ（お好み焼き ケアハウス南階・北 3
9 月	敬老祝賀会 敬老会週間（デイサービス）
10 月	日帰り旅行 法人創立 70 周年記念プレミアムランチ（ケアハウス北館） クレープ喫茶（ケア
11 月	日帰り旅行 ふれあい喫茶（クレープ ケアハウス北 1～3 階・デイサービス たこ焼き実演（ケ
12 月	年忘れ昼食会（ケアハウス・ショート） クリスマス会：デイサービス
1 月	新年祝賀会 お正月おせち料理 ぜんざいデー（デイサービス）
2 月	節分 握り寿司デー（ケアハウス南館・北 3 階）
3 月	ひな祭り ぜんざいデー（ケアハウス・ショート） 握り寿司デー（ケアハウス北 1 階・北 2 階）
随時	音楽療法（月 1～2 回）、ふれあい喫茶（月 2 回）、八百屋販売（週 1 回）

《運営理念》 みんなが笑顔で集う舞子の家

【7】さん舞子神港園いこいの家

施設長 吉川 和弘

1. 事業報告

2021 年度については、前年度に引き続き「職員のベクトル統一」を目標とし、連携強化や職員モチベーション向上の為に「全職員共通」「明確」「実現可能」な、以下 5 つの「職員宣言」を継続して実行しました。

1. 私たちは「チーム」で援助を行います
2. 人任せにせずに、最後まで責任をもって取り組みます
3. 報告・連絡・相談を確実にします
4. 自分が受けたいと思えるようなケアを行います
5. 笑顔で始まり笑顔でおわります

2. 新型コロナウイルス感染症対策

ケアハウスを含めた「舞子拠点」として協議・ルール策定を実施する事により、スタンダード化・効率化を行いながらの対策実施に努める事が出来ました。

事業毎のハード・ソフト面の違いはありますが、できる範囲での統一・均一化する事で「相互理解」を深め「スケールメリット」を生かしながら協力体制を促進する事ができました。

新型コロナウイルス感染状況（令和 3 年度）

ご入居者・ご利用者の 陽性数（人）	営業中止および、新規受け入れ中止日数			陽性職員数 （人）	自宅待機日数 （日）※1
	デイサービス 営業閉鎖日数 （日）	ショートステイ 営業閉鎖日数 （日）	保育園 休園日数 （日）		
0	0	0	0	3	8 1

※1 濃厚接触や幹部からの指示等、職員が新型コロナウイルス関連の理由で職務を休んだ延べ日数

3. 経営報告

いこいの家

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	281,291	267,960	13,331
前年度決算	272,113	270,472	1,641
前年差	9,178	△2,512	11,690

サン舞子マンション

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	2,066	18,275	△16,209
前年度決算	2,171	16,949	△14,778
前年差	△105	1,326	△1,431

情勢と取り組み

コロナ禍において、感染症対策に係る業務量の増加や各種制限が敷かれる中で、柔軟な支援体制構築や環境整備が必要でした。その中においても、常に収支バランスを取りながら運営に努めました。

収入面においては、「稼働」「収入基盤」の安定化に努めました。稼働については、入院者の入院先病院との継続的な情報交換・情報収集による適切な退院時期設定を実施。退去者発生時には、さん舞子神港園ショートステイとの連携強化対策等により、新規入居者受入体制を強化しました。(ショートステイからの新規入居率 62.5%) 結果、年間平均 98.4%の稼働で着地する事ができました。

収入基盤については、LIFE 等の新システムに対する早期取り組みを実施する事で 4 月 1 日からの加算取得を実現。また、現在の物価・委託費に合わせて居住費・食費を改定した事により安定した収入確保が行えました。

支出面においては、「今を見直す」を合言葉に「無理」「ムラ」「無駄」の削減に注力。

人員については、「定数」では無く「必要マンパワーに合わせた職員配置」を柔軟に実施。高コスト・低パフォーマンスである「残業」の削減に努める事で、前年度比で人員の延べ配置数は増加したものの総人件費は減少する形となりました。また、清掃等外部委託の自前化やリース機器・車両の必要数の見直し、共用化を実施し、サービス活動費用の圧縮に努めました。

運営報告

◆苦情・要望

コロナ禍において施設サービス提供状況の密室化が続く中、家族に対する施設サービス内容のアナウンス活動による「見える化」を継続的に実施。また、家族アンケート実施により得られた各種疑問・要望の解決に加え、職員アンケートによる自主的な課題抽出とその解消に努める事で、各種問題が「苦情」まで発展する事はありませんでした。

◆事故・虐待防止

【情勢】

コロナ禍においては、入居者の行動・活動範囲縮小による筋力低下、ストレス増加が引き起こされ、援助者においても業務量・精神的負担共に増加しているのが現状です。それに伴う事故や不適切ケアの発生リスク増加に対応出来る体制整備が望まれます。

【対策】

常に相手の立場に立っての行動が起こせる様に虐待・身体拘束・事故防止の基礎知識習得だけではなく、「被介護者体験型研修による実体験」に基づいて業務対応が行える基盤作りに努めました。

また、基本的な考え方として「禁止・阻止」の考え方ではなく、「よりよいサービス提供を行う事」を目的としてのアクションを起こしていくとの方向性を示した事で、施設全体が一つのチームとして前向きな取り組みを継続して行う事ができました。結果的に職員の足並みが揃い、援助のバラツキや情報の周知不足による事故・苦情等の発生を抑制する事ができました。

4. 部門報告

4-1. 特別養護老人ホームさん舞子神港園いこいの家

コロナ自粛で各種制限が行われる中においても、「コロナ禍でも出来る事」を合言葉に柔軟なケアの実施に努める事でサービスの質の維持・向上に努めました。

委員会活動による基準・マニュアルの作成、会議・研修による作成物の周知を継続的に実施。「明確な基準」による判断・対応が、職員の「熟練度・経験」に頼ることなく実施出来るインフラ作りを行いました。ノーリフトテイングケアに関する物的充実と技術向上支援を実施し、本格的な導入に向けての地盤造りを図りました。

4-2. 有料老人ホーム サン舞子マンション

建物の老朽化により現状での継続使用が困難になりつつあり、事業の継続そのものに支障が生じている為に、建物の躯体状況調査結果について入居者説明会を2021年11月に実施、2022年3月には転居先の最有力候補地であるケアハウスさん舞子神港園の施設説明会を実施しました。

2度の説明会開催により、現状の理解促進と各種疑問点の解消が行えましたが、現在入居中の3名のご入居者それぞれが「住み慣れた環境から移る」事自体に不安を抱えておられる為に、今後も不安の軽減・解消が行えるようにアプローチをかけて行く予定です。

また、転居時・転居後のサポートも丁寧に実施し、信頼の獲得・良好な関係の継続を図っていく予定です。

5. 施設委員会・プロジェクト

名称	開催頻度	主な参加者
事業運営会議	月1回	幹部・生活相談員・各職責者・看護師
安全衛生推進委員会	月1回	
リーダー会議	月1回	
入居検討委員会	月1回	

事故防止検討委員会 (ユニット)	各月 1 回	幹部・生活相談員・各職責者・ユニット
事故防止検討委員会 (施設全体)	年 2 回	幹部・生活相談員・各職責者 看護師・管理栄養士・作業療法士
身体拘束適正化検討委員会	年 4 回	
感染症対策委員会 (褥瘡予防委員会)	年 4 回	
災害対策委員会	月 1 回	
食事検討委員会	年 6 回	幹部・管理栄養士
在宅向上委員会 (ケアハウス合同)	月 1 回	幹部・生活相談員

6. 施設行事

月	行 事
4 月	花見、ドライブ
5 月	五月晴喫茶
6 月	
7 月	夏祭り
8 月	
9 月	敬老祝賀会
10 月	
11 月	
12 月	クリスマス会
1 月	初詣 、 獅子舞
2 月	節分豆まき
3 月	
随時	居酒屋（不定期開催）

《運営理念》 利用者が明るく、心豊かに暮らせる場を提供し、社会貢献に取り組み地域からの信頼を得る

【8】 神港園レインボー西宮

施設長 金谷 泰明

1. 事業報告

令和3年度は、前年のコロナ禍の大きなダメージを回復し、地域からの信頼を取り戻すことを主眼に置いて、「With コロナ」の環境下において新たな福祉介護の取り組みを構築し、西宮拠点の経営的安定を目指しました。しかしながら、上半期を中心に想定以上に新型コロナウイルス感染症が蔓延したことでデイサービス部門において大きな影響を受けました。複数のご利用者に利用自粛がみられたこと、新規登録者獲得のための相談員の営業活動が制限されたこと等で収入が減少し、目標を下回ることとなりました。

グループホームにおいてもご逝去された後の空室がなかなか埋まらず1-2ヶ月の空白期間ができてしまい、待機者はいるもののコロナ禍によりご本人やご家族の見学が円滑に進まず、「コロナが落ち着いてからにします。」というケースが目立ちました。フロアごとの介護度の格差が広がり、3F スタッフの負担が著しく増したことから、スタッフのローテーションを実施して負担軽減とスキルアップを図りました。

職場環境の改善については、適正な人員配置により無理のないシフトの構築、老朽化した設備の修理や備品の入替、徹底した整理整頓、清潔な職場作り等を行い、着実に成果をあげています。神港園グループとしての風土の融合と実務面の統合、ルールの統一化を図り、組織体に則った実務が稼働し始めています。リーダーが何をすべきか、役割を明確にし、拠点の目標方針等、進むべき方向をしっかりと共有し、幹部・リーダー・現場スタッフ間で風通しを良くして、コミュニケーションの円滑化を図ったことで各部門が活性化し組織として機能し始めています。

外国人人材の活用については、2名のベトナム人を受け入れています。1名は独り立ちしていますが、もう1名は日勤帯のみの活動に止まっており、人材育成面で課題を残すこととなりました。また、初任者研修や実務者研修の資格取得後、介護未経験で入職するケースも増えており、中期的に安定した配置を行うべく育成に注力しました。OJT中心の育成になっていますが、OJTに頼り過ぎると現場スタッフの負担が大きくなり、マイナス面もあります。来期においては、新たな外国人人材や新卒の受け入れも予定されており、OJTを見直し人材育成の再構築を行っていきます。

ICTの活用については、管理ソフト・ケアカルテ（グループホーム、デイサービス）、デイルボ（放課後等デイサービス）の導入により、請求業務やご利用者管理の効率化を図りました。また、グループホームにおいては見守りライフを導入し、夜間帯の居室内の動作確認ができるようになり、ご入居者の転倒防止と職員の負担軽減につながっています。

今期は、収益予測が下振れしたことから施設の補修工事を最低限に抑えました。実施したのは、屋上防水シート張替え、水道漏水工事、グループホームの給湯器・トイレ・乾燥機の入替エレベーターのワイヤーロープ交換で緊急性を要するもののみに留めました。次年度に先送りしたものが、屋上防水工事、共有フロアのエアコン洗浄、庭木剪定等で、順次実施していく予定です。

2. 新型コロナウイルス感染症対策

感染症予防については、基本的な感染症対策を徹底し、前期のコロナ禍の経験を活かした予防対策に取り組みました。期中に2度の緊急事態宣言、4度のまん延防止等重点措置が発令され、年間7か月余りは危機管理下に置かれました。その期間においては、法人の感染症対策会議のガイドラインに基づく対策を実行しました。外部からの感染を防ぐべく、ご家族の直接面会の中止、理美容の中止、業者の施設内立ち入り制限を実施しました。

職員の体調管理については、入館時の検温、うがい・手洗いの励行、不織布マスクの着用、介護時はフェイスガード着用等を徹底しました。併せて施設内の共有部分の消毒を定期的に行いました。期中では、家庭内での感染はありましたが施設内での感染・発症はゼロでした。放課後等デイサービスにおいて児童の発熱による感染疑いの為、2日間の休業はあったものの大事には至らず、その他事業の休業はありませんでした。

ワクチン接種については提携医療機関により、6月・7月に1・2回目、2月・3月に3回目の接種をご入居者・職員ともに滞りなく実施できました。感染対策中もご入居者のADL低下を防ぐためにレクリエーションや屋上菜園の散策等を行い、ご入居者の健康維持に努めました。

新型コロナウイルス感染状況（令和3年度）

ご入居者・ご利用者の 陽性数（人）	営業中止および、新規受け入れ中止日数			陽性職員数 （人）	自宅待機日数 （日）※1
	デイサービス 営業閉鎖日数 （日）	ショートステイ 営業閉鎖日数 （日）	保育園 休園日数 （日）		
0	2	0	0	2	95

※1 濃厚接触や幹部からの指示等、職員が新型コロナウイルス関連の理由で職務を休んだ延べ日数

3. 経営報告

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	231,297	252,629	△21,332
前年度決算	219,071	241,233	△22,162
前年差	12,226	11,396	830

情勢と取り組み

想定以上の新型コロナウイルス感染症の蔓延で、在宅サービスの稼働率が上がらず収益に影響しました。利用自粛、新規開拓目的の居宅支援事業所や地域包括支援センターへの訪問が制限され、目標稼働率を下回る結果となりました。グループホームにおいても、第一四半期に見学対応が円滑に行えず、空室の長期化を招きました。

人員配置については、退職による入れ替え期間を除いては配置基準に準ずる体制を維持し、人件費は予算内で推移しました。特にグループホームにおいては、職員への過度な負担を軽減する配置を行いました。

修繕については、収益悪化のため極力抑えましたが、緊急を要する漏水対応の水道工事、雨漏り対応の屋上防水シート張替えを実施しました。設備投資は、西宮市の補助金を利用して、グループホーム各フロアに陰圧装置を導入しました。通常時は空気清浄機として活用しています。

運営報告

◆苦情・要望

苦情についてはホームヘルプで2件発生し、ともにヘルパーが一人体制の時の対応に関するものでした。他のご入居者の介助中で対応できなかったことに対する苦情で、介助が終了次第、すぐに対応するとともに、対応の遅れをお詫びすることを職員に周知しました。要望については、ご家族との連絡を密に行うことで防げるものが多く、ご家族との連携強化を意識づけました。

◆事故・虐待防止

【情勢と対策】

行政機関への報告事故は3件で、転倒による骨折2件、打撲1件です。グループホームの夜間帯での発生であり、転倒リスクのあるご入居者の見守りは常に課題となっています。下期より見守りセンサーを設置し、ベッドでの動作がタイムリーに把握できるようになりました。状況を把握して転倒を未然に防ぐよう努めています。

4. 部門報告

4-1. グループホーム神港園レインボー西宮

- ◆新型コロナウイルス感染症の影響で外出イベントの自粛が続いたため、施設内でのイベントやレクリエーションを増やし、ADL（日常生活動作能力）の低下防止に努めました。
- ◆ご家族との面会は、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の発令下では Zoom 面会、解除後は共有フロアでの直接面会を実施しました。面会が困難な状況下においては、ご入居者ごとに写真付きのお便りを送付し、近況報告を行い、ご家族に大変喜んでいただきました。
- ◆緊急事態宣言下の感染予防対策で見学ができなくなり、空床期間が長引きました。宣言明けから医療機関、居宅介護支援事業所との連携で入居者の獲得に努めました。
- ◆人事部と連携し、外国人 2 名の登用を行い、人材の定着化、育成に努めました。
- ◆2F と 3F の介護度が乖離し、3F の介護に負担が増したため、フロア間の職員ローテーションを行い、負担軽減に努めました。

4-2. 各種デイサービスセンターレインボー西宮(地域密着型/認知症対応型)

- ◆新型コロナウイルス感染症の影響で利用自粛が増加し、稼働率目標は未達に終わりました。
- ◆営業活動に制限を受け、新規利用者の獲得が困難な中、既存利用者の増回調整を行い、稼働率低下に歯止めをかけました。
- ◆感染予防対策の中、満足度を高められるようレクリエーションや食事イベントを強化しました。
- ◆部門会議に併せて認知症の基礎知識・個人情報管理・感染症の予防等の研修を行い、職員のスキルアップに努めました。
- ◆トレーニングマシン 3 台を新規に設置し、機能訓練の充実を図りました。

4-3. 放課後等デイサービスセンターレインボー西宮

- ◆感染症については、送迎時に児童の発熱があり検査結果が出るまで 2 日間の休業を余儀なくされましたが、大事に至らず再開することができました。
- ◆学級閉鎖が頻繁に発生し、児童の利用自粛で稼働率の低下を招きました。

4-4. 居宅介護支援事業所神港園レインボー西宮

- ◆酒蔵通に事業所を移転し、酒蔵通ご入居者の対応はこれまで以上に円滑に進めることができました。
- ◆6 月に欠員が生じ、補充が進まないままの状況が続く、契約者の獲得、収入の拡大には至りませんでした。

4-5.ホームヘルプレインボー西宮

- ◆年末年始に、酒蔵通ご入居者のご逝去が続き活動数が減少し、収益目標は未達に終わりました。
- ◆人員については、下半期より新体制とし本館職員の兼務体制を構築し、人員の入れ替わりは落ち着き配置基準内で推移しています。

4-6.その他

- ◆ICT 推進による業務の効率化を図るため、各部門に管理ソフトを導入し、介護記録の書き込みや閲覧方法等、ソフトの活用を職員に周知しました。
- ◆ハラスメントのない職場環境を構築するため、定期的な研修、職員面談を実施しました。

5. 施設委員会・プロジェクト

名称	開催頻度	主な参加者
安全衛生委員会	月 1 回	幹部、職責者、衛生管理者、産業医、担当職員
虐待防止・身体拘束適正化委員会	3 ヶ月ごと	幹部、職責者、看護師、担当職員
感染症対策委員会	月 1 回	幹部、職責者、看護師、産業医、厨房職員、担当職員
事故防止検討委員会	月 1 回	幹部、職責者、担当職員
リーダー会議	月 1 回	幹部、職責者
行事委員会	月 1 回	幹部、担当職員
食事検討会	3 ヶ月ごと	担当職員、厨房職員
災害対策委員会	3 ヶ月ごと	幹部、職責者、担当職員
部門別会議	月 1 回	幹部、職責者、担当職員
西宮幹部会議	月 1 回	常務執行理事、西宮組織強化推進者、幹部、職責者

6. 施設行事

月	行 事
4 月	お花見（中止）
5 月	こども祭り（中止）
6 月	
7 月	防災訓練
8 月	納涼祭（中止）
9 月	秋祭り（中止）、敬老祝賀会
10 月	ハロウィン
11 月	
12 月	クリスマス会、餅つき大会
1 月	防災訓練
2 月	節分
3 月	ひな祭り
随時	園芸（毎週金曜日）、食事レクリエーション（グループホーム・デイサービスにて毎月）

《運営理念》 利用者が明るく、心豊かに暮らせる場を提供し、社会貢献に取り組み地域からの信頼を得る

【9】 レインボー酒蔵通

施設長 金谷 泰明

1. 事業報告

入居者が明るく心豊かに暮らせるサービス付き高齢者向け住宅を目指し、環境整備に取り組みました。入居率は 90%超で推移しましたが、年未年始にご逝去が続き、期末では 86%となりました。新型コロナウイルス感染症の影響で営業活動が制限されましたが、NET 系の紹介会社からの問い合わせが増加しました。

緊急事態宣言やまん延防止重点措置発令時にはご入居者の行動制限をせざるを得ず、ご家族の直接面会中止や外出制限によって不自由を強いることとなりました。食事についても居室配膳としました。このような環境下で少しでも楽しんでもらおうと特製の弁当や手作りの一品を提供する等、食事イベントの回数を増やし、ご入居者から好評を得ました。

職員の活動をご入居者の安全・安心を守ることを第一義とし、感染予防に努めるとともに、コミュニケーションを積極的にとることで健康状態の確認を行いました。本館職員の配置については、介護資格を有する職員の比率を上げ、介護を必要とするご入居者の対応に備えました。

ICT 活用の推進として管理ソフト「けあ樹」を導入し、ご入居者の請求業務と経理処理の効率化を進めました。

2. 新型コロナウイルス感染症対策

感染症予防については、基本的な感染症対策を徹底し、法人の感染症対策会議のガイドラインに基づく対応を行いました。緊急事態宣言・蔓延防止重点措置発令下においては、外部からの感染を防ぐべく、ご家族の直接面会の禁止、理美容の中止、業者の施設への内立ち入りを制限しました。職員の体調管理については、入館時の検温、手洗い・うがいの励行、不織布マスクの着用を徹底しました。併せて施設共用部の消毒を定期的に行いました。期中での感染は、職員 1 名が家庭内感染しましたが、ご入居者の感染はありませんでした。ワクチン接種については、提携医療機関にて 6・7 月に 1・2 回目、3 月に 3 回目接種をご入居者・職員ともに滞りなく実施しました。

新型コロナウイルス感染状況（令和 3 年度）

ご入居者・ご利用者の 陽性数（人）	営業中止および、新規受け入れ中止日数			陽性職員数 （人）	自宅待機日数 （日）※1
	デイサービス 営業閉鎖日数 （日）	ショートステイ 営業閉鎖日数 （日）	保育園 休園日数 （日）		
0	0	0	0	1	2 3

※1 濃厚接触や幹部からの指示等、職員が新型コロナウイルス関連の理由で職務を休んだ延べ日数

3. 経営報告

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	86,146	78,855	7,291
前年度決算	72,372	80,246	△7,874
前年差	13,774	△1,391	15,165

情勢と取り組み

上半期において見学から契約・入居までの期間が長期化したことや、年末年始の4名のご逝去により、稼働率が目標を下回りました。人員配置については、パート職員に介護資格を持つ職員を配置し、本館の介護対応に備えることができたため人件費は前年より微増となりました。設備投資については、消防署指導に基づく非常灯の入替、厨房のスプリンクラー・火災報知器の増設、エレベーターのワイヤーロープ交換等を実施しました。また、西宮の補助金を利用して西館に陰圧装置を設置しました。

運営報告

◆苦情・要望

西館のご入居者よりホープヘルプの活動に対する苦情が2件発生しました。ともに一人対応の時間帯であり、コールへの対応の遅さを指摘されています。他のご入居者の介助中で対応が遅れたためで、事情説明とお詫びをさせていただき、コールの着信確認を徹底するよう改善し、了承いただいています。苦情や要望を減らすには日頃の信頼関係の構築が重要であり、日々の対応の積み重ねを指導しました。

◆事故・虐待防止

行政への報告は、本館居室で転倒され意識混濁で発見し、救急搬送した事例が1件でした。本館のご入居者については朝昼晩の3回の巡回であり、朝の巡回では異状なく、昼の巡回時に発見し対応しました。今後は巡回時により注意深く様子観察するよう指導しています。

4. 部門報告

4-1. サービス付き高齢者向け住宅 神港園レインボー酒蔵通

入居率は本館 87%、西館 98%、全館で 90%をキープしました。前年比は+5%となっています。今期においても新型コロナウイルス感染症の影響で各種イベントの中止や西館の面会・外出制限等、ご入居者のストレス増加につながりました。ご入居者の要望に応えるため、感染状況に応じて適宜、制限の緩和を行い、感染予防を実施しながら行動制限を最小限に抑えるよう尽力しました。また、定期的に「酒蔵

便り」を発刊し、施設の情報や職員の紹介、川柳の募集等を行っています。ご入居者からは高評価を頂いています。

提携医療機関、ホームヘルプ部門と連携して、西館で 2 名、本館で 1 名の看取りを行い、ご家族の要望にお応えすべく介助を行いました。ご入居者の疾患の重篤化に対応するためにホープヘルプに看護師を配置し、提携医療機関との連携強化に努めました。ご入居者の募集については、営業活動が制限されましたが、NET 系の紹介会社からの問い合わせが増え、感染症の影響は感じられませんでした。ご入居者へのサービス向上に向けて本館職員の介護職配置を進め、介護スキルの向上を図り、安全安心に暮らして頂けるよう取り組んで参ります。

5. 施設委員会・プロジェクト

名称	開催頻度	主な参加者
安全衛生委員会	月 1 回	幹部、職責者、担当職員
感染症対策会議	月 1 回	幹部、職責者、担当職員
スタッフ会議	月 1 回	幹部、職責者、担当職員
食事検討会	3 ヶ月ごと	職責者、担当職員
リーダー会議	月 1 回	幹部、職責者

6. 施設行事

月	行 事
4 月	
5 月	映画鑑賞会、食事レクリエーション
6 月	
7 月	川柳大会
8 月	
9 月	敬老会（食事レクリエーション）
10 月	映画鑑賞会、カラオケ、川柳大会
11 月	映画鑑賞会、カラオケ
12 月	映画鑑賞会、食事レクリエーション
1 月	食事レクリエーション
2 月	食事レクリエーション
3 月	防災訓練
随時	

【10】 医療事業部

医療部長(診療所所長) 岡本 龍

1. 事業報告

令和3年度は、医療事業部の立ち上げ初年度として、医療機能の水準向上と医療関連部会との連携関係の見直しによる新たな有益性の構築を目標に取り組む事としていたが、勤務医師の退職・採用が重なったために年度初めと終わりで体制が全く異なったものとなりました。

感染症の広がりがみられる中、診療体制の維持・確保に取り組むも、医師採用には時間を要し診療体制の低下した状態は下半期に及び、11月になって常勤医2名＋非常勤医7名（うち精神科医4名）の新たな体制がようやく定まりました。しかし、患者側からみれば短期間に担当医が数度入れ替わる異例の年となってしまいました。

新たな診療体制が定まったことにより、医療体制は大きく舵を切り、拠点別の医療強化と責任の分散による、診療体制の再構築を行いました。常勤医師の数が減り、非常勤医師による医療提供となったことから診療回数や処方回数を減じることとなり収益が減ったものの、新型コロナワクチン接種事業の推進により一定の収益確保ができました。

医療体制については今もって盤石の体制でなく、従来の常勤3名の医師体制と比して①時間外電話相談体制②死亡診断体制に難を抱えたままとなっています。医師の採用再配置を経て、各拠点別にこれらの課題をクリアできる新体制の定着は、今後の重要課題です。

2. 新型コロナウイルス感染症対策

事業としては、年度内に3回の予防接種を実施したことが大きいです。施設併設診療所としての社会的責任を全うできたことは喜ばしいことですが、通年には存在しない業務と医師および事務職員の入れ替わりが重なった面で、大きな負荷の集中が生じました。感染症蔓延防止対策として当診療所で先立ってワクチン接種の実施を実現できたことの意味は大きかったですが、診療体制の不安定な最中でのワクチン接種事業実施は、診療業務を停滞させた可能性があります。

世界的規模の異例な事態の最中、一時的な診療の停滞に関して患者家族からの理解を得ることはできましたが、この点は来年度以降に予想される4回目～定期接種化への道程の中で更なる工夫が必要と考えています。

5月にサニーライフ白川にて感染者が発生した際には、医師1名を常駐させましたが、まだ適切な対策が不明な時期でもあったため必ずしも有益な運用に繋げることができませんでした。今後は非常勤医師が複数在籍していること、拠点別医療へのシフトを念頭に拠点ごとの感染対策に各担当医が関わることで、適切な医療の提供に取り組めます。

入居者健診事業を各施設の感染対策の一環として、当診療所が承りました。各施設内感染対策に伴う業務負担のある中での事業実施ではありましたが、レントゲン技師・各施設看護師の協力の下、神戸拠点各施設を利用されている入居者全員の健診を完了することができました。但し、令和４年度以降については、新型コロナウイルス感染症の感染状況及び設備・コスト等を含め検討した結果、外部委託による入居者健診を再開する事といたします。

3. 経営報告

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	141,150	122,982	18,168
前年度決算	129,468	99,036	30,432
前年差	11,682	23,946	△12,264

情勢と取り組み

人員配置については、上半期、医師・事務職員の退職が続き、年度を通し不安定な体制での運営が続きました。その結果、医療事業収益としては、実質（コロナワクチン接種収益を除く）前年収益を大きく下回る結果になりました。

設備投資としては、事務処理の効率化とWEB診療への対応を目的に電子カルテ・電子請求システムの導入、更新を進めました。現状として、請求システムを先行して運用を開始しています。そして電子カルテについては令和４年度上期に各拠点へ順次導入するスケジュールとなっています。

診療所医療機器については、長期間使用により心電計・レントゲン機器の故障が見うけられ、今後の診療体制に応じて、必要な設備の更新について検討・計画を進めています。

【11】 しあわせの村保育園

本部長 高谷 明

1. 事業報告

令和3年度は5年目の運営に入り、運営委託事業者の変更に伴う業務フローの切り替え、委託先職員の多少の入れ代わり等、煩雑な4月からスタートしました。利用園児は前年度30名から、地域の認可園への転園等、転出があり19名からのスタートとなりました。例年、同程度の利用園児数から、0歳児、1歳児を中心に、期中での受け入れがあり、当年度も見込んでいましたが、例年に比べ期中の入園が少なく、また途中退園があり、3月末時点での利用園児は22名（0歳児7名、1歳児4名、2歳児5名、3歳児以上6名）に止まりました。下期以降、地域枠向けの訴求等、計画的に実施を行ってまいりましたが、特に下期は地域需要が落ち着く時期でもあり、利用園児の獲得効果は得られませんでした。

また委託事業所に対し、前年度の4月時点の園児数及び、期中に30名に至ったことに鑑み、令和3年度において前年と同様の人員配置（25名以上を保育できる人員）を求めたことで、主に人件費部分において委託料の高騰につながりました。配置された保育士に対し、利用園児の低調が長期にわたったため、特に上期に大きく赤字が膨らみ、途中、人員削減等の策を講じるも、大幅な改善には至りませんでした。コロナ影響における一時休園や利用自粛を含めて利用園児数の見込みが甘かったこと、保育士加配の抑制を上手く調整できなかったことが損失の要因であり、決定的な特効薬は見当たらないものの多面的な改善対応を進めています。

2. 新型コロナウイルス感染症対策

年度全体に亘り、コロナ禍における保育活動は大きく影響を受けることとなりました。第4四半期においては、職員・園児の発症に伴い、7日間の休園を行うなど対応に追われました。いずれも大きな感染拡大（クラスター）には至らず、感染された方も自宅療養、待機期間を経て順調に復職、利用再開となりました。保育活動においては外部との関わりの減少、家族参観の中止等、室内活動を中心に引き続き制限をしながらの保育となりました。一方で、周囲の感染状況に留意をしながら、「運動会」、「成長を祝う会（兼卒園イベント）」は予定通り行うことができました。

【感染症対策として実施した施策等】

①施設内への入室制限

- ◆保護者 玄関先での園児送迎を徹底
- ◆外部講師、ボランティア活動の中止
- ◆保護者行事の中止

②体調不良者の早期発見

- ◆検温管理の徹底（1日2回の検温を職員及び園児に対して実施）
- ◆隔離場所の確保及び、対応フローの徹底

③緊急事態宣言下での利用自粛要請

◆管理機関である保健所、児童育成協会及び周辺の実情に応じ、自宅保育を要請

新型コロナウイルス感染状況（令和３年度）

ご入居者・ご利用者の 陽性数（人）	営業中止および、新規受け入れ中止日数			陽性職員数 （人）	自宅待機日数 （日）※1
	デイサービス 営業閉鎖日数 （日）	ショートステイ 営業閉鎖日数 （日）	保育園 休園日数 （日）		
1	0	0	7	4	0

※1 濃厚接触や幹部からの指示等、職員が新型コロナウイルス関連の理由で職務を休んだ延べ日数

3. 経営報告

（千円）

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	40,259	57,388	△17,129
前年度決算	53,730	48,341	5,389
前年差	△13,471	9,047	△22,518

情勢と取り組み

先述の通り、園児数を過剰に見積もった保育士、調理士の人員配置を行ったため、大きな赤字計上となりました。その中で、赤字額縮小のため、期中に以下の収入の増加、支出の減少に取り組みました。

【取り組んだ主な施策】

◆北区区役所やしあわせの村内事業所 3 ヶ所を訪問し、園児入園可能のアピール

◆タウン誌に園児募集の広告を掲載

◆近隣の住宅地域へ保育園チラシのポスティング

→残念ながら直接入園には繋がりませんでしたが、問い合わせが増える等の効果は見られました。来期に向けて、運営委託業者に新たに営業担当要員を置いてもらい、下記の施策も進めていく中で、更なる園児の確保を図っていきます。

◆近隣の病院、企業へ保育園チラシの配布及び訪問

◆園内をバーチャルに紹介する等のホームページの充実

◆保育士の勤務時間数を削減

→また、支出を減らすために運営委託業者との交渉も重ねました。

◆調理員の勤務時間数を短縮

◆運営管理費の減額

→業務委託費の削減を行いました。園児確保のための広報活動と業務委託費の削減努力は来期も続け、また、出来る限り実状の園児数に合わせた人員配置に近づけることによって、今期のような大幅な赤字計上はしないよう取り組んでいきます。

【修繕に関して】

天井の照明の故障個所が増えたため、改修工事の検討を始めました。第4四半期での実施も検討しましたが、蔓延防止等重点措置の発令に加え、園内においても新型コロナウイルス感染症の発症があるなど落ち着かず、次年度の実施を考えています。

運営報告

◆苦情・要望

今年度は特にありませんでした。

◆事故・虐待防止

令和3年度も大きな事故なく、安全な保育運営を提供することができました。普段から保育士と保護者様との間でのコミュニケーションを取ることで安心してお預け頂ける環境が提供できると考えています。特に新型コロナウイルス感染症については、細やかな説明及び案内を実施し、休園等の対応においてもご理解を頂きながら実施することができました。また、虐待や不適切保育に係る事例もありませんでした。行き過ぎた指導を防ぐ職員教育に引き続き留意いたします。常に園児の安全とご家族の安心を第一に考え、より良い保育環境の提供を目指していきます。

【情勢】

野外での転倒や、園児同士の接触等により、ケガの報告は少なからずありました。いずれも大きな事故では無いものの、念のため通院を促すケースもあり、保育士側の見守り方には、より一層の工夫が必要と感じられました。

【対策】

園長が中心となり、発生情報の共有（ヒヤリ・ハット含）を定例的にを行い、都度留意点の確認を行います。開園以降、大事故、大けがはないものの、これに甘えることなく、個々人のスキルアップを目指します。

4. 部門報告

4-1.しあわせの村保育園

コロナ禍における活動自粛の影響は大きくあったものの、必要以上の活動制限は設けず、主に野外での活動を中心に、可能な限りの日常を送れるよう保育サービスを行いました。とりわけ野外での体操教室は園児の自発性を促すことに注力しながら「楽しく、安全に」活動ができました。一方で、リズム教室については、屋内での活動であるため中止とせざるを得ない状況が続き、また、講師の変更に伴い教育的要素がより強くなり、園として求める活動趣旨にズレが生じる結果となりました。

令和 4 年度からは野外での活動が中心の体操教室を週 1 回に増加し、リトミック教室専門講師を置かず、各活動の中で音楽を積極的に取り入れながら園児の発育支援を行っていきます。

5. 施設行事

月	行 事
4 月	入園の会 ※中止 個別説明に切り替え
5 月	こどもの日イベント
6 月	個人懇談 （保育参観→中止）
7 月	七夕イベント 水遊びスタート
8 月	涼み会
9 月	十五夜イベント 秋の遠足
10 月	運動会 ※保護者参加型で実施 ・ハロウィン
11 月	個人面談 （保育参観→中止）
12 月	クリスマス会
1 月	お正月イベント
2 月	節分イベント
3 月	成長を祝う会（卒園イベント） ※保護者参加型で実施
随時	

令和3年度
(2021)

事業報告書

(資料集)

【資料①施設入所関係】

1.特別養護老人ホーム(1日あたり平均ご入居人数)

1日あたり 平均入居人数	シルビアホーム			あわせの家			サニーライフ白川			いこいの家			法人全体		
	100		令和2年度 人数	100		令和2年度 人数	50		令和2年度 人数	50		令和2年度 人数	300		令和2年度 人数
	定員	構成率		定員	構成率		定員	構成率		定員	構成率		定員	構成率	
	人数	構成率	人数	人数	構成率	人数	人数	構成率	人数	人数	構成率	人数	人数	構成率	人数
要介護1	0.0	0.0%	0.0	0.0	0.0%	0.0	0.0	0.0%	0.0	0.0	0.0%	0.0	0.0	0.0%	0.0
要介護2	1.0	1.0%	1.0	1.3	1.4%	1.0	0.6	1.1%	1.9	3.9%	0.0%	0.0	2.9	1.0%	3.9
要介護3	12.0	12.2%	15.3	23.1	23.5%	29.0	9.9	20.1%	7.3	14.9%	22.7%	13.1	56.1	19.0%	64.7
要介護4	44.9	45.7%	42.4	25.0	25.4%	22.0	18.7	37.9%	20.3	41.4%	38.4%	21.3	107.4	36.4%	106.0
要介護5	40.4	41.1%	39.9	48.4	49.3%	46.0	20.1	40.7%	19.5	39.8%	38.9%	15.4	128.0	43.4%	120.8
その他	0.0	0.0%		0.4	0.4%		0.1	0.2%			0.0%		0.5	0.2%	
合計(前年比)	98.3	(99.6%)	98.6	98.2	(100.2%)	98.0	49.3	(100.6%)	49.0		(98.6%)	49.8	294.9	(99.8%)	295.4
平均介護度	4.3		4.2	4.2		4.2	4.2		4.2	4.2		4.0	4.2		4.2
稼働率	98.3%		98.6%	98.2%		98.0%	98.6%		98.0%	98.2%		99.6%	98.3%		98.5%

2.養護老人ホーム・ケアハウス・グループホーム(1日あたり平均ご入居人数)

1日あたり 平均入居人数	養護老人ホーム			ケアハウスさん舞子			グループホーム・レインボー西宮			法人全体		
	50		令和2年度 人数	80		令和2年度 人数	18		令和2年度 人数	148		令和2年度 人数
	定員	構成率		定員	構成率		定員	構成率		定員	構成率	
	人数	構成率	人数	人数	構成率	人数	人数	構成率	人数	人数	構成率	人数
自立	16.4	34.5%	16.9	0.0	0.0%	0.0	0.0	0.0%	0.0	16.4	11.8%	16.9
要支援1	1.0	2.0%	0.8	6.6	8.8%	6.8	0.0	0.0%	0.0	7.6	5.4%	7.6
要支援2	2.5	5.2%	1.8	6.5	8.6%	9.2	0.0	0.0%	0.0	9.0	6.4%	11.0
要介護1	4.7	9.9%	2.8	18.2	24.3%	21.7	4.0	24.1%	3.6	27.0	19.4%	28.1
要介護2	6.3	13.3%	7.0	12.5	16.6%	12.0	5.5	32.6%	5.2	24.3	17.4%	24.2
要介護3	12.3	25.9%	15.0	9.1	12.1%	9.8	3.0	18.1%	2.7	24.5	17.5%	27.5
要介護4	4.1	8.6%	4.6	12.9	17.2%	8.0	3.0	17.9%	3.4	20.0	14.3%	16.0
要介護5	0.3	0.6%	0.0	8.8	11.7%	7.4	1.2	7.3%	1.4	10.3	7.4%	8.8
その他	0.0	0.0%		0.5	0.7%		0.0	0.0%		0.5	0.4%	
合計(前年比)	47.6	(97.3%)	48.9	75.1	(100.3%)	74.9	16.8	(102.8%)	16.3	139.5	(99.6%)	140.1
平均介護度	1.5		1.7	2.3		2.0	2.5		2.6	2.1		2.0
稼働率	95.2%		97.8%	93.9%		93.6%	93.1%		90.6%	94.3%		94.7%

※「その他」：事業対象者および、認定結果待ちのため保留となった方の人数(令和2年度は集計対象でなかったため斜線としております)

3.入退居及び在園状況(全期間累計)

全期間累計	養護			シルビアホーム			しあわせの家			サニーライフ白川			さん舞子		
	50			100			100			50			80		
	事業所名	定員	令和3年度 人数	令和3年度 構成率	令和2年度 人数	令和2年度 構成率	事業所名	定員	令和3年度 人数	令和3年度 構成率	令和2年度 人数	令和2年度 構成率	事業所名	定員	令和3年度 人数
新入居	在宅	5	50.0%	3	33.4%	21	53.9%	17	60.8%	9	37.5%	10	66.7%	6	50.0%
	病院	3	30.0%	4	44.4%	9	23.1%	2	7.1%	7	29.2%	4	11.8%	1	5.9%
	他施設	2	20.0%	2	22.2%	9	23.1%	9	32.1%	8	33.3%	20	58.8%	1	5.9%
	合計(前年比)	10人	(111.1%)	9人		39人	(139.2%)	28人		24人	(70.5%)	34人		17人	(113.3%)
退居	在宅	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	病院	3	33.3%	4	40.0%	12	30.8%	9	31.0%	8	34.8%	1	2.9%	2	20.0%
	他施設	2	22.2%	4	40.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	10	29.4%	0	0.0%
	死亡	4	44.4%	2	20.0%	26	66.7%	20	69.0%	15	65.3%	23	67.6%	13	86.7%
合計(前年比)	9人	(90.0%)	10人		39人	(134.4%)	29人		23人	(67.6%)	34人		15人	(100.0%)	15人
退去者の平均在園年数	6.3			3.6			2.7			2.8			4.2		
累計在園数	17,375			17,860			35,861			35,971			36,377		
			6.3			2.7			2.8			3.5			3.4
			17,375			17,860			35,861			35,971			17,955
			27,234			17,911			27,234			5.4			27,387

全期間累計	いこいの家			サン舞子マンション			レインポー西宮			レインポー酒蔵通			法人全体		
	50			3			18			50			501		
	事業所名	定員	令和3年度 人数	令和3年度 構成率	令和2年度 人数	令和2年度 構成率	事業所名	定員	令和3年度 人数	令和3年度 構成率	令和2年度 人数	令和2年度 構成率	事業所名	定員	令和3年度 人数
新入居	在宅	5	71.4%	10	83.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	1	50.0%	10	83.3%
	病院	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	1	50.0%	1	8.3%
	他施設	2	28.6%	2	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	1	8.3%
	合計(前年比)	7人	(58.3%)	12人		0人		0人		5人	(250.0%)	2人		12人	(85.7%)
退居	在宅	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	2	16.7%
	病院	3	50.0%	5	45.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%
	他施設	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	3	25.0%
	死亡	3	50.0%	6	54.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%	3	75.0%	7	58.3%
合計(前年比)	6人	(54.5%)	11人		0人		4人	(100.0%)	4人		12人	(200.0%)	6人	118人	(98.3%)
退去者の平均在園年数	2.3			3.2			0.0			0.0			3.4		
累計在園数	17,971			18,177			1,095			1,098			6,144		
			17,971			18,177			1,095			1,098			16,720
			176,031			15,634			176,031			176,559			3.7

4.在園期間(3月末時点の在園ご利用者数)

3月未時点の 在園期間	養護			シルビアホーム			しあわせの家			サニーライフ白川			さん舞子		
	事業所名			事業所名			事業所名			事業所名			事業所名		
	定員	50		定員	100		定員	100		定員	50		定員	80	
	女	男	構成率	女	男	構成率	女	男	構成率	女	男	構成率	女	男	構成率
1年未満	4	6	20.0%	26	6	32.3%	23	5	28.6%	12	2	28.0%	10	1	14.1%
1－4年	12	8	40.0%	36	5	41.4%	43	3	46.9%	24	2	52.0%	34	4	48.7%
5－9年	10	2	24.0%	19	3	22.2%	20	0	20.4%	8	0	16.0%	25	1	33.3%
10年以上	6	2	16.0%	3	1	4.0%	4	0	4.1%	2	0	4.0%	3	0	3.8%
合計(男女合計)	32人	18人	50人	84人	15人	99人	90人	8人	98人	46人	4人	50人	72人	6人	78人

3月未時点の 在園期間	事業所名		いいいの家		サン舞子マンション		事業所名		レインボー西宮		事業所名		レインボー酒蔵通		法人全体		
	定員	50	男	構成率	女	男	構成率	定員	18	男	構成率	定員	50	男	構成率	定員	501
	女	男	構成率	女	男	構成率	女	男	構成率	女	男	構成率	女	男	構成率	女	男
1年未満	6	0	12.0%	0	0	0.0%	2	3	27.8%	4	6	21.7%	87	29	23.6%		
1－4年	24	5	58.0%	0	0	0.0%	6	2	44.4%	20	7	58.7%	199	36	47.8%		
5－9年	13	2	30.0%	0	0	0.0%	5	0	27.8%	7	0	15.2%	107	8	23.4%		
10年以上	0	0	0.0%	3	0	100.0%	0	0	0.0%	2	0	4.3%	23	3	5.3%		
合計(男女合計)	43人	7人	50人	3人	0人	3人	13人	5人	18人	33人	13人	46人	416人	76人	492人		

5.年齢状況(3月末時点の在籍ご利用者数)

3月末時点の 在籍者数	養護			シルビアホーム			しあわせの家			サニーライフ白川			さん舞子		
	50			100			100			50			80		
	令和3年度			令和3年度			令和3年度			令和3年度			令和3年度		
	定員 人数	構成率	人数	定員 人数	構成率	人数	定員 人数	構成率	人数	定員 人数	構成率	人数	定員 人数	構成率	人数
～59	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0
60～69	1	2.0%	1	0	0.0%	0	1	1.0%	1	1	2.0%	0	0	0.0%	0
70～79	12	24.0%	15	10	10.1%	7	8	8.1%	11	5	10.0%	2	0	0.0%	1
80～89	28	56.0%	22	47	47.4%	50	41	41.8%	42	22	44.0%	25	25	32.0%	30
90～99	9	18.0%	10	41	41.4%	43	45	45.9%	41	20	40.0%	19	46	58.9%	40
100～	0	0.0%	1	1	1.0%	0	3	3.0%	3	2	4.0%	3	7	8.9%	6
合計	50人		49人	99人		100人	98人		98人	50人		49人	78人		77人
平均年齢	83歳		84歳	88歳		88歳	89歳		88歳	88歳		89歳	92歳		92歳
最年長	97歳		100歳	101歳		99歳	102歳		102歳	104歳		103歳	103歳		102歳
最年少	69歳		68歳	70歳		73歳	65歳		64歳	67歳		75歳	81歳		79歳
ご入院中	1人		1人	2人		2人	1人		1人	0人		0人	0人		0人

3月末時点の 在籍者数	いにいの家			サン舞子マンション			レインボ-西宮			レインボ-酒蔵通			法人全体		
	50			3			18			50			501		
	令和3年度			令和3年度			令和3年度			令和3年度			令和3年度		
	定員 人数	構成率	人数	定員 人数	構成率	人数	定員 人数	構成率	人数	定員 人数	構成率	人数	定員 人数	構成率	人数
～59	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0
60～69	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	1	2.1%	1	4	0.8%	3
70～79	5	10.0%	7	0	0.0%	0	0	0.0%	1	8	17.3%	12	48	9.7%	56
80～89	25	50.0%	26	2	66.6%	2	9	50.0%	9	27	58.6%	19	226	45.9%	225
90～99	20	40.0%	17	1	33.3%	1	9	50.0%	8	10	21.7%	14	201	40.8%	193
100～	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	13	2.6%	13
合計	50人		50人	3人		3人	18人		18人	46人		46人	492人		490人
平均年齢	87歳		86歳	91歳		90歳	90歳		87歳	85歳		84歳	88歳		88歳
最年長	98歳		97歳	97歳		96歳	98歳		98歳	99歳		98歳	104歳		103歳
最年少	74歳		73歳	86歳		85歳	81歳		76歳	64歳		63歳	64歳		63歳
ご入院中	1人		1人	0人		0人	1人		0人	1人		0人	7人		5人

6.生活動作状況(3月末時点のご利用者の状況)

3月末時点の状況		養護		シルバーホーム		しあわせの家		サニーライフ白川		さん舞子		いこいの家		サン舞子マンション		レインボー西宮		レインボー酒蔵通		法人全体	
		定員	50 構成率	定員	100 構成率	定員	100 構成率	定員	50 構成率	定員	80 構成率	定員	50 構成率	定員	3 構成率	定員	18 構成率	定員	50 構成率	定員	501 構成率
移動	自立	26	52.0%	18	18.1%	8	8.1%	5	10.0%	35	44.8%	8	16.0%	3	100.0%	3	16.6%	40	86.9%	146	29.6%
	一部介助	24	48.0%	28	28.2%	29	29.5%	7	14.0%	21	26.9%	20	40.0%	0	0.0%	12	66.6%	1	2.1%	142	28.8%
	全介助	0	0.0%	53	53.5%	61	62.2%	38	76.0%	22	28.2%	22	44.0%	0	0.0%	3	16.6%	5	10.8%	204	41.4%
	合計	50		99		98		50		78		50		3		18		46		492	
食事状況	自立	48	96.0%	51	51.5%	26	26.5%	23	46.0%	64	82.0%	20	40.0%	3	100.0%	11	61.1%	44	95.6%	290	58.9%
	一部介助	2	4.0%	28	28.2%	25	25.5%	15	30.0%	6	7.6%	16	32.0%	0	0.0%	3	16.6%	2	4.3%	97	19.7%
	全介助	0	0.0%	20	20.2%	47	47.9%	12	24.0%	8	10.2%	14	28.0%	0	0.0%	4	22.2%	0	0.0%	105	21.3%
	合計	50		99		98		50		78		50		3		18		46		492	
着脱衣	自立	28	56.0%	4	4.0%	7	7.1%	2	4.0%	27	34.6%	1	2.0%	3	100.0%	5	27.7%	39	84.7%	116	23.5%
	一部介助	22	44.0%	47	47.4%	38	38.7%	15	30.0%	32	41.0%	22	44.0%	0	0.0%	10	55.5%	4	8.6%	190	38.6%
	全介助	0	0.0%	48	48.4%	53	54.0%	33	66.0%	19	24.3%	27	54.0%	0	0.0%	3	16.6%	3	6.5%	186	37.8%
	合計	50		99		98		50		78		50		3		18		46		492	
入浴	自立	20	40.0%	3	3.0%	4	4.0%	2	4.0%	14	17.9%	0	0.0%	2	66.6%	1	5.5%	30	65.2%	76	15.4%
	一部介助	30	60.0%	42	42.4%	24	24.4%	11	22.0%	34	43.5%	10	20.0%	1	33.3%	14	77.7%	10	21.7%	176	35.7%
	全介助	0	0.0%	54	54.5%	70	71.4%	37	74.0%	30	38.4%	40	80.0%	0	0.0%	3	16.6%	6	13.0%	240	48.7%
	合計	50		99		98		50		78		50		3		18		46		492	
排泄	自立	32	64.0%	4	4.0%	8	8.1%	2	4.0%	32	41.0%	3	6.0%	3	100.0%	1	5.5%	37	80.4%	122	24.7%
	一部介助	18	36.0%	41	41.4%	28	28.5%	7	14.0%	18	23.0%	22	44.0%	0	0.0%	14	77.7%	5	10.8%	153	31.0%
	全介助	0	0.0%	54	54.5%	62	63.2%	41	82.0%	28	35.8%	25	50.0%	0	0.0%	3	16.6%	4	8.6%	217	44.1%
	合計	50		99		98		50		78		50		3		18		46		492	
	自立	17	34.0%	3	3.0%	14	14.2%	1	2.0%	29	37.1%	1	2.0%	3	100.0%	1	5.5%	37	80.4%	106	21.5%
	一部介助	33	66.0%	17	17.1%	14	14.2%	4	8.0%	21	26.9%	11	22.0%	0	0.0%	11	61.1%	5	10.8%	116	23.5%
	全介助	0	0.0%	79	79.7%	70	71.4%	45	90.0%	28	35.8%	38	76.0%	0	0.0%	6	33.3%	4	8.6%	270	54.8%
	合計	50		99		98		50		78		50		3		18		46		492	

【資料②ショートステイ関係】

短期入所生活介護(1日あたり平均ご利用人数)

	シルビアホーム			しあわせの家			サニーライフ白川			さん舞子			法人全体		
	事業所名	22		21		事業所名	20		事業所名	22		事業所名	85		
	定員					定員			定員			定員			
	令和3年度 人数	令和3年度 構成率	令和2年度 人数	令和2年度 構成率	令和3年度 人数	令和3年度 構成率	令和2年度 人数	令和2年度 構成率	令和3年度 人数	令和3年度 構成率	令和2年度 人数	令和2年度 構成率	令和3年度 人数	令和3年度 構成率	令和2年度 人数
要支援 1	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.1	0.2%	0.1	0.4%	0.3	1.2%	0.4	0.3%	0.4
要支援 2	0.2	0.8%	0.4	1.8%	0.0	0.0%	1.3	6.1%	0.9	4.2%	0.9	3.8%	2.4	2.6%	2.1
要介護 1	2.4	11.2%	3.1	14.1%	2.6	11.1%	2.7	12.9%	2.9	13.7%	3.3	14.5%	11.1	12.4%	10.5
要介護 2	2.8	12.9%	4.4	19.8%	3.3	14.0%	5.7	26.9%	7.2	34.1%	3.5	15.2%	15.3	17.1%	19.7
要介護 3	7.2	33.0%	8.5	38.5%	12.0	51.0%	7.2	34.1%	4.9	23.2%	8.2	35.8%	34.6	38.7%	31.8
要介護 4	5.9	27.2%	2.0	9.1%	4.2	17.7%	2.2	10.2%	2.7	12.7%	5.0	21.9%	17.3	19.3%	14.3
要介護 5	3.2	14.6%	3.6	16.4%	0.9	3.6%	1.9	8.8%	2.4	11.3%	1.5	6.7%	7.5	8.3%	8.7
その他	0.0	0.0%			0.5	2.2%	0.1	0.4%			0.1	0.5%	0.8	0.8%	
合計(前年比)	21.7	(98.2%)	22.1		23.5	(99.8%)	21.2	(100.6%)	21.1		22.8	(109.2%)	89.3	(101.8%)	87.6
平均介護度	3.2		2.9		2.8		2.6		2.6		2.8		2.8		2.8
稼働率	98.7%		100.5%		111.7%		106.2%		105.5%		103.7%		105.0%		103.0%
延べ利用者数(前年比)	7,930	(98.2%)	8,072		8,564	(99.9%)	7,754	(99.9%)	7,760		8,332	(109.2%)	32,580	(101.7%)	32,029
新規利用者	60人		57人		56人		49人		66人		39人		204人		239人

※シルビアホームのショートステイの定員については、令和3年9月末までは20名、10月1日より22名に増員(稼働率は通年22名で計算)

※新規利用者は全期間の累計(令和2年度は集計対象でなかったため斜線としております)

※「その他」：事業対象者および、認定結果待ちのため保留となった方の人数(令和2年度は集計対象でなかったため斜線としております)

【資料③サービス関係】

1.一般、認知症対応型および地域密着型サービス(1日あたり平均ご利用人数)

1日あたり 平均利用人数	シルビアホーム				しあわせの家				しあわせの家(西鈴)				サニースライフ白川				さん舞子			
	一般型				認知症対応型				地域密着型				一般型				一般型			
	令和3年度				令和2年度				令和3年度				令和3年度				令和3年度			
	定員	18	18	18	定員	18	18	18	定員	18	18	18	定員	18	18	18	定員	18	18	18
稼働日数																				
稼働日数	令和3年度				令和2年度				令和3年度				令和3年度				令和3年度			
	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率
要支援1	0.5	1.8%	0.6	2.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.2	1.9%	0.6	7.2%	0.5	1.8%	0.4	1.4%	2.0	7.2%	2.0	7.3%
要支援2	3.0	9.6%	2.6	8.6%	0.0	0.1%	0.0	0.0%	2.0	24.3%	2.2	26.5%	1.4	5.1%	1.5	5.4%	4.1	14.7%	4.9	17.9%
要介護1	11.2	36.1%	8.4	27.6%	8.3	33.4%	6.3	23.9%	4.2	52.3%	3.8	45.8%	12.1	44.9%	11.5	41.7%	14.5	51.4%	12.3	45.1%
要介護2	7.6	24.4%	9.1	30.0%	6.3	25.1%	8.3	31.4%	0.7	9.2%	1.2	14.5%	8.1	30.1%	9.4	34.1%	3.4	12.2%	5.5	20.1%
要介護3	6.1	19.6%	6.7	22.0%	7.3	29.3%	7.8	29.5%	0.5	6.7%	0.3	3.6%	3.7	13.8%	3.3	12.0%	1.7	6.2%	1.1	4.0%
要介護4	1.6	5.0%	1.5	5.1%	1.9	7.7%	2.8	10.6%	0.0	0.5%	0.1	1.2%	0.7	2.7%	0.6	2.2%	1.5	5.4%	1.0	3.7%
要介護5	1.0	3.2%	1.4	4.7%	0.9	3.6%	1.2	4.5%	0.2	1.9%	0.1	1.2%	0.4	1.5%	0.9	3.3%	0.7	2.3%	0.5	1.8%
その他	0.1	0.4%			0.2	0.8%			0.3	3.2%			0.0	0.1%			0.1	0.4%		
合計(前年比)	31.0	(102.2%)	30.3		24.9	(94.4%)	26.4		8.0	(96.6%)	8.3		26.9	(97.4%)	27.6		28.2	(103.1%)	27.3	
平均介護度	1.8		2.0		2.2		2.4		1.1		1.1		1.7		1.7		1.4		1.3	
稼働率	68.8%		75.7%		69.3%		73.3%		66.9%		69.2%		59.8%		61.3%		80.5%		78.0%	
延べ利用者数(前年比)	9,632	(102.3%)	9,418		7,741	(94.6%)	8,185		2,502	(98.1%)	2,550		8,156	(94.6%)	8,619		8,710	(102.9%)	8,466	
新規利用者	31人		31人		41人		27人		9人		5人		34人		35人		35人		23人	

2.放課後等サービス(1日あたり平均ご利用人数)

1日あたり 平均利用人数	レインボー西宮				レインボー西宮			
	地域密着型				放課後等サービス			
	令和3年度				令和3年度			
	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率
小学生1～3年	2.1		2.1		2.1	30.8%	2.6	52.0%
小学生3～6年	4.4		4.4		4.4	63.1%	2.1	42.0%
中学生	0.3		0.3		0.3	4.1%	0.1	2.0%
高校生	0.1		0.1		0.1	1.9%	0.2	4.0%
合計(前年比)	6.9		6.9		6.9	(138.6%)	5.0	
稼働率	69.3%		69.3%		69.3%		50.0%	
新規利用者	5人		5人		5人			

※新規利用者は全期間の累計

(令和2年度は集計対象でなかったため斜線としております)

1日あたり 平均利用人数	レインボー西宮				レインボー西宮				法人全体			
	地域密着型				認知症対応型				令和3年度			
	令和3年度				令和3年度				令和3年度			
	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率
要支援1	0.2	1.4%	0.1	1.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	3.4	2.4%	3.7	2.7%
要支援2	1.1	9.8%	1.2	12.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	11.5	8.4%	12.4	9.1%
要介護1	3.1	27.9%	2.3	23.0%	0.1	1.3%	0.3	4.6%	53.4	38.7%	44.9	32.9%
要介護2	2.2	19.8%	0.9	9.0%	2.6	32.8%	3.0	46.2%	30.9	22.4%	37.4	27.4%
要介護3	2.0	17.9%	2.0	20.0%	2.5	32.1%	1.5	23.1%	23.9	17.3%	22.7	16.6%
要介護4	2.0	18.1%	2.7	27.0%	1.2	15.1%	0.5	7.7%	9.0	6.5%	9.2	6.8%
要介護5	0.5	4.9%	0.8	8.0%	1.5	18.8%	1.2	18.5%	5.2	3.7%	6.1	4.5%
その他	0.0	0.1%			0.0	0.0%			0.7	0.5%		
合計(前年比)	11.1	(110.7%)	10.0		7.8	(120.6%)	6.5		137.9	(101.1%)	136.4	
平均介護度	2.2		2.5		3.2		2.9		1.8		1.9	
稼働率	61.5%		55.6%		65.3%		54.2%		67.9%		67.2%	
延べ利用者数(前年比)	3,422	(112.2%)	3,049		2,423	(125.9%)	1,924		42,586	(100.9%)	42,211	
新規利用者	10人		12人		14人		9人		174人		142人	

※新規利用者は全期間の累計(令和2年度は集計対象でなかったため斜線としております)

※「その他」：事業対象者および、認定結果待ちのため保留となった方の人数(令和2年度は集計対象でなかったため斜線としております)

【資料④ホームヘルプ関係】

ホームヘルプ利用回数(1月あたり平均ご利用回数)

1月あたり 平均利用回数	事業所名	養護				事業所名	しあわせの家				事業所名	サニーライフ白川			
	令和3年度	令和2年度		回数	構成率	令和3年度	令和2年度		回数	構成率	令和3年度	令和2年度		回数	構成率
	回数	構成率	回数			回数	構成率	回数	構成率		回数	構成率	回数	構成率	
介護保険	1,352	75.1%	1,554	76.5%	565	58.2%	575	55.7%	855	58.5%	841	59.1%			
身体介護	1,202		1,442		159		165		517		536				
身体生活	76		50		142		135		75		104				
生活援助	74		62		264		274		263		201				
総合事業	147	8.1%	145	7.1%	394	40.6%	442	42.9%	563	38.5%	537	37.7%			
障害支援	288	15.9%	311	15.3%	0	0.0%	0	0.0%	19	1.3%	17	1.2%			
身体介護	164		214		0		0		2		0				
生活援助	124		97		0		0		17		17				
重度支援費	0		0		0		0		0		0				
移動支援	0		0		0		0		0		0				
神戸市受託事業	4	0.2%	6	0.2%	2	0.2%	0	0.0%	13	0.8%	15	1.0%			
みまもりヘルパー	1		0		2		0		7		9				
産後ヘルパー	3		2		0		0		5		4				
養育ヘルパー	0		4		0		0		1		2				
介護保険外サービス	9	0.4%	13	0.6%	8	0.8%	13	1.2%	10	0.6%	11	0.8%			
合計(前年比)	1,800 (88.7%)		2,029		969 (94.0%)		1,030		1,460 (102.7%)		1,421				
新規利用者	40				30				72						

1月あたり 平均利用回数	事業所名	さん舞子				事業所名	レインボー西宮				法人全体			
	令和3年度		令和2年度		令和3年度		令和2年度		令和3年度		令和2年度			
	回数	構成率	回数	構成率	回数	構成率	回数	構成率	回数	構成率	回数	構成率		
介護保険	687	56.2%	727	56.6%	732	100.0%	521	97.5%	4,192	67.8%	4,217	66.9%		
	身体介護	186		205		496		304		2,560		2,651		
	身体生活	176		162		68		75		537		527		
	生活援助	325		360		168		143		1,094		1,040		
総合事業	461	37.8%	502	39.1%	0	0.0%	6	1.1%	1,565	25.3%	1,632	25.9%		
障害支援	32	2.6%	15	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	339	5.5%	344	5.4%		
	身体介護	28		11		0		0		193		225		
	生活援助	4		4		0		0		145		118		
	重度支援費	0		0		0		0		0		0		
	移動支援	0		0		0		0		0		0		
神戸市受託事業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	19	0.3%	21	0.3%		
	みまもりヘルパー	0		0		0		0		10		9		
	産後ヘルパー	0		0		0		0		8		6		
	養育ヘルパー	0		0		0		0		1		6		
介護保険外サービス	42	3.4%	38	2.9%	0	0.0%	7	1.3%	68	1.1%	83	1.3%		
合計(前年比)	1,221	(95.2%)	1,282		732	(136.9%)	535		6,183	(98.1%)	6,297			
新規利用者	29				5				176					

※新規利用者は全期間の累計(令和2年度は集計対象でなかったため斜線としております)

【資料⑤居宅介護支援事業所関係】

1. 居宅介護支援利用状況(1月あたり平均件数)

1月あたり平均件数	シルビアケアアブランセンター			西鈴蘭台ケアアブランセンター			白川ケアアブランセンター			舞子ケアアブランセンター			レインボー西宮		
	令和3年度		人数	令和2年度		人数	令和3年度		人数	令和2年度		人数	令和3年度		人数
	人数	構成率		人数	構成率		人数	構成率		人数	構成率		人数	構成率	
要支援合計	28.2	8.6%	0.5	21.4	3.9%	18.8	5.2	1.1%	3.3	15.0	3.3%	18.9	16.9	17.0%	13.5
要支援 1	7.2	2.2%	0.0	7.7	1.4%	5.8	0.8	0.2%	1.3	7.8	1.7%	7.6	6.9	6.9%	3.9
要支援 2	21.0	6.4%	0.5	13.8	2.5%	13.0	4.4	0.9%	2.0	7.3	1.6%	11.3	10.0	10.0%	9.6
要介護合計	149.5	91.4%	155.0	263.5	95.7%	260.6	230.5	98.9%	246.1	217.8	96.7%	215.6	41.4	83.0%	41.9
要介護 1	20.3	12.4%	35.1	85.9	31.2%	84.3	89.9	38.6%	88.8	111.0	49.3%	110.9	13.2	26.4%	16.8
要介護 2	49.5	30.3%	46.8	85.8	31.2%	94.8	61.9	26.6%	77.5	50.1	22.2%	53.5	9.3	18.7%	6.6
要介護 3	37.6	23.0%	40.8	47.5	17.3%	42.5	36.9	15.8%	41.9	27.2	12.1%	21.5	8.8	17.7%	12.8
要介護 4	28.8	17.6%	19.3	26.1	9.5%	20.7	27.7	11.9%	23.6	22.6	10.0%	20.8	7.1	14.2%	3.9
要介護 5	13.3	8.2%	13.0	18.3	6.6%	18.3	14.1	6.0%	14.3	7.0	3.1%	8.9	3.0	6.0%	1.8
合計(前年比)	163.6	(105.4%)	155.3	275.2	(101.9%)	270.0	233.1	(94.1%)	247.8	225.3	(100.1%)	225.1	49.9	(102.5%)	48.7
総合事業	0	-		2	0.4%		0	-		0	-		0	-	
平均介護度	2.6		2.5	2.2		2.2	2.2		2.2	1.9		1.9	2.2		2.0

※予防および総合事業の1月当たり平均件数は、2件で1件分のカウントとする

※総合事業の件数については、令和2年度は集計対象でなかったため斜線としております

2. 要介護認定調査件数状況(全期間累計件数)

全期間における累計件数	シルビアケアアブランセンター			西鈴蘭台ケアアブランセンター			白川ケアアブランセンター			舞子ケアアブランセンター			レインボー西宮		
	令和3年度		件数	令和2年度		件数	令和3年度		件数	令和2年度		件数	令和3年度		件数
	件数	前年比		件数	前年比		件数	前年比		件数	前年比		件数	前年比	
①申請代行	99	167.7%	59	197	145.9%	135	141	129.3%	109	146	146.0%	100	54	142.0%	38
②認定調査	304	124.5%	244	563	145.4%	387	680	148.7%	457	680	122.3%	556	0	-	0
神戸市内	265	114.7%	231	558	144.9%	385	674	147.8%	456	674	121.6%	554	0	-	0
神戸市以外	39	300.0%	13	5	250.0%	2	6	600.0%	1	6	300.0%	2	0	-	0

※月平均の件数(居宅契約新規)

	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
新規契約数	5.7	4.4	8.4	7.1	9.0	9.1	9.0	7.0	1.3	1.9

3. 職員配置状況および、一人あたり月平均件数

人員配置と月間件数	シルビアケアアブランセンター			西鈴蘭台ケアアブランセンター			白川ケアアブランセンター			舞子ケアアブランセンター			レインボー西宮		
	令和3年度		人数	令和2年度		人数	令和3年度		人数	令和2年度		人数	令和3年度		人数
	人数	構成率		人数	構成率		人数	構成率		人数	構成率		人数	構成率	
職員配置数	6.0		5.3	8.4		8.3	7.9		7.6	8.4		7.4	1.4		2.0
一人当たり件数	29.2件	31.2件	35.6件	35.1件	33.3件	35.2件	30.0件	34.0件	22.2件	21.0		21.0	22.2件		21.0
介護	24.8	29.2	31.4	31.4	29.4	32.4	25.8	29.1	21.0	29.6		29.6	6.0		1.3
※予防	2.3	0.0	1.8	1.8	0.3	0.3	0.9	1.8	0.0	3.1		3.1	0.0		0.0
※認定調査	2.1	1.9	1.9	1.9	3.6	2.5	3.4	3.1	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0
※総合事業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0

※職員配置数は常勤換算

※予防、認定調査および総合事業の職員一人当たり件数は、2件で1件分のカウントとする

【資料⑥あんしんすこやかセンター関係】

1.相談受付(1月あたり平均件数)

1月あたり平均件数	神出あんしんすこやかセンター			五葉あんしんすこやかセンター			白川あんしんすこやかセンター			舞子あんしんすこやかセンター			法人全体		
	令和3年度	前年比	令和2年度	令和3年度	前年比	令和2年度	令和3年度	前年比	令和2年度	令和3年度	前年比	令和2年度	令和3年度	前年比	令和2年度
介護予防	7.0	102.5%	6.8	14.1	95.6%	14.8	36.6	129.1%	28.3	22.9	49.9%	45.9	80.6	84.1%	95.8
総合相談	25.5	105.9%	24.1	137.3	130.8%	105.0	127.6	148.5%	85.9	115.8	135.4%	85.5	406.2	135.2%	300.5
権利擁護	1.5	36.0%	4.2	7.1	32.3%	22.0	2.3	39.7%	5.8	5.9	196.7%	3.0	16.8	48.0%	35.0
その他	10.2	33.9%	30.1	31.0	47.1%	65.8	3.1	13.9%	22.3	38.5	246.8%	15.6	82.8	61.9%	133.8
申請代行	13.0	97.0%	13.4	42.5	114.2%	37.2	44.0	108.9%	40.4	19.7	79.4%	24.8	119.2	102.9%	115.8
合計	57.2	72.8%	78.6	232.0	94.8%	244.8	213.6	116.9%	182.7	202.8	116.0%	174.8	705.6	103.6%	680.9

2.介護予防支援(1月あたり平均件数)

1月あたり平均件数	神出あんしんすこやかセンター			五葉あんしんすこやかセンター			白川あんしんすこやかセンター			舞子あんしんすこやかセンター			法人全体		
	令和3年度	前年比	令和2年度	令和3年度	前年比	令和2年度	令和3年度	前年比	令和2年度	令和3年度	前年比	令和2年度	令和3年度	前年比	令和2年度
①センター管理	109.1	135.0%	80.8	172.8	95.6%	180.7	190.1	117.7%	161.5	240.8	110.5%	218.0	712.8	111.2%	641.0
(構成率)	(80.1%)	-	(70.1%)	(75.0%)	-	(80.6%)	(86.6%)	-	(72.7%)	(86.7%)	-	(76.7%)	(82.5%)	-	(75.8%)
新規件数	2.4	88.9%	2.7	5.0	62.5%	8.0	4.8	50.0%	9.6	4.6	38.2%	12.0	16.8	52.0%	32.3
②外部委託	27.1	78.6%	34.5	57.7	132.9%	43.4	29.5	48.8%	60.5	37.0	56.0%	66.1	151.3	74.0%	204.5
(構成率)	(19.9%)	-	(29.9%)	(25.0%)	-	(19.4%)	(13.4%)	-	(27.3%)	(13.3%)	-	(23.3%)	(17.5%)	-	(24.2%)
合計(①+②)	136.2	118.1%	115.3	230.5	102.9%	224.1	219.6	98.9%	222.0	277.8	97.8%	284.1	864.1	102.2%	845.5

3.総合事業(1月あたり平均件数)

1月あたり平均件数	神出あんしんすこやかセンター			五葉あんしんすこやかセンター			白川あんしんすこやかセンター			舞子あんしんすこやかセンター			法人全体		
	管理数	うち新規	うち委託	管理数	うち新規	うち委託	管理数	うち新規	うち委託	管理数	うち新規	うち委託	管理数	うち新規	うち委託
従来型	19.7	0.3	4.9	105.4	2.6	27.8	113.5	4.0	19.6	150.5	3.3	20.0	389.1	10.2	72.3
簡易型	4.6	0.3	0.4	67.8	3.1	10.1	94.2	3.8	8.8	120.0	3.5	7.3	286.6	10.7	26.6
セルフ型	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	24.3	0.6	5.3	173.2	5.7	37.9	207.7	7.8	28.4	270.5	6.8	27.3	675.7	20.9	98.9

4.地域支え合い推進事業・会議等(全期間累計の開催回数)

全期間累計の開催件数	神出あんしんすこやかセンター			五葉あんしんすこやかセンター			白川あんしんすこやかセンター			舞子あんしんすこやかセンター			法人全体		
	令和3年度	前年比	令和2年度	令和3年度	前年比	令和2年度	令和3年度	前年比	令和2年度	令和3年度	前年比	令和2年度	令和3年度	前年比	令和2年度
地域ケア会議	1			1			3			2			7		
自センター主催会議	2			2			3			6			13		
小地域支え合い連絡会	6			6			1			15			28		
行政主催会議	40			35			31			25			131		
地域主催介護等	57			55			46			51			209		
ケアマネ等研修会	1			1			1			2			5		
介護リフレッシュ教室	3			4			4			4			15		
運営推進会議	3			1			3			5			12		
研修	23			19			46			19			107		
後方支援	3			3			27			3			36		
個別ケース対応	4			4556			153			240			4953		
合計	143	-		4683	-		318	-		372	-		5516	-	

【資料⑦事故関係】

1.行政機関への事故報告事例件数(全期間累計件数)

全期間累計件数		骨折	打撲・捻挫・脱臼	切傷・擦過傷	やけど	その他の外傷	異食・誤えん	結核	感染症	職員の法令違反等	高齢者虐待	離園	誤薬	その他	拠点合計
養護	入居	1				1									2
	ヘルプ														
	拠点合計	1				1									2
シルビア	入居	1													1
	ショート	2													2
	デイ														
	居宅														
	包括														
	拠点合計	3													3
しあわせ	入居	5		1			1								7
	ショート	3					1						6	1	11
	デイ		1	1											2
	ヘルプ														
	居宅														
	包括														
	拠点合計	8	1	2			2						6	1	20
白川	入居	1			1										2
	ショート	2													2
	デイ														
	ヘルプ														
	居宅														
	包括														
	拠点合計	3			1										4
さん舞子	入居	5	1												6
	ショート	5		3		2					1	1		1	13
	デイ														
	ヘルプ													1	1
	居宅														
	包括													1	1
	拠点合計	10	1	3		2					1	1		3	21
いこい	入居	4	2				1								7
	その他														
	拠点合計	4	2				1								7
西宮	GH	2	1												3
	サ高住													1	1
	デイ														
	ヘルプ														
	居宅														
	拠点合計	2	1											1	4
		骨折	打撲・捻挫・脱臼	切傷・擦過傷	やけど	その他の外傷	異食・誤えん	結核	感染症	職員の法令違反等	高齢者虐待	離園	誤薬	その他	総合計
法人全体		31	5	5	1	3	3	0	0	0	1	1	6	5	61

※「感染症」には新型コロナウイルス感染症による報告は含まない

2.事業所への要望(全期間累計件数)

全期間累計件数		提案	サービス内容	嗜好	職員のマナー	利用料	その他	拠点合計
養護	入居							
	ヘルプ				1			1
	拠点合計				1			1
シルビア	入居				1			1
	ショート							
	デイ							
	居宅							
	包括							
	拠点合計				1			1
しあわせ	入居							
	ショート		2					2
	デイ		3				2	5
	ヘルプ							
	居宅							
	包括		1				1	2
	拠点合計		6				3	9
白川	入居							
	ショート							
	デイ							
	ヘルプ							
	居宅							
	包括							
	その他							
	拠点合計							
さん舞子	入居	1						1
	ショート							
	デイ		3		1			4
	ヘルプ							
	居宅							
	包括						1	1
	拠点合計	1	3		1		1	6
いこい	入居						1	1
	その他							
	拠点合計						1	1
西宮	GH							
	サ高住							
	デイ		4			1	4	9
	ヘルプ				2			2
	居宅							
	拠点合計		4		2	1	4	11
全期間累計件数		提案	サービス内容	嗜好	職員のマナー	利用料	その他	総合計
法人全体		1	13	0	5	1	9	29

3.事業所への苦情(全期間累計件数)

全期間累計件数		サービス内容 関連	個人の嗜好 関連	制度・施策 ・法律関連	職員の態度・ マナー関連	説明不十分	その他	拠点合計
養護	入居							
	ヘルプ							
	拠点合計							
シルビア	入居							
	ショート							
	デイ						1	1
	居宅							
	包括							
	拠点合計						1	1
しあわせ	入居	1						1
	ショート							
	デイ							
	ヘルプ	2			1		1	4
	居宅				4	1	6	11
	包括	1						1
	拠点合計	4			5	1	7	17
白川	入居	1				1		2
	ショート				4			4
	デイ	1						1
	ヘルプ				1			1
	居宅				1			1
	包括					1	1	2
	その他				2			2
	拠点合計	2			8	2	1	13
さん舞子	入居				1			1
	ショート						1	1
	デイ	2			1	1		4
	ヘルプ	3			3		2	8
	居宅							
	包括						1	1
	拠点合計	5			5	1	4	15
いこい	入居							
	その他							
	拠点合計							
西宮	GH							
	サ高住							
	デイ							
	ヘルプ	2						2
	居宅							
	拠点合計	2						2
全期間累計件数		サービス内容	個人の嗜好 関連	制度・施策 ・法律関連	職員の態度・ マナー関連	説明不十分	その他	総合計
法人全体		13	0	0	18	4	13	48

【資料⑧医療・保健関係】

1.疾患分類状況(全期間累計)

疾患分類状況	養護		シルビア		しあわせ		サニー		さん舞子		いこい		西宮拠点		法人全体	
	往診者計159名		往診者計139名		往診者計128名		往診者計62名		往診者計87名		往診者計57名		往診者計0名		往診者計532名	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
内科	循環器	47	79.7%	91	65.5%	60	46.9%	39	62.9%	68	78.2%	32	56.1%	0	337	63.3%
	呼吸器	11	18.6%	13	9.4%	6	4.7%	2	3.2%	8	9.2%	8	14.0%	0	48	9.0%
	消化器	52	88.1%	124	89.2%	92	71.9%	47	75.8%	75	86.2%	46	80.7%	0	436	82.0%
	肝胆	6	10.2%	8	5.8%	5	3.9%	0	0.0%	6	6.9%	6	10.5%	0	31	5.8%
	内分泌代謝	14	23.7%	54	38.8%	53	41.4%	15	24.2%	46	52.9%	18	31.6%	0	200	37.6%
	腎・尿路	14	23.7%	28	20.1%	34	26.6%	1	1.6%	13	14.9%	15	26.3%	0	105	19.7%
	血液	25	42.4%	11	7.9%	1	0.8%	8	12.9%	8	9.2%	5	8.8%	0	58	10.9%
	神経	11	18.6%	4	2.9%	52	40.6%	27	43.5%	34	39.1%	9	15.8%	0	137	25.8%
	褥瘡	0	0.0%	9	6.5%	1	0.8%	4	6.5%	2	2.3%	2	3.5%	0	18	3.4%
	その他	38	64.4%	79	56.8%	4	3.1%	6	9.7%	62	71.3%	0	0.0%	0	189	35.5%
整形外科 外科	骨折	3	5.1%	3	2.2%	6	4.7%	2	3.2%	5	5.7%	4	7.0%	0	23	4.3%
	その他	51	86.4%	64	46.0%	0	0.0%	24	38.7%	67	77.0%	27	47.4%	0	233	43.8%
精神科 ※1	13	22.0%	11	7.9%	33	25.8%	19	30.6%	12	13.8%	10	17.5%	0	98	18.4%	

※1 精神科に関しては、施設において精神科医が関与している患者数

2.ご入居者の状況(全期間累計)

ご入居者の状況	養護		シルビア		しあわせ		サニー		さん舞子		いこい		西宮拠点		法人全体	
	往診者計159名		往診者計139名		往診者計128名		往診者計62名		往診者計87名		往診者計57名		往診者計0名		往診者計532名	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
手帳等所持者	言語障がい	0	0.0%	2	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	2	0.4%
	聴力障がい	1	1.7%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	0	3	0.6%
	視力障がい	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.4%	1	1.8%	0	5	0.9%
	知的障がい※2	2	3.4%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	3	0.6%
	精神障がい※3	11	18.6%	1	0.7%	5	3.9%	0	0.0%	0	0.0%	4	7.0%	0	21	3.9%

※2 療育手帳の所持者

※3 精神障がい者福祉手帳の所持者または、自立支援医療の適用者

3.外部受診状況(全期間累計受診回数)

全期間 累計受診回数	養護		シルビア		しあわせ		白川		さん舞子		いこい		西宮		法人全体	
	(内入院)	8	99	31	13	8	26	15	35	8	21	6	9	1	259	(内入院)
内科	56	8	99	31	13	8	26	15	35	8	21	6	9	1	259	77
整形外科	3	1	40	1	0	0	2	1	58	5	11	4	11	1	125	13
歯科	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4	0
眼科	42	0	11	0	1	0	0	0	18	0	1	0	4	0	77	0
耳鼻科	4	0	3	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	12	0
皮膚科	3	0	62	0	0	0	16	0	10	0	37	1	1	0	129	1
その他	43	1	142	3	20	3	4	0	48	5	50	1	8	2	315	15
合 計	151	10	359	35	34	11	50	16	169	18	125	12	33	4	921	106

※ お一人で複数受診した場合はすべてカウント

4.訪問診療・往診等(全期間累計受診回数)

全期間 累計受診回数	養護		シルビアホーム		しあわせの家		サニースライフ白川		さん舞子		いこいの家		レインボー西宮		法人全体	
	(内入院)	129	2230	5	5	117	271	402	54	3208	54	3208	54	3208	497	3705
歯科	52	2	2	0	0	0	59	0	384	497	384	497	384	497	497	3705
合計	181	2232	2232	5	5	117	330	402	438	3705	438	3705	438	3705	3705	3705

※口腔ケア含む

※お一人で複数受診した場合はすべてカウント

5.看取り介護(全期間累計件数)

全期間累計件数	シルビアホーム			しあわせの家			サニースライフ白川			さん舞子			いこいの家			レインボー西宮		
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和2年度	令和2年度
	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	件数
看取り介護実績	25	125.0%	20	14	73.7%	19	12	109.1%	11	5	100.0%	5	3	50.0%	6	1	50.0%	2

【資料⑨栄養関係】

食事形態・療養食・アレルギー代替食・栄養ケアマネジメント(3月末時点の状況)

3月末時点の状況		養護		シルビアホーム		しあわせの家		サニーライフ白川		さん舞子		いこいの家		レインボー西宮		レインボー酒蔵通	
		人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率
食 事 形 態	普通食	40	80.0%	25	25.3%	16	16.3%	15	30.0%	38	48.7%	16	32.0%	12	66.7%	46	100.0%
	刻み食	6	12.0%	39	39.4%	19	19.4%	20	40.0%	25	32.1%	12	24.0%	5	27.8%	0	0.0%
	極刻み食	2	4.0%	21	21.2%	0	0.0%	1	2.0%	7	9.0%	14	28.0%	1	5.6%	0	0.0%
	ソフト食	0	0.0%	6	6.1%	47	48.0%	13	26.0%	7	9.0%	4	8.0%	0	0.0%	0	0.0%
	ミキサー食	1	2.0%	6	6.1%	14	14.3%	1	2.0%	1	1.3%	4	8.0%	0	0.0%	0	0.0%
	補助食品のみ 絶食等	1	2.0%	2	2.0%	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	合計	50	100.0%	99	100.0%	98	100.0%	50	100.0%	78	100.0%	50	100.0%	18	100.0%	46	100.0%
療 養 食	糖尿食	4	8.0%	5	5.1%	3	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	高脂血症食	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	腎臓食	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	心臓食	2	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	肝臓食	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	潰瘍食	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	合計	6	12.0%	5	5.1%	3	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ア レ ル ギ ー 代 替 食	卵	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	魚	7	14.0%	4	4.0%	3	3.1%	1	2.0%	15	19.2%	5	10.0%	0	0.0%	0	0.0%
	蕎麦	3	6.0%	2	2.0%	0	0.0%	1	2.0%	2	2.6%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
	鶏肉	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	その他	0	0.0%	10	10.1%	4	4.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	合計	11	22.0%	17	17.2%	7	7.1%	3	6.0%	20	25.6%	6	12.0%	0	0.0%	0	0.0%
栄 養 C ・ M	低リスク			9	9.1%	36	36.7%	10	20.0%			0	0.0%				
	中リスク			69	69.7%	56	57.1%	33	66.0%			42	84.0%				
	高リスク			21	21.2%	6	6.1%	7	14.0%			8	16.0%				
	合計			99	100.0%	98	100.0%	50	100.0%			50	100.0%				

※栄養C・M：栄養ケアマネジメント

【資料⑩職員関係】

1.各事業所の職員増減状況(常勤換算)

全期間の 増減状況	区分	令和3年4月				期間中の増減			令和4年3月			
		正職	嘱+契	その他	合計	正職	嘱+契	その他	正職	嘱+契	その他	合計
養護	幹部	0.9			0.9	-0.2			0.7			0.7
	事務	1.0		2.8	3.8			-0.3	1.0		2.5	3.5
	栄養	1.0			1.0				1.0			1.0
	養護	6.5	1.5	0.4	8.4		1.0		6.5	2.5	0.4	9.4
	ヘルプ	6.5	1.5	6.0	14.0			-0.2	6.5	1.5	5.8	13.8
	拠点合計	15.9	3.0	9.2	28.1	-0.2	1.0	-0.5	15.7	4.0	8.7	28.4
シルビアホーム	幹部	1.9			1.9				1.9			1.9
	事務	2.0		3.1	5.1			-0.1	2.0		3.0	5.0
	栄養	1.0		0.4	1.4				1.0		0.4	1.4
	特養	34.0	10.0	8.3	52.3	0.9	1.0	-2.7	34.9	11.0	5.6	51.5
	ショート	8.0	2.0	1.3	11.3			-0.4	8.0	2.0	0.9	10.9
	デイ	7.0	3.0	0.4	10.4	-1.9	1.5	0.8	5.1	4.5	1.2	10.8
	居宅	5.0		0.6	5.6			0.4	5.0		1.0	6.0
	包括	4.0			4.0				4.0			4.0
	拠点合計	62.9	15.0	14.1	92.0	-1.0	2.5	-2.0	61.9	17.5	12.1	91.5
しあわせの家	幹部	2.1			2.1				2.1			2.1
	事務	2.0		4.3	6.3			-0.8	2.0		3.5	5.5
	栄養	1.0		0.8	1.8			0.1	1.0		0.9	1.9
	特養	35.0	12.0	9.9	56.9	-2.0	2.0		33.0	14.0	9.9	56.9
	ショート	7.0	4.0	1.6	12.6	1.0	-1.0	0.1	8.0	3.0	1.7	12.7
	デイ	6.0	2.0	5.8	13.8		-1.0	1.0	6.0	1.0	6.8	13.8
	ヘルプ	3.0	2.0	5.2	10.2		-1.0	-0.5	3.0	1.0	4.7	8.7
	居宅	6.0		2.3	8.3			0.1	6.0		2.4	8.4
	包括	7.0	1.0	0.9	8.9	-2.0		1.1	5.0	1.0	2.0	8.0
	デイ(地域)	2.0	1.0	1.2	4.2				2.0	1.0	1.2	4.2
	拠点合計	71.1	22.0	32.0	125.1	-3.0	-1.0	1.1	68.1	21.0	33.1	122.2
サニールライフ白川	幹部	2.0			2.0				2.0			2.0
	事務	1.8	1.0	4.0	6.8			0.2	1.8	1.0	4.2	7.0
	栄養	1.0		0.3	1.3				1.0		0.3	1.3
	特養	17.2	5.0	6.7	28.9	1.0	1.0	-0.8	18.2	6.0	5.9	30.1
	ショート	8.0	3.0	2.5	13.5	1.0	-1.0	-0.1	9.0	2.0	2.4	13.4
	デイ	9.0	1.0	2.3	12.3			-0.6	9.0	1.0	1.7	11.7
	ヘルプ	4.0		7.4	11.4		1.0	-1.6	4.0	1.0	5.8	10.8
	居宅	6.0	1.0	0.3	7.3	2.0	-1.0	0.1	8.0		0.4	8.4
	包括	9.0		0.4	9.4			0.1	9.0		0.5	9.5
	その他			0.4	0.4			-0.1			0.3	0.3
	拠点合計	58.0	11.0	24.3	93.3	4.0		-2.8	62.0	11.0	21.5	94.5
さん舞子	幹部	2.0			2.0	-1.0	0.2		1.0	0.2		1.2
	事務	1.0		5.8	6.8	1.0		0.2	2.0		6.0	8.0
	栄養	1.0			1.0				1.0			1.0
	ケアハウス	32.0	9.0	7.4	48.4	-2.0	4.0	1.2	30.0	13.0	8.6	51.6
	ショート	10.0	2.0	0.7	12.7	-1.0	1.0	-0.1	9.0	3.0	0.6	12.6
	デイ	4.0	4.0	3.6	11.6	1.0		-0.6	5.0	4.0	3.0	12.0
	ヘルプ	4.0	1.0	6.1	11.1	-1.0		0.8	3.0	1.0	6.9	10.9
	居宅	7.6		0.3	7.9	0.4		0.6	8.0		0.9	8.9
	包括	10.4			10.4	-1.4	1.0		9.0	1.0		10.0
	拠点合計	72.0	16.0	23.9	111.9	-4.0	6.2	2.1	68.0	22.2	26.0	116.2
いこいの家	幹部	0.5			0.5		0.1		0.5	0.1		0.6
	事務	1.0		1.9	2.9			0.6	1.0		2.5	3.5
	栄養	1.0			1.0				1.0			1.0
	特養	20.5	9.0	1.6	31.1	-2.0	1.0	1.0	18.5	10.0	2.7	31.2
	マンション			1.5	1.5			0.1			1.6	1.6
	拠点合計	23.0	9.0	5.0	37.0	-2.0	1.1	1.7	21.0	10.1	6.8	37.9
西宮拠点	幹部		1.5		1.5		-0.5			1.0		1.0
	事務	1.4		1.3	2.7				1.4		1.3	2.7
	栄養		2.0	0.6	2.6			0.1		2.0	0.7	2.7
	GH	6.5	4.0	5.3	15.8		2.0	-3.8	6.5	6.0	1.5	14.0
	デイ(地域)	3.8	1.0	1.2	6.0		1.0	1.1	3.8	2.0	2.3	8.1
	デイ(認知)	2.7		1.3	4.0			0.7	2.7		2.0	4.7
	デイ(放課後)	4.0		2.2	6.2	-1.0	1.5	0.1	3.0	1.5	2.3	6.8
	ヘルプ	1.3	3.1	2.0	6.4	1.0	-1.7	-0.1	2.3	1.4	1.9	5.6
	居宅	1.4	1.0		2.4	-0.2	-1.0		1.2			1.2
	サ高住	1.0	2.2	4.5	7.7		-0.6	-0.3	1.0	1.6	4.2	6.8
	拠点合計	22.1	14.8	18.4	55.3	-0.2	1.2	-2.2	21.9	15.5	16.2	53.6
本部	幹部	3.9	1.7		5.6		-0.3		3.9	1.4		5.3
	事務	8.0	0.7	0.9	9.6	0.6	0.7	-0.3	8.6	1.4	0.6	10.6
	拠点合計	11.9	2.4	0.9	15.2	0.6	0.4	-0.3	12.5	2.8	0.6	15.9
医療事業部	幹部	0.8			0.8	-0.4			0.4			0.4
	事務	1.6	1.0	0.6	3.2	-0.6	-1.0		1.0		0.6	1.6
	その他			0.2	0.2						0.2	0.2
	医師	0.4	1.9		2.3	-0.4	-0.1	0.4		1.8	0.4	2.2
	PT・OT	4.0		0.6	4.6	1.0			5.0		0.6	5.6
	拠点合計	6.8	2.9	1.4	11.1	-0.4	-1.1	0.4	6.4	1.8	1.8	10.0
法人総合計		343.7	96.1	129.2	569.0	-6.2	10.3	-2.4	337.5	105.9	126.8	570.2

※雇用区分の「その他」は、パート職員＋登録型ホームヘルパー＋派遣職員の合計

※雇用区分の「その他」の職員は、1ヶ月＝21．5日×7．5hで常勤換算している

2.資格取得状況(3月末時点の状況)

3月末時点の状況	養護			シルバーホーム			しあわせの家			サニーライフ白川			さん舞子			いこいの家			西宮・酒蔵通			本部・医療事業部			法人総合計				
	正	嘱+契	P	登	正	嘱+契	P	正	嘱+契	P	登	正	嘱+契	P	登	正	嘱+契	P	正	嘱+契	P	正	嘱+契	P					
介護福祉士	10	1	2	5	52	6	5	42	3	6	14	56	5	7	14	15	5	3	12	4	5	1				348			
					13	2	1	13	5	1	6	1	1	1	16	7	1	1	2	3	2	5				92			
							1						1	1												3			
実務者研修																													
介護職員基礎研修																													
ヘルプ1級					2	2					1	1							1		1						14		
ヘルプ2級	3	1	1	11	22	1	2	14	5	6	12	13	1	5	25	19	3	8	27	4			2	4	5	6	1	202	
初任者研修	1				4	3		3	4	5	2	3	2	1	1	1	2	1		2	3	2					44		
神戸市高齢者施設介護士					2		1	1				1				1		1									7		
エニットリーダー					4			5		2		1				1	1										22		
社会福祉士	1		1		5		1	7				6			1	9		1		2	1	1	2	1			40		
精神保健福祉士																1			1	1							3		
主任介護支援専門員					5			5		4		5				3	1		2			1					26		
介護支援専門員	3		1		21	1	2	25	1	7		23			3	1	26	2	2	4	1	4	1	1	2		131		
保育士					2	1													1	1							5		
保健師					2				1																		3		
看護師	1				3		1	4	1	4		5		1	4	1	3		4								35		
准看護師					2	1	1		1	1		1		1	1												9		
管理栄養士	1				1		1	1	1	1		1		1	1				1							9			
衛生管理者					1	1	1	1						1	1	2	1		1			1	1			11			
PT																						2				2			
OT																						1	1			2			
柔道整復師																			1		1					2			
拠点合計	20	2	5	18	141	17	17	131	26	50	19	108	7	21	43	143	23	25	42	39	12	9	38	18	21	10	4	1	1,010

※正：正職員 嘱+契：嘱託職員および契約職員 P：パート職員 登：登録ヘルパー

※3月31日付退職者は含まれていない

【資料⑪採用・離職関係】

1.全職員の採用・離職状況(全期間累計)

全期間累計		令和3年度												法人全体	
		介護職員		看護職員		相談・栄養・居宅		事務職員		その他					
		離職	採用	離職	採用	離職	採用	離職	採用	離職	採用	離職	採用	離職	採用
常勤	正職員	10	1	1	0	5	0	1	1	4	0	21	2		
	契約職員	22	42	1	5	2	5	1	0	2	3	28	55		
非常勤	パート職員	11	13	3	3	1	1	0	0	10	18	25	35		
	登録ヘルパー	10	6	0	0	0	0	0	0	0	0	10	6		
合計		53	62	5	8	8	6	2	1	16	21	84	98		
離職率		11.2%		15.6%		8.1%		3.8%		25.8%		11.7%			
平均年齢		48.7	47.0	62.0	27.0	53.8	57.0	55.6	52.0	61.7	59.0	52.6	48.6		
平均勤続年数		3.5	-	2.8	-	6.3	-	2.6	-	7.2	-	4.4	-		
期首在籍者 (常勤のみ)		302		22		90		26		26		466			
期首在籍者 (常勤+非常勤)		472		32		99		52		62		717			
期首入職者		6		0		0		1		3		10			

※離職率＝(離職者数／期首在籍者数)×100

※期首入職者＝4月1日に入職した職員

2.介護職員の採用・離職状況(全期間累計)

全期間累計		令和3年度								期 末	
		期 首	採 用	離 職	離職の内訳(勤続年数別)			期 末			
					1年未満	3年未満	3年以上				
職 種 別	①訪問介護員	130	14	16	4	5	7	128			
	②介護職員	342	48	37	14	12	11	353			
合計(①+②)		472	62	53	18	17	18	481			

区 分 別	①正職員	179	1	10	0	5	5	170					
	②非正職員	293	61	43	18	12	13	311					
	合計(①+②)	472	62	53	18	17	18	481					

※②非正職員の内訳

※②非正職員の内訳									
	期首	採用	離職	勤続年数別構成率(離職者)			期末		
				1年未満	3年未満	3年以上			
常勤職員	121	42	22	15	4	3	141		
非常勤職員	64	13	11	2	5	4	66		
登録ヘルパー	108	6	10	1	3	6	104		

全期間累計		令和2年度													
		介護職員		看護職員		相談・栄養・居宅		事務職員		その他		法人全体			
		離職	採用	離職	採用	離職	採用	離職	採用	離職	採用	離職	採用		
常勤	正職員	12	4	2	0	4	4	2	2	0	0	20	10		
	契約職員	20	47	2	3	0	2	0	1	0	0	22	53		
非常勤	パート職員	22	17	4	2	1	0	0	1	9	7	36	27		
	登録ヘルパー	13	10	0	0	0	0	0	0	0	0	13	10		
合計		67	78	8	5	5	6	2	4	9	7	91	100		
離職率		14.5%		14.5%		5.1%		6.7%		14.1%		12.9%			
平均年齢		48.0	40.6	48.3	44.0	59.9	45.2	58.2	46.3	58.5	57.9	49.9	42.5		
平均勤続年数		3.3	-	3.8	-	6.7	-	10.6	-	2.2	-	3.6	-		
期首在籍者 (常勤のみ)		283		27		88		21		26		445			
期首在籍者 (常勤＋非常勤)		461		55		98		30		64		708			
期首入職者		13		0		2		1		0		16			

全期間累計		令和2年度										期 末		
		期 首	採 用	離 職	離職の内訳(勤続年数別)			期 末	1 年未満	3 年未満	3 年以上			
					1 年未満	3 年未満	3 年以上							
職 種 別	①訪問介護員	134	15	19	7	3	9	130						
	②介護職員	327	63	48	21	16	11	342						
合計(①+②)		461	78	67	28	19	20	472						

区 分 別	①正職員	187	4	12	0	5	7	179					
	②非正職員	274	74	55	28	14	13	293					
	合計(①+②)	461	78	67	28	19	20	472					

※②非正職員の内訳

		期 首	採 用	離 職	勤続年数別構成率(離職者)			期 末	1 年未満	3 年未満	3 年以上		
					1 年未満	3 年未満	3 年以上						
		94	47	20	15	3	2	121					
常勤職員													
非常勤職員		69	17	22	10	10	2	64					
登録ヘルパー		111	10	13	3	1	9	108					

3.職種別・雇用区分別状況(全期間累計)

全期間累計		令和3年度					
		採用率	離職率	増加率	勤続年数別構成率（離職者）		
					1年未満	1～3年未満	3年以上
職 種 別	①訪問介護員	10.8%	12.3%	-1.5%	25.0%	31.3%	43.8%
	②介護職員	14.0%	10.8%	3.2%	37.8%	32.4%	29.7%
合計(①+②)		13.1%	11.2%	1.9%			

区 分 別							
①正職員		0.6%	5.6%	-5.0%	0.0%	50.0%	50.0%
②非正職員		20.8%	14.7%	6.1%	41.9%	27.9%	30.2%
合計(①+②)		13.1%	11.2%	1.9%			

※②非正職員の内訳		それぞれの内訳				勤続年数別構成率(離職者)		
		採用率	離職率	増加率	1年以上 3年以上	1年未満	1～3年未満	3年以上
常勤職員		34.7%	18.2%	16.5%	68.2%	18.2%	13.6%	
非常勤職員		20.3%	17.2%	3.1%	18.2%	45.5%	36.4%	
登録ヘルパー		5.6%	9.3%	-3.7%	10.0%	30.0%	60.0%	

※採用率=(採用者数/期首在籍者数)×100(%)

※離職率=(離職者数/期首在籍者数)×100(%)

※期首在籍者数には4/1入職者を含む

4.離職者の勤続期間(介護職員のみ/全期間累計)

全期間累計	令和3年度												令和2年度											
	～半年未満		半年～1年未満		1～3年未満		3～5年未満		5～10年未満		10年以上		～半年未満		半年～1年未満		1～3年未満		3～5年未満		5～10年未満		10年以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
正職員	0	0.0%	0	0.0%	5	8.8%	3	5.3%	1	1.8%	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	5	7.5%	2	3.0%	5	7.5%	0	0.0%
契約職員	10	18.9%	5	8.8%	4	7.0%	2	3.5%	1	1.8%	0	0.0%	10	14.9%	5	7.5%	3	4.5%	0	0.0%	1	1.5%	1	1.5%
パート職員	1	1.9%	1	1.8%	5	8.8%	2	3.5%	1	1.8%	1	1.8%	8	11.9%	2	3.0%	10	14.9%	0	0.0%	2	3.0%	0	0.0%
登録ヘルパー	0	0.0%	1	1.8%	3	5.3%	1	1.8%	1	1.8%	4	7.0%	1	1.5%	2	3.0%	1	1.5%	1	1.5%	4	6.0%	4	6.0%
合計	11	20.8%	7	13.2%	17	32.1%	8	15.1%	4	7.5%	6	11.3%	19	28.4%	9	13.4%	19	28.4%	3	4.5%	12	17.9%	5	7.5%

※通常退職者に占める割合

全期間累計	令和3年度												令和2年度																		
	通常退職者数(人)				定年等の年限退職者数(人)				平均勤続年数(年)				通常退職者数(人)				定年等の年限退職者数(人)				平均勤続年数(年)										
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
正職員 契約職員 パート職員 登録ヘルパー	10	18.9%	0		0		3.9		12	17.9%	0		0		4.3		12	17.9%	0		0		4.3								
	22	41.5%	0		0		1.2		20	29.9%	0		0		1.4		20	29.9%	0		0		1.4								
	11	20.8%	1		1		4.0		22	32.8%	0		0		1.5		22	32.8%	0		0		1.5								
	10	18.9%	3		3		8.0		13	19.4%	0		0		8.2		13	19.4%	0		0		8.2								
	合計	53	100.0%	4		4		4.3		67	100.0%	0		0		3.9		67	100.0%	0		0		3.9							

※定年後再雇用継続中の職員については、離職者に含まない

令和 3 年度 理事会・評議員会開催状況

【第 1 回 臨時理事会】

開催日時 令和 3 年 5 月 24 日(金)14 時 00 分～17 時 45 分

開催場所 神戸市北区しあわせの村 1 番 10 号
神港園しあわせの家 本館 2 階会議室

出席役員 理事 9 名中 8 名
監事 2 名中 2 名

審議事項 I

- (1) サニーライフ白川サテライト事業複合展開に伴う不動産取得の件
 - ① 野村不動産資料
 - ・ 候補地物件情報
 - ・ 仮測量図
 - ・ 周辺地図
 - ・ 現地写真
- (2) 事業計画
 - ・ 周辺事情（価格の妥当性、周辺環境等）
 - ・ 市場調査（あんすこ圏域内サービス事業所、神戸市人口動態調査）
 - ・ 資金調達（土地購入等資金、建物解体、建築・登記等）
- (3) サニーライフ白川サテライト事業 複合展開の概要
 - ・ サニーライフ白川の運営状況、事業展開概要
 - ・ 具体化の検討が望まれる事業群について

【第 1 回 定例理事会】

開催日時 令和 3 年 6 月 4 日(金)14 時 00 分～16 時 50 分

開催場所 神戸市西区神出東 1188-70
神港園あんしんすこやかハウス神出 3 階会議室

出席役員 理事 9 名中 9 名
監事 2 名中 2 名

- 報告事項 I
- (1) 会計監査人による監査報告書について
 - (2) 法人監事による結果報告について
 - (3) サニーライフ白川サテライト事業複合展開に伴う不動産取得の件

- 審議事項 I
- (1) 令和 2 年度事業報告書(案)について
 - (2) 令和 2 年度決算報告書(案)について
 - ① 令和 2 年度決算報告（社会福祉事業・公益事業・収益事業）
 - ② 社会福祉充実残額について
 - (3) 規程改定について
 - ① 非介護職員独自特定処遇向上手当に係る給与規程改定（案）について
 - ② 決裁処理規程別表の改訂について
 - (4) 理事・評議員等の任期満了に伴う選任について
 - ① 再任および新任理事選任案について
 - ② 再任および新任監事選任について
 - ③ 再任および新任評議員候補者の推薦について
 - ④ 評議員選任・解任委員候補者の選任について
 - (5) 第三者委員候補者選任について
 - (6) 令和 3 年度の会計監査人について
 - (7) 令和 3 年度第 1 回定例評議員会 開催日程について

【第1回 定例評議員会】

開催日時 令和3年6月19日(土)14時00分～17時25分
開催場所 神戸市中央区御幸通8丁目1番6号
神戸国際会館 8階(802、803号室)
出席役員 評議員 10名中 10名
監事 2名中 2名

報告事項及び専決事項

- (1) 会計監査人による監査報告書について
- (2) 法人監事による監査結果報告について
- (3) サニーライフ白川サテライト事業複合事業展開に伴う不動産取得の件
- (4) 新型コロナウイルス感染症対応について

- 審議事項
- (1) 令和2年度事業報告書(案)について
 - (2) 令和2年度決算報告書(案)について
 - ①令和2年度決算報告(社会福祉事業・公益事業・収益事業)
 - ②令和2年度社会福祉充実残額について
 - (3) 役員任期満了に伴う選任について
 - ①再任および新任理事選任案について
 - ②再任および新任監事選任について
 - (4) 令和3年度の会計監査人について

報告事項及び専決事項

- (1) 再任・新任評議員選任について
- (2) 評議員選任・解任委員選任について
- (3) 第三者委員選任について

【第2回 臨時理事会】

開催日時 令和3年6月19日(土)17時15分～17時45分
開催場所 神戸市中央区御幸通8丁目1番6号
神戸国際会館 8階会議室(802、803号室)
出席役員 理事 9名中 7名
監事 2名中 2名

- 審議事項Ⅰ
- (1) 理事長の選定について
 - (2) 業務執行理事(常務理事)の選定について
 - (3) 幹部人事について

【第3回 臨時理事会】

開催日時 令和3年7月8日(木)
開催場所 神戸市北区しあわせの村1番10号
出席役員 理事 9名中 9名
監事 2名中 2名

- 提案事項
- (1) 定款変更に係る評議員会決議のみなし決議について
- 議案の概要 けあスクール神港園の事業開始に伴う定款第四十一条の改訂

【第1回 臨時評議員会】

開催日時 令和3年7月15日(木)
開催場所 神戸市北区しあわせの村1番10号
出席役員 評議員11名中 11名
提案事項 (1) 定款変更について
・けあスクール神港園の事業開始に伴う定款四十一条の改訂

【第4回 臨時理事会】

開催日時 令和3年7月21日(水)
開催場所 神戸市北区しあわせの村1番10号
出席役員 理事 9名中 9名・監事 2名中 2名
提案事項 (1) 例外的措置による嘱託職員への退職金支給について
(2) 養護老人ホーム神港園拠点区分における施設整備等積立金及び施設整備積立資産の取崩について
議案の概要 (1) 非常勤の診療所嘱託医師への例外的措置としての退職金の支給
(2) 養護老人ホーム神港園拠点区分 施設整備等積立金及び施設整備等積立資産取崩

【5回 臨時理事会】

開催日時 令和3年8月6日(金)
開催場所 神戸市北区しあわせの村1番10号
神港園しあわせの家 本館2階会議室
出席役員 理事 9名中 9名・監事 2名中 2名
提案事項 (1) さん舞子神港園空調(停電対応)更新工事について
(2) さん舞子神港園拠点区分における修繕積立金及び修繕積立資産の取崩について
議案の概要 (1) さん舞子神港園空調(停電対応)更新工事における契約締結方法、入札参加候補者名簿、入札予定価格等の審議
(2) さん舞子神港園拠点区分 空調(停電対応)更新工事における修繕積立金及び修繕積立資産取崩による充当について

【第2回 定例理事会】

開催日時 令和3年11月16日(火) 14時00分～17時00分
開催場所 神戸市北区しあわせの村1番1号
しあわせの村研修館 第2階研修室
出席役員 理事 9名中 9名・監事 2名中 2名
審議事項 (1) 令和3年度上期事業報告(案)について
(2) 令和3年度上期実績・中期補正予算(案)について
(3) 規程改定案について
・給与規程別表 処遇向上手当支給基準表改定

	・登録型ホームヘルパー給与基準表改定 (4) さん舞子神港園空調更新工事に伴う積立金取崩について (5) 令和3年度第2回臨時評議員会招集の件 報告事項 (1) 妙法寺新規事業案件について 設計監理プロポーザル選考について 経営シミュレーションについて その他現状報告 (2) サン舞子マンション解体について (3) 内部統制強化の為のコンサルティング支援について
	【第2回 臨時評議員会】 開催日時 令和3年11月27日(土) 14時00分～16時35分 開催場所 神戸市西区神出東 1188-345 神港園 あんしんすこやかハウス神出 3階 多目的ホール 出席役員 評議員 11名中 8名・監事 2名中 2名 審議事項 (1) 令和3年度上期事業報告書(案)について (2) 令和3年度上期実績・中期補正予算(案)について 報告事項 (1) 妙法寺新規事業案件について ①設計監理プロポーザル選考について ②経営シミュレーションについて ③その他現状報告 (2) サン舞子マンション解体について (3) 内部統制強化に為のコンサルティング支援について
	【第6回 臨時理事会】 開催日時 令和4年2月15日(火) 開催場所 神戸市北区しあわせの村1番10号 出席役員 理事 9名中 9名・監事 2名中 2名 提案事項 (1) 養護老人ホーム神港園大規模修繕工事入札公告について 議案の概要 (1) 公告における入札参加業者に必要な資格等の決定 (2) 入札に関する日程の確定 (3) 入札参加業者の選定及び入札予定価格の決定における理事長一任の審議

【第3回 定例理事会】

開催日時	令和4年3月14日(月) 14時00分～17時00分
開催場所	神戸市北区しあわせの村1番1号 しあわせの家 本館2階会議室
出席役員	理事 9名中 9名・監事 2名中 2名
審議事項	(1) 令和4年度事業計画(案)について (2) 令和3年度期末補正資金収支予算(案)について (3) 令和4年度資金収支予算(案)について (4) 各種規程改定(案)について ①給与規程別表改定(案) ②定款変更(案) ③組織規程および組織規程別表改定(案) (5) 幹部職員任命(案)について (6) けあスクール神港園 介護福祉士実務者研修開講について (7) カウプシング銀行債の償却について (8) 新規事業について ①神港園サニーライフ白川・福祉用具事業について ②さん舞子神港園・リハビリテーション特化型デイサービスについて
報告事項	(1) 新規事業について ①神港園サニーライフプラザ妙法寺について (2) 養護老人ホーム神港園大規模修繕工事について (3) 新型コロナウイルス感染症感染状況について

【第2回 定例評議員会】

開催日時	令和4年3月26日(土) 14時00分～16時35分
開催場所	神戸市垂水区五色山7丁目12-38 さん舞子神港園 3階 多目的ホール
出席役員	評議員 10名中 8名・監事 2名中 2名
審議事項	(1) 令和4年度事業計画(案)について (2) 令和3年度期末補正資金収支予算(案)について (3) 令和4年度資金収支予算(案)について (4) 神港園サニーライフ白川・福祉用具事業 (5) さん舞子神港園・リハビリテーション特化型デイサービスについて (6) 定款変更(案)について
報告事項	(1) 神港園サニープラザ妙法寺について (2) カウプシング銀行債の償却について (3) 幹部職員の任命について (4) 処遇改善支援補助金について (5) 新型コロナウイルス感染症の感染状況について

【第7回 臨時理事会】

開催日時 令和4年3月22日(火)

開催場所 神戸市北区しあわせの村1番10号

出席役員 理事 9名中 9名・監事 2名中 2名

提案事項 (1) 養護老人ホーム神港園大規模修繕工事入札結果の報告及び落札者の決定について

議案の概要 (1) 入札結果の報告
(2) 落札者の決定

